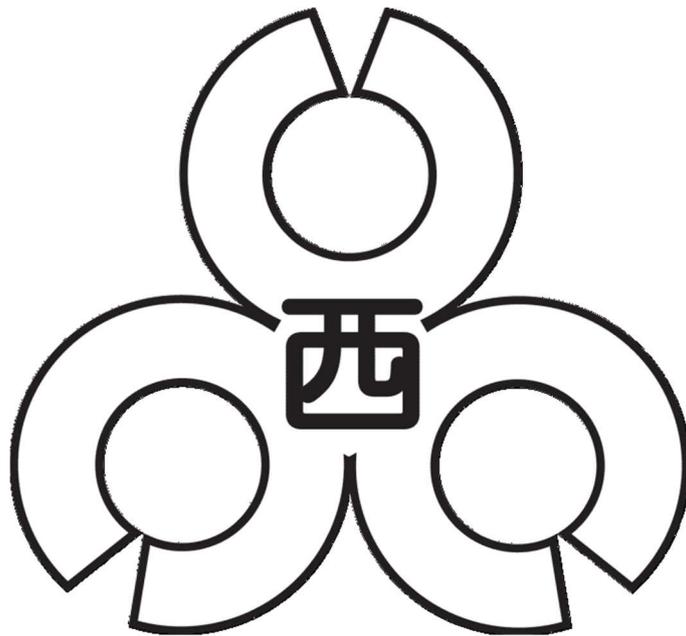


令和7年度
年間指導計画

中学部



沖縄県立 西崎特別支援学校

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目1番2号

電話 (098) 994-6855

FAX (098) 994-6856

R7(2025) 中学部 時間割

1年 Aグループ

	月	火	水	木	金
1	自活	家庭	自活	英語	国語
2	数学	家庭	特活	国語	体育
3	体育	国語	道徳	音楽	数学
4	社会	体育	総合	数学	音楽
5	美術	職業	特活	理科	社会
6	美術	職業	/	理科	英語

2年 Aグループ

	月	火	水	木	金
1	自活	美術	自活	家庭	数学
2	国語	美術	特活	家庭	体育
3	体育	英語	道徳	英語	社会
4	音楽	体育	総合	社会	国語
5	理科	国語	特活	数学	職業
6	理科	数学	/	音楽	職業

3年 Aグループ

	月	火	水	木	金
1	自活	国語	自活	職業	英語
2	音楽	音楽	特活	職業	体育
3	体育	数学	道徳	社会	家庭
4	数学	体育	総合	国語	家庭
5	英語	理科	特活	美術	数学
6	社会	理科	/	美術	国語

1年 Bグループ

	月	火	水	木	金
1	自活	職業	自活	理科	社会
2	体育	職業	特活	数学	社会
3	理科	音楽	道徳	国語	美術
4	英語	国語	総合	音楽	美術
5	数学	家庭	特活	体育	英語
6	国語	家庭	/	体育	数学

2年 Bグループ

	月	火	水	木	金
1	自活	職業	自活	理科	社会
2	体育	職業	特活	数学	社会
3	理科	音楽	道徳	国語	美術
4	英語	国語	総合	音楽	美術
5	数学	家庭	特活	体育	英語
6	国語	家庭	/	体育	数学

3年 Bグループ

	月	火	水	木	金
1	自活	社会	自活	数学	職業
2	体育	社会	特活	英語	職業
3	数学	理科	道徳	美術	国語
4	国語	数学	総合	美術	英語
5	家庭	音楽	特活	体育	理科
6	家庭	国語	/	体育	音楽

令和7年度 年間指導計画 目次

教科	項
国語	1～9
社会	10～13
数学	14～19
理科	20～23
音楽	24～26
美術	27～29
体育	30～35
職業・家庭（職業分野）	36～38
職業・家庭（家庭分野）	39～44
外国語	45～50
道徳	51～56
総合的な学習の時間	57～59
特別活動	60～65

単位数 / 相当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	1学年13名		星本☆☆☆☆、副教材(学研初級編等)、ドリル

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(中1段階) (思判表力)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝える力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(中1段階) (学・人)言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技)読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。【中1段階ウ(エ)】 (思判表力)簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階C(ア)】 (学・人)詩の中から好きな言葉を見つけ、発表することができる。【中1段階】	(知・技)言葉を使った様々な表現方法の一つとして詩があることを理解している。 (思・判・表)文の中の言葉を手がかりに、情景を想像しようとしている。 (主学)詩の中から好きな言葉を抜き出し、理由を考えて、発表しようとしている。	・詩「春の歌」 ・詩「空」	・詩を音読し、言葉の響きを楽しむ。 ・文の中の言葉から、情景を想像する。 ・詩の中から、好きな言葉を見つける。 ・なぜその言葉が好きなのか理由を考えることができる。
	5	(知及技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ることができる。【中1段階ア(ウ)】 (思判表力)自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。【中1段階B(エ)】 (学・人)身近なものを正しく読んだり、書いたりしようとする意欲を高めることができる。【中1段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい書き方について理解している。 (思・判・表)自分が書いたものを、一音一音読み返し、間違いを見つけようとしている。 (主学)身近なものを正しく読んだり、書こうとしている。	・言葉のページ「書いてみよう①」	・教科書16~17ページに書き込みをし、拗音や促音等が正しく書けているか確認する。 ・自分が書いたものを、一音一音読み返し、誤字をなおす。 ・身近なものの読み書きをする。
	6	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くことができる。【中1段階ア(エ)】 (思判表力)日常生活に必要な語句や文章を読み、行動することができる。【中1段階C(ウ)】 (学・人)日常生活の中での同音異義語を考え、文を作ることができる。【中1段階】	(知・技)語句と語句の間に空白があることに気付き、語句には意味のまとまりがあることを理解している。 (思・判・表)同音でもアクセントによって意味が異なる場合があることに気付き、アクセントに合った正しい語句を選ぼうとしている。 (主学)同音異義語を取り入れて文を作っている。	・言葉のページ「声を出して読んでもみようp18」	・教科書の文を音読する。 ・動画で正しい発音を実際に聞き、発音の違いを知る。 ・発音練習をする。 ・同音異義語の文を作り、発表する。
	6	(知及技)身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。【中1段階ア(ア)】 (思判表力)身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えることができる。【中1段階A(ア)】 (学・人)相手の話を主体的に聞き取るようとする意欲をもつことができる。【中1段階】	(知・技)必要な情報を聞き取るための手段としてメモがあることを理解している。 (思・判・表)放送を聞いて、「いつ」「何時に」「どこで」などの情報をメモしようとしている。 (主学)必要な情報を聞き逃さないために、相手の話や放送などをしっかり聞き取るようとしている。	・「ペンギンショーを見に行こう」	・8ページ~9ページを読み、話の内容の大体をワークシートで確認する。 ・館内放送やメモの取り方について確認する。 ・10ページの本文の放送内容を聞き、メモをとる。 ・身近な放送を聞き、聞き取れたことをメモする。
	5	(知及技)読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。【中1段階ウ(エ)】 (思判表力)簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階C(ア)】 (学・人)図書に親しみ、言葉で考えたり、伝え合ったりすることができる。【中1段階】	(知・技)図書館に行き、平和や戦争に関する本を読もうとしている。 (思・判・表)平和や戦争に関する本を読み、平和や戦争について想像しようとしている。 (主学)本を読み、感じたことを伝え合おうとしている。	・「本に親しもう」	・図書室に行き、平和や戦争に関する本を選び、読む。 ・本を読み、平和や戦争について考える。 ・感想を伝え合う。
	5	(知及技)身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。【中1段階ア(ア)】 (思判表力)日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動することができる。【中1段階C(ウ)】 (学・人)日常生活の中で身近に見られる案内板等に興味をもち、意味を考えることができる。【中学部1段階】	(知・技)標識や案内板などは、安全や危険、指示を知らせるなど、判断したり行動したりすることができるような働きがあることに気付くことができる。【中1段階ア(ア)】 (思・判・表)標識や案内板などを見て、その意味を読み取り、どのような行動をしたらよいかを判断しようとしている。 (主学)学校内にある表示や案内板などを調べて、発表しようとしている。	・「いろいろな標識・表示」	・教科書に載っている様々な標識・表示、看板、マークについて確認する。 ・学校内にある標識・表示を探す。 ・学校内にある標識・表示の中で気になったものを選び、その標識・表示は、何を表したもののなのか考え、ワークシートにまとめる。
	5	(知及技)挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。【中1段階ウ(イ)】 (思判表力)見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。【中1段階B(ア)】 (学・人)はがきや手紙を受け取ったり、書いたりすることで日常生活を充実させることができる。【中1段階】	(知・技)夏のおたよりには、「暑中見舞い申し上げます」という季節の挨拶があることを理解している。 (思・判・表)伝えたい内容を決め、暑中見舞いハガキを書こうとしている。 (主学)お世話になっている人に暑中見舞いハガキを書くことで、人との関わりを大切にしようとしている。	・「手紙を書こう」	・手紙の基本的な書き方について知る。 ・丁寧な言葉遣いを確認する。 ・「暑中見舞い申し上げます」を取り入れたたり、丁寧な言葉を使って暑中見舞いハガキを書く。

2 学 期	5	(知及技)主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解することができる。【中1段階ア(オ)】 (思判表力)文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。【中1段階Bウ】 (学・人)主語と述語を取り入れた文を作ることができる。【中学部1段階】	(知・技)主語と述語の関係や接続する語句の役割について理解している。 (思・判・表)文中の語句を主語と述語をにわけようとしている。 (主学)主語と述語を取り入れた文を作ろうとしている。	・言葉のページ「主語と述語」	・主語と述語の関係性について学ぶ。 ・主語と述語の使い方を知り、問題を解く。 ・主語と述語を取り入れた文を作る。
	7	(知及技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ることができる。【中1段階ア(ウ)】 (知及技)主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解することができる。【中1段階ア(オ)】 (知及技)事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。【中1段階イ(ア)】 (思判表力)文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。【中1段階B(ウ)】 (思判表力)自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。【中1段階B工】 (学・人)お互いの書いた作文を読み合い、意見を述べ合うことができる。【中1段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音のある文を、原稿用紙の書き方に従って正しく書こうとしている。 (知・技)本文を読み、言葉の使い方などが正しいかどうかを考えようとしている。 (知・技)本文を読み、「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」が書かれているかを確認しようとしている。 (思・判・表)夏休みの思い出を、原稿用紙の使い方に気を付けて書こうとしている。 (思・判・表)自分が書いたものを読み返し、間違いを正そうとしている。 (主学)お互いの書いた作文を読み合い、感想を述べ合ったり、間違いを教え合おうとしている。	・「伝わりやすくなるように書く」	・教科書の作文を読み、言葉の使い方や漢字の間違ひを見つけ、正しく書き直す。 ・教科書の作文を読み、「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」が書かれているか、順序よく書かれているか確認する。 ・原稿用紙の使い方について確認する。 ・教科書p105の原稿用紙に文を書き、正しく書けたか確認する。 ・夏休みの絵日記を、原稿用紙に書き出す。 ・発表する。
	6	(知及技)読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。【中1段階ウ(エ)】 (思判表力)簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階C(ア)】 (学・人)図書に親しみ、言葉で考えたり、伝え合ったりすることができる。【中1段階】	(知・技)図書館に行き、様々なジャンルの本を読もうとしている。 (思・判・表)おすすめの本を見つけ、読書郵便を書こうとしている。 (主学)お互いのおすすめの本を紹介しあおうとしている。	・「本に親しもう」	・図書室に行き、好きな本を選ぶ。 ・様々なジャンルの本に挑戦する。 ・読書郵便を作成し、おすすめの本を紹介する。
	6	(知及技)読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。【中1段階ウ(エ)】 (思判表力)簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階C(ア)】 (学・人)未知の場所や事物についての情報を得て、関心を一層高め、自然や季節などの美しさに関心をもつことができる。【中1段階】	(知・技)「日本を旅して」の文章は、紀行文であることを理解している。 (思・判・表)文章を読み、情景や場面の様子について想像しようとしている。 (主学)様々な自然や文化についての文章を読むことで、自然や文化について関心をもとうとしている。	・「日本を旅して」	・簡単な文章を読み、自然や季節などの美しさを表した紀行文があることを知る。 ・文章を読み、いくつかの写真の中から、文章に合った写真を選ぶ。 ・文章に書かれている内容を読み取る。 ・文章を読み、その場所に行きたいか、確かめる。
	5	(知及技)主語と述語の関係や接続する語句の役割を理解することができる。【中1段階ア(オ)】 (思判表力)語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えることができる。【中1段階Cイ】 (学・人)身の回りにあるものについて、関心をもつことができる。【中1段階】	(知・技)「点字は、○○です。」といったわかりやすい文になっていることを理解している。 (思・判・表)「点字は」の後に続く文のつながりに注目し、点字の何について書かれているか読み取ろうとしている。 (主学)校内の点字を探し、身近なものについて関心をもとうとしている。	・「点字の話」	・点字の写真や挿絵を見て、点字について話し合う。 ・本文を読む。 ・「点字は、○○」という文のつながりに注目しながら、点字の何について書かれているか読み取る。 ・校内にある点字を探す。 ・点字について学習したことをまとめる。
	4	(知及技)自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【中1段階ウ(ア)】 (思判表力)簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階C(ア)】 (学・人)俳句について感じたことを伝え合うことができる。【中1段階】	(知・技)季語について知り、季語を取り入れた俳句を作ろうとしている。 (思・判・表)俳句に詠まれている情景を想像しようとしている。 (主学)お互いの俳句を読み合い、感想を伝え合おうとしている。	・「俳句」	・俳句を音読する。 ・俳句の基本的知識を学ぶ。 ・俳句の中の季語を確認する。 ・俳句に詠まれている情景などを読み取る。 ・俳句を作る。 ・俳句を発表しあう。
5	(知及技)挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。【中1段階ウ(イ)】 (思判表力)見聞したことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。【中1段階B(ア)】 (学・人)はがきや手紙を受け取ったり、書いたりすることで日常生活を充実しようしたり、お礼の気持ちを伝え人間関係の形成を図ることができる。【中1段階】	(知・技)新年に送るおたよりは「年賀状」ということや、新年の挨拶には「明けましておめでとうございます」などがあることを理解している。 (思・判・表)年賀状を送る相手を選び、新年の抱負を決め、伝えたいことをまとめようとしている。 (主学)年賀状を送ることで、よりよい人間関係を築こうとしている。	・「手紙を書こう」	・年賀状の定型文とハガキの書き方を『手紙の書き方』の資料を使って学ぶ。 ・年賀状を送る相手を決める。 ・新年の抱負を決めたり、書く内容を考える。 ・「明けましておめでとうございます」や「謹賀新年」などの新年の挨拶を取り入れて年賀状を書く。	

3 学 期	7	(知及技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。【中1段階ウ(ウ)ア】 (思判表力)自分が書いたものを読み返し、間違いを直すことができる。【中1段階B(工)】 (学・人)自分の気持ちを文字で伝えたり、文字の書き方を考えたりすることができる。【中1段階】	(知・技)筆の持ち方について知り、「とめ」「はね」「はらい」を意識して、文字を丁寧に書こうとしている。 (思・判・表)字のバランスや、「とめ」「はね」「はらい」ができていかなど、書いた文字を見返そうとしている。 (主学)書きたい文字を選ぶことで、自分の気持ちを表現しようとしている。	・言葉のページ「書いてみよう②」	・書道の道具(筆、硯、文鎮、下敷き、墨)の名称を学び、道具の使い方を知る。 ・書きたい文字を選び、道具を使って書く。
	8	(知及技)普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。【中学1段階ア(カ)】 (思判表力)自己紹介や電話の受け答えなど、相手や目的に応じた話し方で話すことができる。【中1段階A(工)】 (学・人)電話の受け答えの話し方を意識しながら、会話の中で必要なことを簡単にメモすることができる。	(知・技)普通の言葉と丁寧な言葉との違いについて理解している。 (思・判・表)相手や目的に応じた話し方で、電話の受け答えのロールプレイングをしようとしている。 (主学)適切な話し方を意識しながら、大切な用件にはメモをとろうとしている。	・「電話を使って伝えよう」	・電話のマナーについて知る。 ・相手に応じた話し方の確認をする。 ・丁寧な言葉を使って、電話の受け答えのロールプレイングをする。 ・電話の受け答えをしながら、受け手役は、メモをとる練習をする。 ・ロールプレイングをしての感想を発表する。
	8	(知及技)事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。【中1段階イ(ア)】 (知及技)読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。【中1段階ウ(工)】 (思判表力)文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもつたりすることができる。【中1段階C(工)】 (学・人)場面の情景や事柄の流れ、登場人物の心情などを読み取ることで情操を深めていこうと意識を持つことができる。【中1段階】	(知・技)「いつ」「誰が」「何をした」を読み取ろうとしている。 (知・技)「オオカミと羊飼いの」文章は、物語であることを理解している。 (思・判・表)文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもつたりしている。 (主学)登場人物の気持ちを想像し、自分だったらどうするかを考えようとしている。	・「オオカミと羊飼いの」	・音読する。 ・物語の大まかな内容を確認する。 ・登場人物の気持ちの変化を読み取る。 ・内容に関する問題を解く。 ・「自分が〇〇の人物だったら、どんな気持ちになる」など、登場人物の気持ちを自分に置き換えて考える。 ・発表する。
	7	(知及技)挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。【中1段階ウ(イ)】 (思判表力)見聞きたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。【中1段階B(ア)】 (学・人)はがきや手紙を受け取ったり、書いたりすることで日常生活を充実しようしたり、お礼の気持ちを伝え人間関係の形成を図ることができる。【中1段階】	(知・技)時候の挨拶について理解している。 (思・判・表)感謝の気持ちを取り入れて、感謝の手紙を書こうとしている。 (主学)感謝の手紙を書くことで、よりよい人間関係を築こうとしている。	・「手紙を書こう」	・時候のあいさつを学ぶ。 ・いくつかある時候のあいさつの中から、手紙の内容に取り入れたい時候のあいさつを選ぶ。 ・時候のあいさつや感謝の気持ちを取り入れて、お礼の手紙を書く。
留意点 引継ぎ等	・音読や未習得文字の指導、漢字検定問題の練習、読み聞かせを通年で行う。 ※生徒の実態に応じ、下学部段階の指導内容を取り入れる。指導内容は個別の指導計画に記す。				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	2学年8名		星本☆☆☆☆、副教材 (学研初級・中級等)ドリル

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標 (知及技) 日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(中学部1段階)
 (思判表力)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝える力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(中学部1段階)
 (学・人)言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(中学部1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技)読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。【中学部1段階ウ(工)】 (思判表力)簡単な文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中学部1段階ア(ア)】 (学・人)お互いの気持ちを共有するために、詩を表したり、読んだりすることで、伝え合おうとすることができる。【中学部1段階】	(知・技)読者に深い印象を残す技法として言葉を繰り返す(反復法)表現があることを理解している。 (思・判・表)詩を読み、登場人物の置かれている場面の様子や心情などを想像しようとしている。 (主学)気に入った詩を見つけ、どこか気に入っているのか、伝えようとしている。	・詩「ただいだけ」	・本文を音読し、繰り返されている言葉(表現)を見つける。 ・「あかるくなる」「やすらぐ」などの単語から詩の雰囲気をつかえ、内容・性質を読み取る。 ・詩に触れる。図書室に行き、自分の好きな詩を探し、選んだ理由も述べて発表する。
	4	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くことができる。【中学部1段階ア(工)】 (思判表力)日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動することができる。【中学部1段階ウ(ウ)】 (学・人)様々な語句の分類を理解し、日々の生活をより豊かなものにしていこうと考えることができる。【中学部1段階】	(知・技)同音異義語があることを理解している。 (思・判・表)対義語、同義語、同音異義語のそれぞれの言葉の正しく使って、見たことを文で表現している。 (主学)対義語、同義語、同音異義語を用いた簡単な作文をしようとしている。	・言葉のページ「言葉の意味」	・同音異義語、対義語、同義語があることを知る。 ・絵やイラスト、教師の示す動作等を見て、それを表す文を同音異義語、対義語、同義語を使って書く。 ・同音異義語、対義語、同義語を使って、簡単な文を書く。
	4	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くことができる。【中学部1段階ア(工)】 (思判表力)日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動することができる。【中学部1段階ウ(ウ)】 (学・人)日常生活において、言葉の意味を考えながら、読んだり、書いたりしようとする意欲を高めることができる。【中学部1段階】	(知・技)言葉には、まとめる機能(上位語)があることを理解している。 (思・判・表)自分が知っている事柄・情報の中から、ある上位語の下位語を見付けたり、下位語をまとめる上位語を見付けたりしている。 (主学)身近な上位語と下位語を組み合わせた文を自ら考えたり、他の人の作文を読んで意味を考えたりしている。	・言葉のページ「仲間の言葉」	・まとめる言葉(上位語)があることを知る。 ・日常生活の中で使う語句について上位語、下位語を見付ける。 ・上位語と下位語を組み合わせた、簡単な文を書いたり、読んだりする。
	6	(知及技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ること。【中学部1段階ア(ウ)】 (思判表力)語や語句の意味をもとに時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。【中学部1段階ウ(イ)】 (学・人)自分から調べてみようとして、図書室やICT機器を活用して様々な形態の文に触れ、得られた知識を生活に応用することができる。【中学部1段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解している。 (思・判・表)説明文を基に、正しい手順で作っている。 (主学)分からないことを調べて、自分にとって有益な知識として残そうとしている。	・作ってみよう	・教科書を見せずに説明文を音読し、(説明文カード、イラストカード)説明文の表す事柄と写真・イラストのマッチングをする。 ・わからなかった語や文章表現について、ipadや辞典を活用して調べ、共有し合う。 ・製作活動 ・自分が分かりやすくなるように、既存の説明に補足を付け足す。
	7	(知及技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ることができる。【中学部1段階ア(ウ)】 (思判表力)相手に伝えるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。【中学部1段階B(イ)】 (学・人)文章に対する感想をもち、伝え合うことができる。【中学部1段階B(オ)】 (学・人)言語力を高め、日々の生活をより豊かなものにしていこうと考えることができる。【中学部1段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を理解している。 (思・判・表)「はじめに」「次に」「最後に」の言葉を用い、事柄の順序に沿って構成を考えようとしている。 (思・判・表)。 (主学)相手に伝えるように話の構成を考えたり、感想を伝え合ったり、正しい仮名遣いや読み方をしたりしている。	・「順序よく書く」	・長音、拗音、促音、撥音、助詞を探したり、読んだり、書いたりする。 ・「はじめに」「次に」「最後に」から始まる文で、文章を書く。 ・友達の発表を聞き、感想を書いたり、発表したりする。 ・相手に伝えるように話の構成を考えたり、感想を伝え合ったり、正しい仮名遣いや読み方をしたりする。

	7	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。【中学部1段階ウ(イ)】 (思判表力) 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。【中学部1段階B(ア)】 (学・人) はがきや手紙を受け取ったり、書いたりすることで日常生活を充実させることができる。【中学部1段階】	(知・技) 季節に応じた表現があることを理解している。 (思・判・表) 伝える相手、伝えたい事柄を決め、文章構成を考えている。 (主学) 季節に応じた表現を取り入れて、暑中見舞いハガキを書こうとしている。	・「手紙を書こう」	・季節に応じた表現を知る。 ・伝える相手や伝えたい事柄を決めて、文章構成を考える。 ・季節にあった表現を選んで、暑中見舞いを書く。
	6	(知及技) 身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。【中学部1段階ア(ア)】 (思判表力) 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えることができる。【中学部1段階C(エ)】 (学・人) 言葉を用いてやりとりをしようとする意欲を高めることができる。【中学部1段階】	(知・技) 工作工程が「始め、中、終わり」の3つのまとまりで書かれていることを理解している。 (思・判・表) 紹介したいことを考えて、文にして書いている。 (主学) 作文を音読して、書いたことを伝えていく。	・「作品をしようかいしよう」	・本文を読み、書かれている内容の大体を捉える。 ・美術の時間に製作した物を題材にして、紹介したいことを考え、文を書く。 ・書いた文章を発表する。
	6	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ること。【中学部1段階ウ(エ)】 (思判表力) 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすること【中学部1段階A(ウ)】 (学・人) 様々な相手と事柄や考え、気持ちなどを共有するために伝え合おうとする態度を持つことができる。【中学部1段階】	(知・技) 江戸時代から親しまれている「小話」というジャンルがあることを理解している。 (思・判・表) それぞれの小話について、伝えたいことや感想を持ち、言葉で表現している。 (主学) 伝えたいことや感想を相手に伝えている。	・江戸小話	・「おない年」「しりから入る」を読んで、内容を把握し、それ以外の江戸小話も読む。 ・それぞれの小話について伝えたいことや感想を書く。 ・書いた伝えたいことや感想を発表し合う。
	6	(知及技) 語のまとまりに気を付けて音読することができる。【中学部1段階ア(キ)】 (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。【中学部1段階C(ア)】 (学・人) 主人公の心情を想像しながら音読を楽しむことができる。【中学部1段階】	(知・技) 物品が良い物に交換されていく物語構成を理解している。 (思・判・表) 「さらに・・・」と繰り返される部分の読み方をどのように工夫すべきか考えている。 (主学) 主人公の心情を想像し、読み方を工夫して音読を楽しもうとしている。	・「わらしべ長者」	・本文を読み、書かれている内容の大体を捉える。 ・「さらに・・・」と繰り返される部分の読み方を考える。 ・繰り返し使われる表現部分を工夫して音読する。
2 学期	8	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。【中学部1段階イ(ア)】 (思判表力) 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えることができる。【中学部1段階C(ア)】 (学・人) 文章を読むことで新しい知識が得られることを楽しんだり、別の文章をもっと読んでみようという意欲を高めることができる。【中学部1段階】	(知・技) 事柄の順序を示す語があることを理解している。 (思・判・表) 語や語句の意味、写真をもとに水道水ができるまでの順序を把握している。 (主学) 文章を読むことで新しい知識が得られたことを楽しみ、他の事柄についても知りたいと考えている。	・「水道水ができるまで」	・教科書の本文から、「最初は」「次に」「今度は」などの言葉を見つけ、言葉に印をつける。 ・「着水井」などの単語から、掲載されている写真に合う意味段落を本文中から探し出す。 ・生活に関する事柄で知らないことを挙げる。
	8	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。【中学部1段階イ(ア)】 (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中学部1段階C(ア)】 (学・人) 事柄の順序を追って理解する楽しさや、場面の様子を想像しようとすることができる。【中学部1段階】	(知・技) 場面の転換や順序を示す言葉があることを理解している。 (思・判・表) 語や語句の意味から、情景や場面の様子、登場人物の心情を捉えながら、内容を把握している。 (主学) 事柄の順序を確認しながら読み進めたり、イラストのない場面を想像したりして、楽しんで読んでいる。	・「ねぼうしたねこ」	・「やがて」や「続いて」など場面の転換や順序を表す言葉を捉える。 ・物語を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを考える。 ・事柄の順序を確認しながら読み進めたり、イラストのない場面を想像したりする。
	6	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。【中学部1段階ウ(イ)】 (思判表力) 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。【中学部1段階B(ア)】 (学・人) はがきや手紙を受け取ったり、書いたりすることで日常生活を充実させることができる。【中学部1段階】	(知・技) 季節に応じた表現があることを理解している。 (思・判・表) 伝える相手、伝えたい事柄を決め、文章構成を考えている。 (主学) 見直しや訂正を行って丁寧に書こうとしている。	・「手紙を書こう」 ・年賀状 ・干支	・「謹賀新年」、「迎春」の挨拶を知る。 ・伝える相手や伝えたい事柄を決めて、文章構成を考え、年賀状を書く。 ・書いた内容を発表して、丁寧に書いているか確認する。
	6	(知及技) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を書くことができる。【中学部1段階ウ(ウイ)】 (思判表力) 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。【中学部1段階B(エ)】 (学・人) 自分で書いた字で伝えたり、考えたりしようという意欲をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技) 正しい書き方としての、点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などの観点があることを理解している。 (思・判・表) 自分が書いたものを見返し、お手本などと比較して、自己評価をしている。 (主学) 間違いを正したり、より丁寧な字を書こうとして練習したりしている。	・言葉のページ「書いてみよう②」 ・書道	・文字の書き方として、「とめ」「はね」などについて知る。 ・点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を書く、見直しをする。 ・正しい書き方を身につけるために練習する。
	6	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。【中学部1段階イ(ア)】 (思判表力) 語や語句の意味をもとに時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。【中学部1段階C(イ)】 (学・人) 文章を読んで楽しむ事への興味を高め、ある事柄について図鑑等で調べようとする。【中学部1段階】	(知・技) 過去、現在、未来という時間的な区切りの概念があることを理解している。 (思・判・表) 自動車の発展の歴史が3部構成で書かれていることを読み取り、それぞれに書かれている自動車の特徴を捉えている。 (主学) テーマを決めて、ICT機器や図書室を活用して調べている。	・自動車の今昔	・時間的な順序を示す言葉に注目する。 ・本文内容を3つに分け、それぞれに書かれていることを読み取る。 ・生活に身近な物から一つ選んで、その歴史について調べる。

3 学 期	10	(知及技)発声や声の大きさに気を付けて話すことができる。【中学部1段階A(イ)】 (思判表力)話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めることができる。【中学部1段階A(イ)】 (思判表力)相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつことができる。【中学部1段階A(オ)】(学・人)自分の思いや考えをまとめたり、相手に分かりやすく伝えたりしようとする事ができる。【中学部1段階】	(知・技)音読で大切なこととして、発声や声の大きさがあることを理解している。 (思・判・表)自分の夢について考え、発表することを決めている。 (思・判・表)他の人の発表を聞き、感じたことを伝えたり、感想を書いたりしている。 (主学)相手に分かりやすくなるように作文を推敲したり、発表の発声の仕方や声の大きさに気を付けている。	・「自分の夢を話そう」	・音読の際に大切なことを確認する。 ・自分の夢について考え、発表することを決める。 ・他の人の発表を聞き、感じたことを伝えたり、感想を書いたりして、自分の考えを持つ。 ・他の人の発表も参考にしながら、「自分の夢」の題で作文をし、発声の仕方や声の大きさに気を付けて発表する。
	8	(知及技)挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。【中学部1段階ウ(イ)】 (思判表力)見聞きしたことや経験したことから、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。【中学部1段階B(ア)】 (学・人)お礼の気持ちを伝え、人間関係の形成を図ろうとする意識を高めることができる。【中学部1段階】	(知・技)季節に応じた表現があることを理解している。 (思・判・表)見聞きしたことや経験したことから、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめようとしている。 (主学)敬体を用いて丁寧な言葉遣いで文を書いている。	・「手紙を書こう」 ・手紙の書き方 ・感謝の手紙	・早春の挨拶について知る。 ・伝える相手や伝えたい事柄を決めて、文章構成を考え、感謝の手紙を書く。 ・お礼の手紙であることを踏まえ、敬体で書く。
留意点 引継ぎ等	・音読や未習得文字の指導、漢字検定問題の練習、読み聞かせを通年で行う。 ※生徒の実態に応じ、下学部段階の指導内容を取り入れる。指導内容は個別の指導計画に記す。				

単位数 / 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	3学年18名		星本☆☆☆☆☆、副教材（学研初級編等）、ドリル

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（中2段階） （思判表力）筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝える力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（中2段階） （学・人）言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（中2段階）
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	（知及技）幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ることができる。【中2段階ウ(エ)】 （思判表力）様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情を想像することができる。【中2段階C(ア)】 （学・人）読んで感じてことや分かったことを伝え合うことができる。【中2段階】	（知・技）定型詩や自由詩のきまりについて理解している。 （思・判・表）気になった言葉や好きな言葉について、なぜそう感じたかのか理由を付け加えて発表しようとしている。 （主学）互いの発表を聞いて、感想を伝え合おうとしている。	・詩「われは草なり」	・詩の種類について学ぶ。 ・詩が七五調であることを意識しながら音読する。 ・気になった言葉や好きな言葉について、なぜそう感じたかのか理由を付け加えて発表する。 ・互いの発表を聞き、多様な感じ方に触れる。
	5	（知及技）必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解使用することができる。【中2段階イ(イ)】 （思判表力）身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えることができる。【中2段階A(ア)】 （学・人）必要なことを書き留めたり、得た情報を整理して活用することができる。【中2段階】	（知・技）どんなことを聞き取ればよいか、どんなことをメモすればよいかなど、情報の整理の仕方について理解している。 （思・判・表）説明を聞いて、メモをとったり、わからないことは質問をしたりしようとしている。 （主学）自分が聞き取ったこと、友達が聞き取ったことを比べながら情報を整理しようとしている。	・「校外学習に行く前に確認しよう」	・事前学習で説明を聞く前に、「どんなことを聞き取ればよいか」「どんなことをメモすればよいか」を確認する。 ・本文を読む。 ・教師の説明を聞き、大切なことはメモをとったり、わからないことは質問する。 ・自分が聞き取ったこと、友達が聞き取ったことを比べながら情報を整理する。
	6	（知及技）修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解することができる。【中2段階ア(オ)】 （知及技）敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら書くこと。【中2段階A(カ)】 （思判表力）文章を読み返す習慣を身に付け、間違いを正したり、語と語の続き方を確かめたりすることができる。【中2段階B(エ)】 （人・学）言葉の使い方に理解を深めることができる。【中2段階】	（知・技）修飾語やこそあど言葉、常体と敬体の違いについて理解している。 （知・技）敬体と常体の違いに注意しながら問題を解こうとしている。 （思・判・表）文章を読み返し、誤字脱字等に気を付けて間違いを正そうとしている。 （主学）習ったことを活用して、簡単な文を作ろうとしている。	・「言葉のページ」 修飾語 こそあど言葉 敬体と常体 推敲	・パワーポイント等で、修飾語やこそあど言葉、常体と敬体の確認をする。 ・ワークシートで問題を解く。 ・習ったことを活用し、簡単な文を作る。 ・自分の書いた文を読み返し、間違いを見つけたら訂正する。
	5	（知及技）修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解することができる。どこに違いがあることに気付くことができる。【中2段階ア(オ)】 （思判表力）語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えることができる。【中2段階C(イ)】 （学・人）読んで感じたことや分かったことを伝え合うことができる。【中2段階】	（知・技）本文中から「最初に」「次に」を見つけ出し、事柄の順序に関わってくる語句だということに気付くことができる。 （思・判・表）本文に段落をつけ、出来事の順序や、どんな構成で書かれているかを考えようとしている。 （主学）感じたことや分かったことの感想を伝え合おうとしている。	・「スーパーマーケット見学」	・スーパーマーケットの写真を見て、自分が知っていることを発言する。 ・本文に段落をつけ、出来事の順序や、どんな構成で書かれているかを考える。 ・ワークシートで、大まかな内容を理解しているか確認する。 ・感じたことや分かったことの感想
	4	（知及技）日常生活の中での周りの人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。【中2段階ア(ア)】 （思判表力）物事を決めるために、簡単な役割や進め方に沿って話し合い、考えをまとめることができる。【中2段階A(オ)】 （学・人）互いの共通点や相違点を確認しながら、話し合うことができる。【中2段階】	（知・技）言葉を用いて伝えたいことを明確にして伝えようとしている。 （思・判・表）司会者や提案者などの役割を決め、話し合いの進め方に沿って話し合おうとしている。 （主学）自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりと、話し合いを円滑に進めようとしている。	・「話し合って決めよう」	・本文をロールプレイする。 ・教科書に出てくる人物の役をそれぞれ当てる。 ・それぞれ担当箇所の本文を読み、話し合いの流れや進め方の感覚をつかむ。 ・話し合いを進めていったり、話し合いで物事を決めるためには、どんなことが大切かを考える。
	6	（知及技）修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解することができる。【中2段階ア(オ)】 （思判表力）相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる。【中2段階A(イ)】 （思判表力）見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えることができる。【中2段階A(ウ)】 （思判表力）相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすることができる。【中2段階A(エ)】 （学・人）言葉には、思考を表出し他者に伝える働きがあることに気付く、思いや考えを伝え合うことができる。【中2段階】	（知・技）事例をあげる際に「例えば」の語句を使ったり、理由を述べる際には「なぜか」というと、を使い、語句の役割について理解している。 （思・判・表）相手や目的を決め、伝える内容を明確にしようとしている。 （思・判・表）わかりやすく伝えるために、理由や事例を取り上げたり、伝える順序を工夫しようとしている。 （思・判・表）相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりしようとしている。 （主学）学校に対する思いや考えを伝え合おうとしている。	・「学校しようか」 いをしよう」	・学校紹介をする相手や目的を決める。 ・紹介する内容を決める。 ・わかりやすい内容にするために、理由や事例などを考える。 ・発表の練習をする。（声の大きさや話す速さなどを工夫する。） ・発表をする。

2 学 期	7	(知及技)日常生活の中での周りの人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。【中2段階ア(ア)】 (思判表力)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる。【中2段階A(イ)】 (思判表力)見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えることができる。【中2段階A(ウ)】 (学・人)伝える方法を考えることができる。【中2段階】	(知・技)本文を読み、自分たちの生活を振り返ろうとしている。 (思・判・表)自分の伝えたいことをマッピング等を活用して、思考を広げようとしている。 (思・判・表)「いつ」「どこ」「どのように」「どうする」などの言葉で伝えたい内容を整理しようとしている。 (主学)伝えたいことをどのような方法で発表するか考え、発表しようとしている。	・「みんなに伝えよう」	・自分たちの生活を振り返り、伝えたいこと(テーマ)を考える。 ・テーマに沿って、伝えたい内容をマッピング等を活用して、思考を広げる。 ・「いつ」「どこ」「どのように」「どうする」などの言葉で伝えたい内容を整理する。 ・伝えたいことをどのような方法で発表するか考える。 ・発表する。
	6	(知及技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、使える範囲を広げることができる。【中2段階ア(エ)】 (知及技)内容の大体を意識しながら音読することができる。【中2段階ア(キ)】 (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階C(ア)】 (思判表力)中心となる語句や文を明確にしながらか読むことができる。【中2段階C(エ)】 (学・人)分からない語句をICT機器を利用して調べることができる。【中2段階】	(知・技)わからない語句を、ICT機器を活用して調べ、語彙を広げようとしている。 (知・技)文章を音読し、内容を大まかに理解している。 (思・判・表)文章を読んで、いくつかの写真の中から、文章の情景にあった写真を選ぼうとしている。 (思・判・表)文章中で着目した語句や文を抜き出し、着目した理由や感じた理由を考えようとしている。 (主学)分からない語句をICT機器を利用して調べようとしている。	・「日本を旅して」	・本文のみを読んで、情景を想像し、いくつかの写真の中から、文章に合った情景を選ぶ。 ・わからない語句をICT機器と活用して調べ。 ・本文の大まかな内容を読み取る。 ・4つの場所の中で、1番行ってみたいと思った場所を選ぶ。 ・なぜ行ってみたいと思ったのかの理由を、文章中で着目した語句や文を抜き出す。 ・発表する。
	6	(知及技)幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ることができる。【中2段階ウ(エ)】 (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階C(ア)】 (学・人)読んで感じてことや分かったことを伝え合うことができる。【中2段階】	(知・技)図書館では、本が種類や分類ごとに分けて並べられていることを理解している。 (思・判・表)様々なジャンルの本を読み、興味・関心のある本について、読書郵便や読書新聞等を作成しようとしている。 (主学)読書郵便や読書新聞等を通して、お互いの本への感想を伝え合おうとしている。	・「学校の図書館で本を探そう」	・図書館の利用経験や利用方法について確認する。 ・図書館では、本が種類や分類ごとに分けて並べられていることを知る。 ・様々なジャンルの本を読む。 ・興味関心のある本を探し、読書郵便や読書新聞を作成する。 ・作成した読書郵便や読書新聞等を発表する。
	6	(知及技)生活に身近なことわざを知り、使うことにより様々な表現に親しむことができる。【中2段階ウ(イ)】 (学・人)生活経験の中でありがちなことをことわざで例えて周囲の友達と共有することができる。【中2段階】	(知・技)生活に身近なことわざや標語を調べ、ことわざや標語に親しもうとしている。 (主学)自分が経験した出来事と似たことわざ調べたり、標語を作成して発表し、他者と共有しようとしている。	・「ことわざ、標語」	・ことわざについて知る。 ・自分のこれまでの経験に似たことわざを調べる。 ・ことわざの意味と文例をワークシートにまとめる。 ・標語について知る。 ・標語について調べる。 ・標語を作り、発表する。
	7	(知及技)幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ることができる。【中2段階ウ(エ)】 (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階C(ア)】 (思判表力)読んで感じたことや分かったことを伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。【中2段階C(オ)】 (学・人)興味のある県や地域について調べ、感想等を伝え合うことができる。【中2段階】	(知・技)紀行文であることを理解している。 (思・判・表)文章を読み、情景や筆者の心情を想像しようとしている。 (思・判・表)二つの文章を読んで感じたことや違いについて考え、伝え合おうとしている。 (主学)自分が興味をもった県や地域について調べ、調べたことを伝え合おうとしている。	・「修学旅行の思い出」 ・「おわら風の盆に行って」	・筆者が旅行先で経験したことや感じたことを述べた文章(紀行文)であることを確認する。 ・本文を音読し、ワークシートで、出来事の順序や筆者の心情など、大まかな内容を確認する。 ・文章を読んで、感じたことを発表し合う。 ・2つの題材は、それぞれ敬体と常体で書かれていることを確認する。 ・興味のある県や地域について、ICT機器を活用して調べ、調べたことを発表する。
	7	(知及技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。【中2段階イ(ア)】 (思判表力)書く内容の中心を決め、自分の考えとその理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えることができる。【中2段階B(イ)】 (思判表力)事実と自分の考えとの違いなどが相手に伝わるように書き表し方を工夫することができる。【中2段階B(ウ)】 (学・人)書いた文章を互いに読み、感想を伝え合うことができる。【中2段階】	(知・技)自分の考えとその理由を明確にしようとしている。 (思・判・表)書く内容を決め、「始め-中-終わり」の構成で文章を書こうとしている。 (思・判・表)事実と自分の考えとの関係を捉えて、文章を書こうとしている。 (主学)書いた文章を互いに読み、感想を伝え合おうとしている。	・「職場体験の感想文を書こう」	・「修学旅行」についての感想文を書くことを確認する。 ・書く内容の材料を集める。 ・事実と自分の考えを区別する。 ・文章の組み立て「始め-中-終わり」を考える。 ・感想文を書く。 ・書いた感想文を読み返す。 ・感想文を発表する。 ・互いの感想文を聞き、感想を伝え合う。
	6	(知及技)易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【中2段階ウ(ア)】 (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階C(ア)】 (学・人)音読や暗唱などにより、情景を想像し、感じ取ったことを伝えることができる。【中2段階】	(知・技)俳句は、5・7・5の17音で作られていることや、季語を使っていることを知り、5・7・5のリズムを意識しながら音読しようとしている。 (思・判・表)俳句の大まかな内容を知ろうとし、作者等をICT機器を活用して調べようとしている。 (主学)好きな俳句を選び、その理由と感想を伝え合おうとしている。	・「俳句」	・俳句は、5・7・5の17音で作られていることや、季語を使っていることを学び、5・7・5のリズムを意識しながら音読する。 ・俳句の大まかな内容を知り、作者や分からないことを、ICT機器を活用して調べる。 ・好きな俳句を選び、その理由と感想を伝え合う。 ・俳句を作る。

3 学 期	6	(知及技)点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。【中2段階ウ(ウ)ア】 (知及技)漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができる。【中2段階ウ(ウ)イ】 (思判表力)文章を読み返す習慣を身に付け、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりすることができる。【中2段階B工】 (学・人)文字を書く意欲を高め、文字を書くことを通して思いや考えを伝えることができる。【中2段階】	(知・技)「とめ」「はね」「はらい」に気を付けて、文字を丁寧に書こうとしている。 (知・技)漢字や仮名の大きさ、配列に気を付けて、文字をバランスよく書こうとしている。 (思・判・表)自分の書いた文字を見返して、文字を正しく整えて書こうとしている。 (主学)読みやすい文字にするためにはどうしたらよいかを考えようとしている。	・「言葉のページ」 p104～p105 ・「言葉のページ」 p106～p107	・文字の形や大きさを整えて書くことを確認する。(教科書を音読したり、文字を指でなぞったりする) ・文字の配列について確認する。 ・道具の名称等を確認する。 ・文字の形や大きさに気を付けて書く。 ・自分の書いた文字とお手本を見比べて、再度書き直す。 ・読みやすい文字にするためにはどうしたらよいかを考え、学習を振り返る。
	4	(知及技)易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【中2段階ウ(ウ)ア】 (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情を想像することができる。【中2段階C(ア)】 (学・人)音読や暗唱などにより、情景を想像し、感じ取ったことを伝えることができる。【中2段階】	(知・技)短歌は、5・7・5・7・7の31音で作られていることを知り、5・7・5・7・7に区切ってリズムよく音読しようとしている。 (思・判・表)短歌に詠まれている季節はいつで、どの言葉からわかるかなど、情景を読み取ろうとしている。 (主学)好きな短歌を選び、その理由と感想を伝え合おうとしている。	・「短歌」	・短歌は、5・7・5・7・7の31音で作られていることを確認する。 ・短歌を音読し、内容を大まかに知る。 ・作者や分からないことを、ICT機器を活用して調べる。 ・好きな短歌を選び、その理由と感想を伝え合う。(可能であれば暗唱する) ・短歌を作る。
	4	(知及技)内容の大体を意識しながら音読することができる。【中2段階ア(キ)】 (知及技)幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ることができる。【中2段階ウ(工)】 (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情を想像することができる。【中2段階C(ア)】 (学・人)情景や心情を読み取り、思いや考えを伝え合うことができる。	(知・技)落語の話口調を映像などで確認し、落語家のような口調で音読している。 (知・技)江戸時代から親しまれている「落語」というジャンルがあることを理解している。 (思・判・表)それぞれの落語について、伝えたいことや感想を持ち、言葉で表現している。 (主学)伝えたいことや感想を相手に伝えている。	・「最後のうそ、うなぎ屋」	・「最後のうそ」「うなぎ屋」を読んで、内容を把握する。 ・落語についても知り、図書室から落語の本を探し、読む。 ・自分で探した落語を紹介する文章を考える。 ・自分で探した落語についての感想を発表し合う。 ・読書の効果について知る。
	5	(知及技)発声や発音に気を付けたり、声の大きさを調節したりして話すことができる。【中2段階ア(イ)】 (知及技)内容の大体を意識しながら音読することができる。【中2段階ア(キ)】 (思判表力)様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階C(ア)】 (学・人)話し方を工夫したいという気持ちを高めることができる。【中2段階】	(知・技)声の大きさや話す速さに気を付けて、相手に伝わりやすい話し方を意識しようとしている。 (知・技)文章全体を読み、思い出や感謝の気持ちを呼びかけている内容だと知り、気持ちを込めて音読しようとしている。 (思・判・表)これまでの学校生活の思い出を友達と一緒に振り返り、相手によりよく伝えるための内容を考えようとしている。 (主学)話し方を工夫したいという気持ちを高めようとしている。	・「呼びかけ」	・声の大きさや話す速さに気を付けて、文章全体を読み、内容を理解する。 ・空欄にどんな文章を入れたらよいか考える。 ・相手によりよく伝わるために、どんな話し方(声の大きさ、話す速さ、目線等)をしたらよいか考える。 ・呼びかけの担当箇所を決め、練習をする。
	6	(知及技)修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解することができる。どこに違いがあることに気付くことができる。【中2段階ア(オ)】 (知及技)幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ることができる。【中2段階ウ(工)】 (思判表力)日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取り、行動することができる。【中2段階C(ウ)】 (学・人)読み取った作成手順を互いに伝えたり、うまくいかない時に質問をしたりすることができる。【中2段階】	(知・技)修飾語がどの語句に係るのかが理解している。 (知・技)説明書が、様々な文章の形態の一つであると理解している。 (思・判・表)説明文の指示通りの方法、規格、手順で製作している。 (主学)提示された説明書に興味をもって読み、内容に関して感じたことや疑問に思ったことなどを話している。	・「作ってみよう」	・説明文の内から修飾と被修飾の関係にある言葉を把握する。 ・説明書について知る。 ・説明文を読んで、製作をする。 ・実生活における様々な説明書に触れる。
	5	(知及技)長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使うことができる。【中2段階ア(ウ)】 (知及技)敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら書くことができる。【中2段階ア(カ)】 (思判表力)相手や目的を意識して、見聞かしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。【中2段階B(ア)】 (思判表力)文章を読み返す習慣を身に付け、間違いを正したり、語と語の続き方を確かめたりすることができる。【中2段階B(工)】 (学・人)受け取る相手のことを思いやりながら手紙を書くことができる。【中2段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、手紙の中で使おうとしている。 (知・技)敬体や常体を意識しながら、手紙を書こうとしている。 (思・判・表)手紙を書く相手を決め、自分の伝えたいことや思いを、手紙の基本的な書き方に沿って書こうとしている。 (思・判・表)書いた手紙を読み返し、間違いを正したり、相手に伝わりやすい文になっているか確認しようとしている。 (主学)受け取る相手のことを思いやりながら手紙を書こうとしている。	・「お礼の手紙を書こう」	・本文を音読する。 ・人の関わり方の一つとして手紙があることを確認する。 ・手紙の基本的な書き方(書く順番や時候のあいさつなど)を学ぶ。 ・手紙を書きたい相手や目的を決める。 ・相手を意識して、敬体と常体のどちらを使って文を書くかを決める。 ・感謝の気持ちを分かりやすく伝えるためにはどんな言葉を使ったらよいか考える。 ・手紙を書く順番について、教科書に書いている6つの項目を確認する。 ・書いた手紙を読み返し、誤字脱字がないか、接続詞等は正しく使われているかを確認する。

留意点
引継ぎ等

・音読や未習得文字の指導、漢字検定問題の練習、読み聞かせを通年で行う。
※生徒の実態に応じ、下学部段階の指導内容を取り入れる。指導内容は個別の指導計画に記す。

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1学年13名		社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。【中学部1段階】 (思判表力)社会的事象について、自分の生活や地域生活と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。【中学部1段階】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技)学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中で役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。【中学部1段階ア(ア)㉞】 (思判表力)集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現することができる。【中学部1段階ア(ア)㉞】 (学・人)授業や社会に自ら関わろうとする意欲をもつ事ができる。【中学部1段階】	(知・技)授業や学校でのきまりを確認し、お互いの話を聞く姿勢や、ルールやマナーを守ることの大切さを知ろうとしている。【中学部1段階ア(ア)㉞】 (思・判・表)社会生活ときまりとの関連を考え、各場面でルールやマナーを表現しようとしている。【中学部1段階ア(ア)㉞】 (主学)教師の問いに、積極的に発言したり、自ら関わろうとする意欲をもとうとしている。【中学部1段階】	社会参加と決まり ・オリエンテーション ・学校探検	・一緒に学習する先生や仲間の名前、授業の進め方や約束の確認、係決め。 ・学校内の、施設をめぐる、その役割を知る。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市の様子が理解できる。【中学部1段階オ(ア)㉞】 (思判表力)都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することができる。【中学部1段階オ(ア)㉞】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)ハーレーの歴史を知ること、身近な地域の伝統文化を理解しようとしている。【中学部1段階オ(ア)㉞】 (思・判・表)日本地図や沖縄県地図、市町村の地図を活用して、自分の住んでいる町の位置や大きさをを知り、他地域との違いを表現しようとしている。【中学部1段階オ(ア)㉞】 (主学)沖縄戦に関して、新聞記事や絵本、映像を見ることで平和を尊ぶ心を育み、平和の大切さを自覚しようとしている。【中学部1段階】	我が国の地理や歴史 ・糸満市について ・市町村について ・戦争や平和について 「平和祈念資料館」	・沖縄県の市町村名や特色について知る。 ・「ハーレー」の由来や沖縄の人々の願いを理解する。 ・戦争について新聞記事や絵本、映像等の資料から読み取り、平和について考える。
2 学期	30	(知及技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが理解できる。【中学部1段階ウ㉞】 (思判表力)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現することができる。【中学部1段階ウ㉞】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)災害の種類や特徴、発生メカニズムについて理解し、適切な対応策を説明しようとしている。【中学部1段階ウ㉞】 (思・判・表)災害時の対応方法について問題を見だし、解決策を考えて表現しようとしている。【中学部1段階ウ㉞】 (学・人)災害への備えについて積極的に学び、家族や地域と協力して防災活動に取り組む姿勢をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	地域の安全 ・避難経路の確認 ・災害時の避難場所や関係機関の役割 「避難訓練」	・学習動画等で災害時にとるべき動きを理解する。 ・公共施設や公共機関の避難場所を確認する。
		(知及技)身近な生活に関する制度を理解することができる。【中学部1段階イ(イ)㉞】 (思判表力)身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現することができる。【中学部1段階イ(イ)㉞】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)身近な公共施設の種類を知り、その利用方法について理解しようとしている。【中学部1段階イ(イ)㉞】 (思・判・表)公共施設の必要性や課題について考え、正しい活用方法について表現することができる。【中学部1段階イ(イ)㉞】 (主学)公共施設の利用に関心をもとうとしている。【中学部1段階】	公共施設と制度 ・公共施設の制度と仕組み ・公共施設でのマナー 「公共交通機関」	・きまりやルールの理由をわかりやすく伝え、公共施設や公共機関の利用ができるようにする。
3 学期	18	(知及技)生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できる。【中学部1段階工(ア)㉞】 (思判表力)仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。【中学部1段階工(ア)㉞】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)生活に身近なスーパーマーケットを通して、【中学部1段階工(ア)㉞】 (思・判・表)仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現しようとしている。【中学部1段階工(ア)㉞】 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもとうとしている。【中学部1段階】	産業と生活 ・スーパーマーケットの働き 「学習発表会」 「生産と消費」	・生産や販売の仕事を知る
		(知及技)文化や風習の特徴や違いを知ることができる。【中学部1段階カ(ア)㉞】 (思判表力)そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。【中学部1段階カ(ア)㉞】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)文化や風習の特徴や違いを知り、【中学部1段階カ(ア)㉞】 (思・判・表)そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現しようとしている。【中学部1段階カ(ア)㉞】 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもとうとしている。【中学部1段階】	外国の様子 ・世界の国々 ・日本の行事 ・外国の文化	・世界各国のお正月の様子をインターネットなどで調べたり、興味のある情報を閲覧したりする。
留意点 引継ぎ等	※生徒の実態に応じて、学習内容の精選を行う。 ※iPadなどの、情報機器、新聞資料などの活用を取り入れる。 ※※年中行事や外国の行事、年間行事に合わせて授業を行う。				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	2学年 8名		社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまどめる技能を身に付けるようにする。【中学部1段階】 (思判表力)社会的事象について、自分の生活や地域生活と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。【中学部1段階】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守るための大切さを理解できる。【中学部1段階ア(イ)㉔】 (思判表力)社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。【中学部1段階ア(イ)㉔】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)授業や学校でのきまりを確認し、お互いの話を聞く姿勢や、ルールやマナーを守ることの大切さを知らうとしている。【中学部1段階ア(イ)㉔】 (思・判・表)社会生活ときまりとの関連を考え、各場面でルールやマナーを表現しようとしている。【中学部1段階ア(イ)㉔】 (主学)社会参加するために必要な集団生活に関わる学習活動を通して、身近な社会に自ら関わろうとしている。【中学部1段階】	社会参加と決まり ・オリエンテーション ・学校探検	・一緒に学習する先生や仲間の名前、授業の進め方や約束の確認、係決め。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市の様子が理解できる。【中学部1段階ア(ア)㉔】 (思判表力)都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することができる。【中学部1段階ア(ア)㉔】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。【中学部1段階】	(知・技)ハーレーの歴史を知ること、身近な地域の伝統文化を理解しようとしている。【中学部1段階ア(ア)㉔】 (思・判・表)日本地図や沖縄県地図、市町村の地図を活用して、自分の住んでいる町の位置や大きさをなどを知り、他地域との違いを表現しようとしている【中学部1段階ア(ア)㉔】 (主学)沖縄戦に関して、新聞記事や絵本、映像を見ることで平和を尊ぶ心を育み、平和の大切さを自覚しようとしている。【中学部1段階】	我が国の地理や歴史 ・糸満市について ・市町村について ・戦争や平和について 「平和祈念資料館」	・沖縄県本島の市町村名や特色について知る。 ・昔の人々の衣食住 ・戦争について新聞記事や絵本、映像等の資料から読み取り、平和について考える。
2学期	30	(知及技)身近な生活に関する制度を理解できる。【中学部1段階イ(イ)㉔】 (思判表力)身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現することができる。【中学部1段階イ(イ)㉔】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)身近な公共施設の種類を知り、その利用方法について理解しようとしている。【中学部1段階イ(イ)㉔】 (思判表力)公共施設の必要性や課題について考え、正しい活用方法について表現することができる。【中学部1段階イ(イ)㉔】 (主学)公共施設の利用に関心を持つようとしている。【中学部1段階】	公共施設と制度 ・公共施設の制度と仕組み ・公共施設でのマナー 「修学旅行」 「公共交通機関」	・きまりやルールの理由をわかりやすく伝え、公共施設や公共機関の利用が正しくできるようにする。
		(知及技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが理解できる。【中学部1段階ウ㉔】 (思判表力)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現することができる。【中学部1段階ウ㉔】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)災害の種類や特徴、発生メカニズムについて理解し、適切な対応策を説明しようとしている。【中学部1段階ウ㉔】 (思・判・表)災害時の対応方法について問題を見いだし、解決策を考えて表現しようとしている。【中学部1段階ウ㉔】 (主学)災害への備えについて積極的に学び、家族や地域と協力して防災活動に取り組む姿勢を持つようとしている。【中学部1段階】	地域の安全 ・避難経路の確認 ・災害時の避難場所や関係機関の役割 「避難訓練」	・きまりやルールの理由をわかりやすく伝え、公共施設や公共機関の利用ができるようにする。 ・自然災害が発生した際の避難場所や関係機関の役割を理解する。
3学期	18	(知及技)㉔販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることを理解できる。【中学部1段階エ(イ)㉔】 (思判表力)消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することができる。【中学部1段階エ(イ)㉔】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)㉔販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることを理解しようとしている。【中学部1段階エ(イ)㉔】 (思・判・表)消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現しようとしている。【中学部1段階エ(イ)㉔】 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつようとしている。【中学部1段階】	産業と生活 ・スーパーマーケットの働き 「学習発表会」 「生産と消費」	・販売の仕事内容を理解する。お店の行っている販売の工夫などを調べる。
		(知及技)文化や風習の特徴や違いを知ることができる。【中学部1段階カ(ア)㉔】 (思判表力)そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。【中学部1段階カ(ア)㉔】 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部1段階】	(知・技)文化や風習の特徴や違いを知ろうとしている。【中学部1段階カ(ア)㉔】 (思・判・表)そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現しようとしている。【中学部1段階カ(ア)㉔】 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつようとしている。【中学部1段階】	外国の様子 ・世界の国々 ・日本の行事 ・外国の文化	・世界の文化や風習について知り、理解する。 ・日本の文化や外国の文化の違いをまとめる。

留意点 引継ぎ 等		※生徒の実態に応じて、学習内容の精選を行う。 ※i P a dなどの、情報機器、新聞資料などの活用を取り入れる。 ※年中行事や外国の行事、年間行事に合わせて授業を行う。
-----------------	--	--

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3学年18名		社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに調べまとめる技能を身に付けるようにする。【中学部2段階】 (思判表力)社会的現象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う。【中学部2段階】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。【中学部2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けることができる。【中学部2段階ア(ア)⑦】 (思判表力)周囲の状況を判断し、集団生活の中での自分の役割と責任について考え、表現することができる。【中学部2段階ア(ア)⑧】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部2段階】	(知・技) 授業や学校、社会生活におけるきまりを確認し、生活の中でそれを守ることの大切さを知ろうとしている。【中学部2段階ア(ア)⑦】 (思・判・表)社会生活としまりの関連を考え、各場面における自分の役割と責任について表現しようとしている。【中学部2段階ア(ア)⑧】 (主学)社会参加するために必要な集団生活に関わる学習活動を通して、身近な社会に自ら関わろうとしている。【中学部2段階】	社会生活としまり ・オリエンテーション ・投票について	・自己紹介 ・授業のすめかた、決まり ・選挙とは何か、投票の仕方
		(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。【中学部2段階オ(イ)⑦】 (思判表力)歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。【中学部2段階オ(イ)⑧】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部2段階】	(知・技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ろうとしている。【中学部2段階オ(イ)⑦】 (思・判・表)歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現しようとしている。【中学部2段階オ(イ)⑧】 (主学)沖縄戦に関して、新聞記事や絵本、映像を見ることで平和を尊ぶ心を育み、平和の大切さを自覚しようとしている。【中学部2段階】	我が国の地理や歴史 ・糸満市について ・市町村について 「平和祈念資料館」	・沖縄県を3地区に分けて学習する。(北部、中部、南部) ・戦争に関する資料を基に、戦争と平和について考える。
2 学期	30	(知及技) 社会に関する基本的な制度について理解できる。【中学部2段階イ(イ)⑦】 (思判表力)社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現することができる。【中学部2段階イ(イ)⑧】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部2段階】	(知・技) 社会に関する基本的な制度について理解しようとしている。【中学部2段階イ(イ)⑦】 (思・判・表)社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現しようとしている。【中学部2段階イ(イ)⑧】 (主学)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつようとしている。【中学部2段階】	公共施設と制度 ・市役所について ・図書館について ・博物館について	・市役所や図書館、博物館の働きと自分たちの生活との関係について調べる。
		(知及技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解することができる。【中学部2段階ウ(ア)⑦】 (思判表力)過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現することができる。【中学部2段階ウ(ア)⑧】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部2段階】	(知・技) 災害の種類や特徴、発生メカニズムについて理解し、適切な対応策を説明しようとしている。【中学部2段階ウ(ア)⑦】 (思・判・表)災害時の対応方法について問題を見だし、解決策を考えて表現しようとしている。【中学部2段階ウ(ア)⑧】 (主学)災害への備えについて積極的に学び、家族や地域と協力して防災活動に取り組む姿勢を持つようとしている。【中学部2段階】	地域の安全 ・避難経路の確認 ・災害調べ ・防災マップについて ・災害時の避難場所や関係機関の役割	・災害時にとるべき行動を理解する。
3 学期	18	(知及技) 地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解できる。【中学部2段階工(ア)⑦】 (思判表力)人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。【中学部2段階工(ア)⑧】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部2段階】	(知・技) 地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解しようとしている。【中学部2段階工(ア)⑦】 (思・判・表)人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現しようとしている。【中学部2段階工(ア)⑧】 (主学)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつようとしている。【中学部2段階】	産業と生活 ・学習発表会 ・生産、消費、販売について	・販売の仕事内容を理解する。お店の行っている販売の工夫などを調べる。
		(知及技) 文化や風習の特徴や違いを理解することができる。【中学部2段階力(ア)⑦】 (思判表力)人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現することができる。【中学部2段階力(ア)⑧】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部2段階】	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを理解しようとしている。【中学部2段階力(ア)⑦】 (思・判・表)人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現しようとしている。【中学部2段階力(ア)⑧】 (主学)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつようとしている。【中学部2段階】	外国の様子 ・世界の国々 ・日本の行事 ・外国の文化	・地図や動画などで、国の位置などを確認する。文化や風習などを、インターネットで調べる。
		(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解できる。【中学部2段階ア(イ)⑦】 (思判表力)社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現できる。【中学部2段階ア(イ)⑧】 (学・人)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつことができる。【中学部2段階】	(知・技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解しようとしている。【中学部2段階ア(イ)⑦】 (思・判・表)社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現しようとしている。【中学部2段階ア(イ)⑧】 (主学)社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚をもつようとしている。【中学部2段階】	社会生活としまり ・高校入試に向けて	・高校入試に向け、面接での適切な言葉づかいや態度を理解する。
留意点 引継ぎ等		※生徒の実態に応じて、学習内容の精選を行う。 ※iPadなどの、情報機器、新聞資料などの活用を取り入れる。 ※年中行事や外国の行事、年間行事に合わせて授業を行う。			

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	1学年 13名		数学☆☆☆☆(文部科学省)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中学部段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中学部段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中学部段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	17	(知及技)3位数の表し方について理解することができる。【中1段階(2)内容Aア(ア)④】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や教え方を考え日常生活で生かすことができる。【中1段階(2)内容Aア(イ)⑦】 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする。【中1段階(1)目標Aウ】	(知・技)10ずつまとめて数え、さらに10をまとまりとして100を数えることができる。 (思・判・表)数を十や百の単位として捉え、数の大きさについて数直線を用いて比べようとしている。 (主学)数の大小について、一番左の位から順に、同じ位にある数字に着目し、比べようとしている。	A数と計算 ア 整数の表し方 ・1000までの数の分割・分類 ・3位数の表し方 ・数の相対的な大きさ ・3位数の数系列、順序、大小 ・ほかの数との関係付け ・数の大きさの比べ方や教え方	・2個、5個、10個ずつ数えてみよう ・10のまとまりを作りましょう ・全部で何個あるでしょう ・まとまりの数を数えましょう ・一から千までの「位」 ・10のいくつ分 ・3位数の数比べ ・数直線を使って、数の大小を調べよう
	20	(知及技)三角形や四角形、正方形、長方形及び直角三角形について知ることができる。【中1段階(2)内容Bア(ア)④⑤】 (思判表力)図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えるとき、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。【中1段階(2)内容Bア(イ)⑦】 (学・人)図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする。【中1段階(1)目標Bウ】	(知・技)直角、頂点、辺及び面という用語を理解して用いようとしている。三角形や四角形、正方形、長方形及び直角三角形について知ろうとしている。 (思・判・表)身の回りから、かどの形が直角であるものを見つけたり、紙を折って直角を作ろうとしている。 (主学)展開図から直方体や立方体を組み立てようとしている。	B図形 ア 図形 ・図形としての捉え ・直線 ・三角形と四角形 ・正方形、長方形及び直角三角形 ・箱の形の構成や分解 ・図形の性質の表現 ・図形や簡単な図業の作成 ・図形による平面敷き詰め	・形を調べて三角形と四角形に分類しよう ・三角形と四角形の辺の数と頂点の数を比べよう ・直角を探そう ・長方形や正方形の辺を調べよう ・長方形や正方形から直角三角形を作ろう ・箱を分類しよう ・箱の面の形や数を調べよう ・箱を開こう、箱を組み立てよう ・形を並べて模様を作ろう ・長方形、正方形、直角三角形を書こう
2学期	28	(知及技)2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができる。また、それらの筆算の仕方について知ることができる。【中1段階(2)内容Aイ(ア)④】 (思判表力)数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見だすとともに、日常生活で生かすことができる。【中1段階(2)内容Aイ(イ)⑦】 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする。【中1段階(1)目標Aウ】	(知・技)2位数の加法及び減法について理解しようとし、その計算ができるようになろうとしている。また、それらの筆算の仕方について知ろうとしている。 (思・判・表)2位数の加法及び減法の計算の仕方や筆算を用いた処理の方法を用いようとしている。 (主学)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理しようとする。【中1段階(1)目標Aウ】	A数と計算 イ 整数の加法及び減法 ・2位数の加法及び減法、筆算の仕方 ・3位数の加法及び減法の計算	・2位数の加法 ・2位数の減法 ・3位数の加法 ・3位数の減法
	15	(知及技)長さの単位やかさの単位について知り、測定の意味を理解することができる。【中1段階(2)内容Cア(ア)④⑤】 (思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。【中1段階(2)内容Cア(イ)⑦】 (学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする。【中1段階(1)目標Cウ】	(知・技)長さの単位やかさの単位について知ろうとし、測定の意味を理解しようとしている。 (思判表)測定する対象の大きさや形状に応じた単位や計器を適切に選んで測定しようとしている。 (主学)いろいろな具体物の長さを進んで選び、測定しようとしている。	C 測定 ア 量の単位と測定 ・目盛の原点を対象の端に当てて測定すること ・長さの単位、測定の意味 ・かさの単位、測定の意味 ・長さ、かさの見当付け、単位、測定 ・量の大きさの表現、比較	・同じ長さを作ろう ・長さを調べよう ・単位を使って長さを表そう ・ものさしと定規を使ってみよう ・かさを比べよう ・単位を使ってかさを表そう ・計量カップを使ってみよう

3 学 期	15	(知及技)計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算ができる。【中1段階(2)内容Aイ(ア)㊦】 (思判表力)数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。【中1段階(2)内容Aイ(イ)㊧】 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことによさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする事ができる。【中1段階(1)目標Aウ】	(知・技)計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算ができるようになる。【中1段階(2)内容Aイ(ア)㊦】 (思・判・表)買い物をする際に、計算機を利用して金額を出そうとしている。 (主学)加法の交換法則と、加法と減法の相互関係について気づき、知ろうとしている。	A数と計算 イ 整数の加法及び減法 ・加法及び減法に関して成り立つ性質 ・計算機の使用	・計算のきまり ・計算機
	10	(知及技)身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすることができる。【中1段階(2)内容Dア(ア)㊨】 (思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすることができる。【中1段階(2)内容Dア(イ)㊩】 (学・人)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことによさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする事ができる。【中1段階(1)目標Dウ】	(知・技)身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりしようとしている。 (思判表)身の回りの事象に関するデータを簡単な表やグラフを用いながら読み取ろうとしたり、考察しようとしている。 (主学)表やグラフからデータ全体の特徴を発見し、必要性や良さを知ろうとしている。	Dデータの活用 ア データの表記、読み取り ・表やグラフでの表記	・結果を○×で表そう ・表やグラフに表そう ・表やグラフを読み取ろう
留意点 引継ぎ等	※カレンダーワーク(暦)は、年間を通して指導する。 ※行事等の買い物学習に合わせて、お金(硬貨の種類等)の指導を行う。 ※生徒の実態に応じ、下学部段階の指導内容を取り入れる。指導内容は個別の指導計画に記す。				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
105	2学年 8名		数学☆☆☆☆/数学☆☆☆☆ (文部科学省)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中学部段階)</p> <p>(思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中学部段階)</p> <p>(学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中学部段階)</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	<p>(知及技)乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算ができる。【中1段階(2)内容Aウ(ア)㊸】</p> <p>(思判表力)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かすことができる。【中1段階(2)内容Aウ(イ)㊹】</p> <p>(学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとするができる。【中1段階(1)目標Aウ】</p>	<p>(知・技)乗法九九について知ろうとし、1位数と1位数との乗法の計算を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)日常生活で、乗法を利用した計算を見つけ、その方法を活用しようとしている。</p> <p>(主学)日常生活で、ものの全体の個数を数える際、「一つ分の数」の「いくつ分」を捉えようとしている。</p>	<p>A数と計算</p> <p>ウ 整数の乗法</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法を用いる場合や意味 乗法の式 乗法の成り立つ性質 乗法九九、乗法の計算 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法が用いられる場面 乗法の意味 乗法の式 乗法の立式や答えの求め方 乗法の交換法則 5、2、3、4の段の九九 乗数が1増える時の積の増え方 6、7、8、9の段の九九 乗法の分配法則 倍の意味 九九を活用したものの数の求め方
	17	<p>(知及技)二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図することができる。【中2段階(2)内容Bア(ア)㊸】</p> <p>角の大きさを測定することができる。【中2段階(2)内容Bウ(ア)㊹】</p> <p>(思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。【中2段階(2)内容Bア(イ)㊹】 【中2段階(2)内容Bウ(イ)㊹】</p> <p>(学・人)図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとするができる。【中2段階(1)目標Bウ】</p>	<p>(知・技)二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図しようとしている。</p> <p>角の大きさを測定しようとしている。</p> <p>(思・判・表)正方形や長方形では、たてよこの線が「垂直」になっていることや向かい合った辺は「平行」になっているなど特徴を見つけようとしている。</p> <p>(主学)等しい辺を組み合わせて別の図形(長方形やひし形)ができることや、規則的に並べることができることに気づこうとしている。</p>	<p>B図形</p> <p>ア 図形</p> <ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形、正三角形などの関係 定規などを用いた作図 角 直線の平行や垂直の関係 <p>ウ 角の大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 角の大きさの捉え 角の大きさの単位、測定の意味 角の大きさの測定 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形を仲間分けしよう 三角形の作図 二等辺三角形と正三角形の辺と角 模様を作ろう 直線の交わり方を調べよう 角の大きさを比べよう 同じ大きさの角を作ってみよう 分度器を使って角度を測ろう
2 学期	15	<p>(知及技)10倍、100倍、1/10の大きさの数及びその表し方について知ることができる。【中2段階(2)内容Aア(ア)㊸】</p> <p>(思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。【中2段階(2)内容Aア(イ)㊹】</p> <p>(学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとすることができる。【中2段階(1)目標Aウ】</p>	<p>(知・技)10倍、100倍、1/10の大きさの数及びその表し方について知ろうとしている。</p> <p>(思・判・表)数のまとまりに着目しようとし、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えようとし、日常生活で生かそうとしている。</p> <p>(主学)十・百・千を単位とした数の相対的な大きさの見方を活用し、数を捉えたり、数の大きさを比較しようとしている。</p>	<p>A数と計算</p> <p>ア 整数の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序 10倍、100倍、1/10の大きさの数及びその表し方 数の相対的な大きさ 	<ul style="list-style-type: none"> 1000の表し方 1000より大きい数の表し方 数の大きさの比べ方 10倍、100倍の数や10に分けた数
	13	<p>(知及技)重さの単位について知り、測定の意味を理解することができる。【中1段階(2)内容Cア(ア)㊸】</p> <p>(思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。【中1段階(2)内容Cア(イ)㊹】</p> <p>(学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとすることができる。【中1段階(1)目標Cウ】</p>	<p>(知・技)重さの単位について知ろうとし、測定の意味を理解しようとしている。</p> <p>(思判表)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現しようとし、比べようとしたりしている。</p> <p>(主学)物の重さを量り、「重い」「軽い」「〇〇と同じくらい重さ」など重さの感覚を知ろうとしている。</p>	<p>C 測定</p> <p>ア 量の単位と測定</p> <ul style="list-style-type: none"> 重さの単位、測定の意味 重さの見当付け、単位、測定 量の大きさの表現、比較 	<ul style="list-style-type: none"> 一番重いのはどれでしょう 2つの物の重さを比べましょう 単位(g)を使って重さを表しましょう はかりを使って重さを量りましょう 単位(kg)を使って重さを表しましょう はかり方をくふうして重さを表しましょう

	15	<p>(知及技)日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。【中1段階(2)内容Cイ(ア)㉔】</p> <p>(思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。【中1段階(2)内容Cイ(イ)㉕】</p> <p>(学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理をするとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとするができる。【中1段階(1)目標Cウ】</p>	<p>(知・技)日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。</p> <p>(思・判・表)午前や午後、1時間は60分、1日は24時間など、時間のきまりを知ろうとしている。</p> <p>(主学)「時刻」と「時間」の意味の違いを知ろうとしている。</p>	<p>C 測定</p> <p>イ 時刻や時間</p> <p>・時間の単位</p> <p>・時刻や時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何時何分でしょう ・1分単位で時刻を読もう ・校外学習の日の時刻や時間を調べましょう ・青木さんの夏休みの一日について調べましょう
3 学 期	15	<p>(知及技)3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算することができる。また、それらの筆算についての仕方を知ることができる。【中2段階(2)内容Aイ(ア)㉔】</p> <p>(思判表力)数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見出すとともに、日常生活で生かすことができる。【中2段階(2)内容Aイ(イ)㉕】</p> <p>(学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理をするとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとするができる。【中2段階(1)目標Aウ】</p>	<p>(知・技)3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解しようとし、計算に取り組もうとしている。また、それらの筆算についての仕方を知ろうとしている。</p> <p>(思・判・表)3位数や4位数の筆算のルールや繰り上げ繰り下げの方法を知り、計算に取り組もうとしている。</p> <p>(主学)加法、減法のどちらで計算するのかを考え、計算機で計算をして結果を確かめようとしている。</p>	<p>A数と計算</p> <p>イ 整数の加法及び減法</p> <p>・3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方、筆算の仕方</p> <p>・加法及び減法に関して成り立つ性質</p> <p>・計算機の使用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3けたのたし算 ・3けたのひき算 ・何千のたし算とひき算 ・4けたの計算 ・たし算のきまり ・ひき算のきまり ・計算機を使った計算
	10	<p>(知及技)データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読み取りすることができる。【中2段階(2)内容Dア(ア)㉔】</p> <p>(思判表力)目的に応じてデータを集めて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見付けて、適切なグラフを用いて表現したり、考察したりすることができる。【中2段階(2)内容Dア(イ)㉕】</p> <p>(学・人)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理をするとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用することができる。【中2段階(1)目標Dウ】</p>	<p>(知・技)データを日時や場所などの観点から分類及び整理しようとし、表や棒グラフで表そうしたり、読み取りしようとしている。</p> <p>(思・判・表)目的に合わせてデータを集め、表や棒グラフにすることで、どのようなことがわかるかを考え、伝えようとしている。</p> <p>(主学)棒グラフから最大値、最小値、差を捉えようとしている。</p>	<p>Dデータの活用</p> <p>ア データの表記、読み取り</p> <p>・データ整理の読み取り、考察、結論</p> <p>・グラフを用いた表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを表に整理しよう ・棒グラフの読み方 ・棒グラフの書き方 ・調べたことを表や棒グラフに表そう
留意点 引継ぎ等		<p>※行事等の買ひ物学習に合わせて、お金(硬貨の種類等)の指導を行う。</p> <p>※生徒の実態に応じ、下学部段階の指導内容を取り入れる。指導内容は個別の指導計画に記す。</p>			

単位数 / 配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
3 / 105	3学年 18名		数学☆☆☆☆☆ (文部科学省)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中学部段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中学部段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中学部段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技)1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いることができる。【中2段階(2)内容Aウ(ア)㉔】 除数と商が共に1位数である除法の計算ができる。【中2段階(2)内容Aエ(ア)㉕】 (思判表力)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かすことができる。【中2段階(2)内容Aウ(イ)㉔】【中2段階(2)内容Aエ(イ)㉕】 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようすることができる。【中2段階(1)目標Aウ】	(知・技)1位数と1位数の乗法や除数の計算に取り組もうとしている。 (思・判・表)かけ算九九を利用して、 $\times 10$ 、 $\times 11$ を求めようとしている。 (主学)まと当てゲームを通して、0点の箇所は何度入っても0点であることや1回も入っていない箇所の得点が0点であることから0のかけ算の結果を求めようとしている。	A数と計算 ウ 整数の乗法 ・1位数と1位数の乗法の計算 ・交換法則や分配法則など乗法の成り立つ性質 エ 整数の除法 ・除法を用いる場合や意味 ・除法の式 ・除法と乗法との関係 ・除法の計算 ・余りの求め方	<ul style="list-style-type: none"> 必要な数は全部でいくつ かけ算のきまり いろいろな式 0のかけ算 一人分はいくつ 何人に分けられる □を使った考え方 余りのある計算
	12	(知及技)円について、中心、半径及び直径を知ることができる。また、円に関連して、球についても直径などを知ることができる。【中2段階(2)内容Bア(ア)㉔】 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。【中2段階(2)内容Bア(イ)㉔】 (学・人)図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようすることができる。【中2段階(1)目標Bウ】	(知・技)円や球についての用語を知ろうとしている。 (思・判・表)同じ正方形の何個分かを考えて、面積を求めたり比べたりしようとしている。 (主学)コンパスを使って円を描こうとしたり、こまを作るために中心を見つけようとしている。	B図形 ア 図形 ・円の中心、半径及び直径、球の直径など ・既習の図形の捉え直し イ 面積 ・面積の単位、測定の意味 ・正方形及び長方形の面積	<ul style="list-style-type: none"> コンパスを使って円をかこう こまを作ろう(円の中心の見つけ方) 半径と直径 球の形を探そう 球の切り口 広さを比べましよう 広さを数で表そう 面積の単位 面積の計算
2 学期	15	(知及技)1/10の位までの小数の仕組みや表し方について理解することができる。【中2段階(2)内容Aオ(ア)㉔】 1/2、1/4など簡単な分数について知ること。【中2段階(2)内容Aカ(ア)㉔】 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすことができる。【中2段階(2)内容Aオ(イ)㉔】 【中2段階(2)内容Aカ(イ)㉔】 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようすることができる。【中2段階(1)目標Aウ】	(知・技)1を10に分けた数が0.1と表せることをわかってほしい。1を2つに分けた数を2分の1ということがわかってほしい。 (思・判・表)小数や分数を、図で表現しようとしている。 (主学)生活の中で小数や分数が使われている場面を探そうとしている。	A数と計算 オ 小数の表し方 ・小数を用いる意味 ・1/10の位までの小数の仕組みや表し方 カ 分数の表し方 ・1/2、1/4など簡単な分数	<ul style="list-style-type: none"> 1より小さい数の読み方 靴の大きさ調べ 教科書の縦と横の長さ調べ 教室の温度計を読もう 同じ量や大きさに分けてみよう バケツの水のかさを分数で表そう
	18	(知及技)日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。【中1段階(2)内容Cイ(ア)㉔】 (思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。【中1段階(2)内容Cイ(イ)㉔】 (学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようすることができる。【中1段階(1)目標Cウ】	(知・技)日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。 (思・判・表)数直線を使って、○時間前や○時間後を求めようとしている。 (主学)最も合う時間の単位を選ぼうとしている。	C 測定 イ 時刻や時間 ・時間の単位 ・時刻や時間	<ul style="list-style-type: none"> 自分の1日について話しましょう ○時間○分後の時刻を求めましょう ○時間○分前の時刻を求めましょう 1分よりも短い時間について調べましょう 最も合う時間の単位を選びましょう

	10	(知及技)変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができる。【中2段階(2)内容Cア(ア)㊦】 (思判表力)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察することができる。【中2段階(2)内容Cア(イ)㊦】 (学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理をするとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとするすることができる。【中2段階(1)目標Cウ】	(知・技)変化の様子を読み取っている。 (思・判・表)物の個数が2倍になるとき値段がどうなるかを考えようとしている。 (主学)縦横の棒の本数を変えて長方形をいくつか作り、表にまとめようとしている。	C 変化と関係 ア 伴って変わる二つの数量 ウ 二つの数量の関係 ・割合を用いる場合	・変わり方を調べよう ・変わり方を表にまとめよう ・変わり方を比べよう
	15	(知及技)□などに数を当てはめて調べることができる。【中2段階(2)内容Aキ(ア)㊦】 (思判表力)数量の関係に着目し、事柄や関係を式や図を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりすることができる。【中2段階(2)内容Aキ(イ)㊦】 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理をするとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとするすることができる。【中2段階(1)目標Aウ】	(知・技)□などに数を当てはめて調べようとしている。 (思・判・表)たし算とひき算、かけ算とわり算の式を比べて、関りを見つけようとしている。 (主学)□を使った式を作ろうとしている。	A数と計算 キ 数量の関係を表す式 ・式と図の関連付け ・□などを用いた式 ・□などへの数の当てはめ	・□に当てはめてみよう ・□に当てはまる数字を見つけよう ・□を使った式を作ろう ・□を求める式を作ろう
3 学 期	10	(知及技)データを二つの観点から分類及び整理し、折れ線グラフで表したり、読み取ったりすることができる。【中2段階(2)内容Dア(ア)㊦】 (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察したりすることができる。【中2段階(2)内容Dア(イ)㊦】 (学・人)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用することができる。【中2段階(1)目標Dウ】	(知・技)折れ線グラフを、読もうとしている。 (思・判・表)折れ線の傾きで変化を読み取ろうとしている。 (主学)表を折れ線グラフに表そうとしている。	Dデータの活用 ア データの表記、読取り ・データ整理の読取り、考察、結論 ・グラフを用いた表現	・変わり方をわかりやすく表わそう ・気温が一番高いのは何時ですか ・折れ線グラフを読み方を知ろう ・いろいろな折れ線グラフを読み取ろう ・折れ線グラフを書いてみよう ・表を折れ線グラフに表そう
留意点 引継ぎ等	※行事等の買い物学習に合わせて、お金(硬貨の種類等)の指導を行う。 ※生徒の実態に応じ、下学部段階の指導内容を取り入れる。指導内容は個別の指導計画に記す。				

単位数 / 相当時数	生徒	担当者	教科書 / 副教材
2 / 70	1 学年 13 名		理科 ☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問を持つ力と予想や仮説を立てる力を養う。(中段階) (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を育てる。(中段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけようとする事ができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力) ・身の回りの生物の様子から、差異点や共通点に気づいたことや疑問に思ったことを表現しようとする事ができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人) ・身の回りの生物について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度をもととすることができる。(中1段階Aウ(ウ))	(知・技) 虫眼鏡やルーペ、顕微鏡を使い、植物や生き物の観察しようとしている。 (思・判・表) 生物は色、形、大きさなど、姿に違いがあることや、昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることを観察や実験を通して気づき、ワークシートに記録して発表しようとしている。 (主学) 身の回りの生き物について進んで調べたり関わろうとしている。	【身の回りの生物】 ・身の回りの生物の姿の違い ・昆虫や植物の育ち方	・ルーペや虫眼鏡を使って、身の回りの生物の観察を行い、生物の姿の違いを知る。 ・顕微鏡を使って池や沼の小さな生物の観察をする。 ・スケッチをしたり特徴をワークシートにまとめる。 ・校内の動物や植物を探したり、採取した物を育てる活動を行う。 ・iPadのアプリや、インターネットを使って昆虫や植物の育ち方を調べ、ワークシートにまとめる。
2 学期	25	(知及技) ・太陽と地面の様子に気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を知ろうとすることができる。(中1段階Bア(ア)) (思判表力) ・光や音の性質から、主に差異点や共通点に気づき、疑問を持ち表現しようとする事ができる。(中1段階Cウ(イ)) (学・人) ・光や音の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を持つようとする事ができる。(中1段階Cウ(ウ))	(知・技) ・温度計などを使い、太陽と地面の関係について知ろうとしている。 (思・判・表) ・実験、観察によって光と音にはどのようなちがいや共通点がみられるかを知ろうとしている。 (主学) ・実験によって光の進み方や音の伝わり方について理解しようとしている。	【太陽と地面の様子】 ・太陽の位置と地面の様子 ・地面の暖かさの違い 【光や音の性質】 ・光の当て方の明るさや暖かさ ・音の伝わりやすさ	・日向と日陰の様子に着目してそれらを比較しながら太陽の位置と地面の様子を調べる活動を通して、気づいたことをワークシートにまとめたり、発表したりする。 ・鏡を使って光を反射させたり、直進する様子を観察する。 ・楽器や音叉に触れ、音を出すときの物が振動していることを知る。
3 学期	20	(知及技) ・動物の活動や植物の成長について理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能について知ろうとすることができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力) ・動物の活動や植物の成長について、疑問を持ったことについて既習の内容や生活経験を基に予想しようとする事ができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人) ・動物の活動や植物の成長について、見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとすることができる。(中2段階Aウ(ウ))	(知・技) 植物を育成して、成長の様子を観察しようとしている。 (思・判・表) 色、形、大きさなど、姿が変化の様子に順序があることを観察や実験を通して気づき、ワークシートに記録して発表しようとしている。 (主学)動物の活動や植物の成長について、見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。	【季節と生物】 ・身近な動物の活動の様子と季節の変化	・校内の動物や植物を探したり、採取した物を育てる活動を行う。 ・身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べ、ワークシートにまとめ、発表する。 ・1学期に観察した生き物や植物は今の季節見ることができているのか、またどのような状態なのか予想し、結果を確かめる。
留意点 引継ぎ等					

単位数 / 相当時数	生徒	担当者	教科書 / 副教材
2 / 70	2学年8名		理科 ☆☆☆☆/☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中段階) (思判表力)観察、実験などを行い、疑問を持つ力と予想や仮説を立てる力を養う。(中段階) (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を育てる。(中段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、差異点や共通点に気づいたことや疑問に思ったことを発表することができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人)身の回りの生物について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養うことができる。(中1段階Aウ)	(知・技)虫眼鏡やルーペ、顕微鏡を使い、植物や生き物の観察しようとしている。 (思・判・表)生物は色、形、大きさなど、姿に違いがあることや、昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることを観察や実験を通して気づき、ワークシートに記録して発表しようとしている。 (主学)身の回りの生き物について進んで調べたり関わろうとしている。	【身の回りの生物】 ・身の回りの生物の違い ・昆虫や植物の育ち方	・ルーペや虫眼鏡を使って、身の回りの生物の観察を行い、生物の姿の違いを知る。 ・顕微鏡を使って池や沼の小さな生物の観察をする。 ・スケッチをしたり特徴をワークシートにまとめる。 ・校内の動物や植物を探したり、採取した物を育てる活動を行う。 ・iPadのアプリや、インターネットを使って昆虫や植物の育ち方を調べ、ワークシートにまとめる。
2 学期	13	(知及技)人の体のつくりと運動について理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力)人の体のつくりと運動について、疑問を持ったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)人の体のつくりと運動について、見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとすることができる。(中2段階Aウ)	(知及技)調べ学習を通して、人の体には骨と筋肉があることや、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の動きによることを、理解しようとしている。 (思・判・表)人や他の動物の骨や筋肉のつくりと動きについて調べ、予想を立てたりわかったことを発表しようとしている。 (主学)人や他の動物の骨や筋肉のつくりと動きについて進んで調べようとしている。	「人の体のつくりと運動」 ・人の骨と筋肉 ・骨と筋肉の動き	・人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて調べ、ワークシートにまとめたり発表する。 ・人や他の動物の運動器官や動物の骨や筋肉の動きについて考え、ワークシートにまとめたり、発表したりする。
	12	(知及技)物の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cア(ア)) (思判表力)物の性質から主に差異点や共通点に気づき、疑問を持つことができる。(中1段階Cイ(イ)) (学・人)物の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。(中1段階Cウ)	(知及技)てんびんや上皿はかりを用いて、身の回りにある物の重さを計ろうとしている。 (思・判・表)身の回りにある物の重さや体積の違いなどに気づき、ワークシートにまとめたり発表しようとしている。 (主学)身の回りの物・容器の重さや体積を進んで調べようとしている。	「物と重さ」 ・形と重さ ・体積と重さ	・物の形や体積に着目して、重さを比較しながら物の性質を調べる活動を行い、気づいたことをワークシートにまとめたり、発表したりする。 (身の回りの物を使い、物の形を変えた時と体積を同じにしたときの重さの違いを調べる。)
3 学期	20	(知及技)動物の活動や植物の成長について理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力)動物の活動や植物の成長について、疑問を持ったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)動物の活動や植物の成長について、見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとすることができる。(中2段階Aウ)	(知・技)調べ学習を通して、動物の活動や植物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを、理解しようとしている。 (思・判・表)身近な動物の活動や植物の成長の変化について調べ、予想を立てたりわかったことを発表したりしようとしている。 (主学)身近な動物の活動や植物の成長の変化について進んで調べようとしている。	【季節と生物】 ・身近な動物の活動の様子と季節の変化	・校内の動物や植物を探したり、採取した物を育てる活動を行う。 ・身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べ、ワークシートにまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等	・屋外での活動の場合は帽子の着用と水分補給をしておくかを確認する。 ・内容によって2段階の目標を含む。				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3学年 18名		理科 ☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中段階) (思判表力)観察、実験などを行い、疑問を持つ力と予想や仮説を立てる力を養う。(中段階) (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を育てる。(中段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わりについての理解をはかり、観察、実験に関する初歩的な技能を身に付けることができる。【中2段階Aア】 (思判表力) ・人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想しようとするができる。【中2段階Aイ】 (学・人) ・人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境の関わりについて見いだした疑問を進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとする態度をもとうとすることができる。	(知及技) 調べ学習を通して、人の体には骨と筋肉があることや、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを、理解しようとしている。 (思・判・表) 人や他の動物の骨や筋肉のつくりと働きについて調べ、予想を立てたりわかったことを発表しようとしている。 (主学) 人や他の動物の骨や筋肉のつくりと働きについて進んで調べようとしている。	人体のつくりと運動	・人体模型や人体パズルを使って人の体内の構造を知る。 ・筒状の教具で関節を覆い、関節の役割について予想し、結果を記録する。 ・人体や動物のスケッチをしたり特徴をワークシートにまとめる。 ・ICT機器や、インターネットを使って色々な動物の骨格について調べ、ワークシートにまとめる。
2 学期	25	(知及技) ・雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を深め、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。【中2段階Bア】 (思判表力) ・雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。【中2段階Bア】 (学・人) ・雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとすることができる。【中2段階Cウ】	(知・技) ・自然な水の流れや月の満ち欠け、星の位置について観察しようとしている。 (思・判・表) ・疑問をもったことについて、観察の結果を既習の内容や生活から予想しようとしている。 (主学) ・雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。	天気の様子 月と星	・午前と午後の空の様子の資料写真を見比べて、天気の変化について調べる問題を見いだす。 ・天気の変化と雲の様子の関係について、調べる方法を考え、雲の形や量、動きなどが変わると天気が変わることをまとめる。 ・資料を読んで、雨を降らせる雲を捉える。 ・数日間、気象情報を集めて天気の変化を調べる。 ・星の明るさや色には違いがあることをまとめる。 ・星や星座は時間がたつと、見える位置は変わるが、並び方は変わらないことをまとめる。 ・月や星の見え方について、学んだことをまとめる。 ・星座早見盤の使い方を知り、プラネタリウムを使って実際に星座を探す。
3 学期	10	(知及技) ・身近な植物や生き物について理解をし、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力) ・身近な植物や生き物について疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人) ・身近な植物や生き物について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。【中2段階Cウ】	(知・技) 虫眼鏡やルーペ、顕微鏡を使い、植物や生き物の観察しようとしている。 (思・判・表) 生物は色、形、大きさなど、姿に違いがあることや、昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることを観察や実験を通して気づき、ワークシートに記録して発表しようとしている。 (主学) 身の回りの生き物について進んで調べたり関わろうとしている。	季節と生物	・春と夏と冬と秋の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合い、植物や動物の様子の変わり方について問題を見いだす。 ・冬の植物や動物の様子を観察して、記録する。 ・寒い頃のサクラの枝先の様子や枯れたヘチマの様子との違いを基に、サクラとヘチマの冬越しの仕方について考え、まとめる。 ・植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想して、話し合う。 ・資料を読んで、冬の季節の特徴を捉える。

794	<p>10</p> <p>(知及技) ・水や空気の性質について理解をし、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。【中2段階Cア】 (思判表力) ・水や空気の性質について疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。【中2段階Cイ】 (学・人) ・水や空気の性質について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。【中2段階Cウ】</p>	<p>(知・技) ・水や空気の性質について理解をし、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 水や空気の性質について疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想しようとしている。 (主学) ・水や空気の性質について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。</p>	水や空気と温度	<p>・沸騰する前後の水の様子について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、熱したときの水の温度や様子の変化についての問題を見いだす。 ・熱したときの水の温度や様子の変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・ドライヤーで袋の中の空気をあたため、その様子を観察し記録する。 ・液体窒素で風船の中の空気を冷やし、その様子を観察し記録する。</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・屋外で活動する際は帽子の着用と水分補給ができていないか確認する。</p>			

単位数 / 配当時数	生徒	担当者	教科書 / 副教材
2/70	1 学年 13名		☆☆☆・☆☆☆本、手話ソング、他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする技能を身に付けることができる。【中1段階A(ウ)ア】 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けることができる。【中1段階A(ウ)ウ】 (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付き、身体表現をすることができる。【中1段階A(イ)ア】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。【中1段階A(イ)ア】 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に身体表現の学習に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) 範唱や歌詞を手がかりにして、正しい音程やリズムで歌う技能を身に付けている。 友達の歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) 曲の雰囲気や構造を感じ取り、それに合った身体の動きを工夫して表現している。 リズムや曲想に応じた身体表現を考え、意図をもって動きをつけている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、友達と協力して身体表現に取り組んでいる。 自分の考えをもって、意欲的に表現活動に参加している。	はじまりのうた おわりのうた なまえうた 校歌 おひさまのたね おちゃらか 明日という大空 おお牧場はみどり 手拍子リレー リトミック ミュージックエア ダンス にじ 茶つみ 平和に関する曲 ひょうししの違いを比べよう	範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫する 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりを考える 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り体を動かす 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて考える 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりを考える 打楽器や鍵盤楽器を演奏する 曲や演奏の楽しさを見だして聴く音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する
2 学期	25	(知及技) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を身に付けることができる。【中1段階A(イ)ア】 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付けることができる。【中1段階A(イ)ウ)イ】 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。【中1段階A(イ)ウ)イ】 (思判表力) 音遊びを通して、どのように音楽を作るのかについて発想を得ることができる。【中1段階A(ウ)ア】 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。【中1段階A(ウ)ア)イ】 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) リズム・パターンや旋律のつながりに注目し、その面白さに気付いている。 (知・技) 音色や響きに注意を払いながら、アンサンブルの中で自分の役割を意識して演奏しようとしている。 (知・技) 友達の楽器の音や伴奏を聴きながら、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音楽のつくり方について自分なりの発想をもっている。 音を組み合わせる際に、自分の思いや意図をもって工夫している。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、友達と協力して創作や鑑賞の学習に取り組んでいる。 自分の考えをもって、意欲的に音楽づくりや鑑賞活動に参加している。	もみじ 音びや休ふのきまり いろいろな音を作ろう 音楽づくり 音楽用語調べ 和楽器 村まつり 日本各地の民よう とおどり マンボNo.5 セブンスステップス 合奏 蛍の光・別れの歌	演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付く 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて考える 友達と動きを合わせて表現する 色々な音の響きの特徴を知り、音を音楽へと構成する 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる 曲や演奏の良さなどを見だして聴く リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かす 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現する 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を演奏する 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する
3 学期	20	(知及技) 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付けることができる。【中1段階A(ウ)イ】 (思判表力) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。【中1段階A(ウ)イ】 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) 音色や響きに気を付けながら、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 曲想と歌詞が表す情景やイメージの関係に気付き、それをもとに音楽を感じ取っている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、友達と協力して主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。	指揮 三線 合奏 校歌 ダンス ラジオ体操 和楽器の音色 お正月にちなんだ 曲 声の出し方 卒業式の歌 学習のまとめ	発声の仕方につけて歌う 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫して歌唱表現をする 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌う ダンス 音色や響きに気を付けて、打楽器や鍵盤楽器を演奏する 曲や演奏の良さなどをみだして聴く 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現する 友達と動きを合わせて表現する
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	2学年 8名		☆☆☆・☆☆☆☆本、手話ソング、他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を身に付けることができる。【中1段階Aイ(ウ)ア】 (思判表力) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。【中1段階Aア(イ)イ】 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) 簡単な楽譜を見て、リズムや速度を意識しながら演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 曲想と歌詞が表す情景やイメージの関係に気付き、それをもとに音楽を感じ取っている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	校歌 友達はいいもんだ 春の小川 茶つみ 夏の思い出 手拍子リレー セブンスステップ タタロチカ いろいろな音を作ろう 声の出し方 三線「赤田首里殿内」 はじまりのうた おわりのうた 季節の曲 平和に関する曲	順番を理解しリズムを模倣したり動作を模倣する 曲名や歌詞に使われている言葉、内容を確認し、風景などをイメージする テンポに合わせて踊ったり、速度の違いを楽しんで身体表現を行う 生活の周辺にある音に注目し、工夫して音を作る 平和に関する楽曲を鑑賞し、ワークシートにまとめる
2学期	25	(知及技) リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴が生み出すおもしろさに気付くことができる。【中1段階Aウ(イ)イ】 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし聴くことができる。【中1段階Bア(ア)】 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) リズム・パターンや旋律のつながりに注目し、その面白さに気付いている。 (思・判・表) 鑑賞の知識を生かしながら、曲や演奏のよさを見い出して聴いている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、友達と協力して主体的に歌唱の学習に取り組んでいる。	ラバースコンチェルト 少年時代 校歌の指揮 運動会の曲 もみじ おお牧場はみどり バレエ「眠れる森の美女」より サウンドオブミュージック オペラ「魔笛」より 音符や休符のきまり お話の音楽を作ろう 世界の音楽・楽器・曲 島人ぬ宝 マンボNo.5	さまざまな速度やリズムで指揮に挑戦する 写真や動画で季節のイメージを持ち、歌唱に取り組む ミュージカルのおもしろさを味わう 話し合いながら場面にあった音楽を作る さまざまな楽曲を動画で鑑賞する 世界の楽器や踊り、表現について動画を鑑賞したり実際の楽器に触れる 声の出し方を意識し、仲間と一緒に歌う マンボの特徴を感じ取り雰囲気を楽しむ
3学期	20	(知及技) 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付けることができる。【中1段階Aイ(ウ)イ】 (思判表力) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。【中1段階Aア(ウ)イ】 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) 音色や響きに気を付けながら、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 曲想と歌詞が表す情景やイメージの関係に気付き、それをもとに音楽を感じ取っている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、友達と協力して主体的に器楽の学習に取り組んでいる。	呼び込み君 蛍の光・別れのワルツ 合奏 六段の調べ かかやけばやし 校歌 カルメン前奏曲 卒業式の歌 色々な形態の音楽を聴こう 学習のまとめ	手話ソングで歌詞の一部を手話で表現する 曲中の変化に気付き感じ取ったことを共有する さまざまな音色を聴き合いながら合奏を行う 卒業式の歌を声や体で表現する
留意点 引継ぎ等					

単位数 / 配当時数	生徒	担当者	教科書 / 副教材
2/70	3学年 18名		☆☆☆☆本 他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身につけるようにする。(中学部 2 段階) (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。(中学部 2 段階) (学・人) 主体的に音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようにする態度を養う。(中学部 2 段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりを理解することができる。【中2段階A(イ)㉔】 (知及技) 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付けることができる。【中2段階A(ウ)㉔】 (思判表力) 音楽作りの知識や技能を得たり生かしたりしながら即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることができる。【中2段階A(ア)㉔】 (学・人) 音楽活動に親しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。【中2段階】	(知・技) 曲想と歌詞が表す情景やイメージの関係に気付いている。 (知・技) 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識し、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 音楽づくりの知識や技能を生かし、即興的な表現を通して自分なりの発想をもっている。 (主学) 音楽活動に親しみながら、友達と協力して主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。	花 夢の世界を われば海の子 リコーダーの吹き 方・シジシでおは なシ ソラシのワルツ ふけるぞソラシド 手拍子リレー Head, Shoulders, Knees s And Toes Hokey Pokey 校歌 季節の歌 平和に関する歌 示範演奏 好きな曲紹介 音符や休符のきま り	歴史的背景や歌詞の意味を口頭説明したり、動画や示範演奏を聴いて理解を深め、情景や作者の意図をイメージする。 教師の手本をみて、奏法や指使いを意識しながら演奏する。 動画を見て、身体の部位を覚えてリズムよくダンスをする。 リズムカードを用いて、好きな単語に当てはめて、構成したリズムを発表する。 鑑賞後に感想を口頭やワークシート(Forms)で発表し、感じたことを共有し合う。 校歌、季節の行事や歴史文化に関する歌や音楽を動画やパワーポイントを使って紹介する。 好きな曲を発表し、友だちの好きな曲を聴く。
2 学期	25	(知及技) 曲名や曲想よ音楽の構造との関わりについて理解することができる。【中2段階A(イ)㉔】 (知及技) 友達や楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。【中2段階A(イ)㉔】 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。【中2段階B(ア)】 (学・人) 音楽活動に親しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。【中2段階】	(知・技) 曲名や曲想と音楽の構造の関係に気付いている。 (知・技) 友達や楽器の音や伴奏を聴きながら、リズムや速度を合わせて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 鑑賞の知識を生かしながら、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 (主学) 音楽活動に親しみながら、友達と協力して主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。	大切なもの マイバード 里の秋 冬景色 季節の歌 パフ 聖者の行進 ラバースコンチェルト(合奏) ラデツキー行進曲 ピーターとおおかみ 歌曲「魔王」 オペラ「魔笛」より パパ きらきら星変奏曲 日本各地の郷土音楽 西洋音楽・楽器	CDや映像を用いて、曲想を掴む。 楽器を使って形式や変化を感じ取る。 友達や楽器の音色や伴奏を聴いてリズムや速度を合わせて合奏する。 動画や音源を流し、手拍子や口ずさむことにより旋律やリズムを感じ取る。 個別練習やグループ練習を重ね、話し合いながら演奏の仕方を考える。 音源や動画を活用し、歌や踊り、使用している楽器の特徴を知る。 各グループで曲の一部分を手拍子したり、踊ったりして練習し、楽曲に親しむ。 マイク等を利用して、合図ののって教師と一緒に歌う。 経験したことのあるリズムを用いて、好きな打楽器で演奏する。 教師の演奏する旋律に合わせて順番に又は自由に楽器を鳴らす。
3 学期	20	(知及技) 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けることができる。【中2段階A(ウ)㉔】 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。【中2段階A(ア)㉔】 (学・人) 音楽活動に親しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。【中2段階】	(知・技) 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動に親しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	卒業式の歌(帰る場所) 早春賦 春の海 動物園の仲間 音楽づくり 日本の伝統芸能(雅楽、歌舞伎) 演奏形態について 呼び込み君 蛍の光・別れのワルツ 指揮を振ろう	リズムカードにあるリズムを手拍子して、音符の長さや組み合わせを理解する。 指定された小節に入る言葉を考え、リズムや音を選択して、旋律を完成させる。 卒業式の歌の歌詞の意味をワークシート(Forms)を用いて意図や思いをまとめる。 ワークシートの内容を発表し、イメージにあった表現を考える。 卒業式の歌を教師や友達と一緒に声を出したり、手話等で表現する。 写真や映像を示しながら、演奏に使われている楽器を知る。 改めて演奏を聴きながら、どの楽器の音が聞こえているのか確認する。
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年13名		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。【中1段階】 (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。【中1段階】 (学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。【中1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで表すことができる。【中1段階A表現A(イ)】 (思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。 【中1段階B鑑賞A(ア)】	(知・技)材料や用具の使い方や特性を理解しながら、表現したいことに合わせてそれらを選択することができる。 (思・判・表)身近な造形作品の鑑賞を通して作品のよさや面白さに気付き、他の人と共有するなどして自分の見方や感じ方を広げている。 (主学)制作の過程で自由に発想し、多様な技法を試すなどして創作する喜びを味わい、日常生活をより豊かにしようとしている。	美術の学習について・絵の具の練習	著名な作家の作品や身近なデザインから美術の見方や感じ方の感覚をつかみ、美術を愛好する心情を育てる。また「美術の約束」を知り、美術室内での学習態度や用具の扱い、準備片付けの取り組み方などを学ぶ。
	12	(学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。 【中1段階の目標】		自由画「絵画」	自分の好きなものやことを思い浮かべ話し合い、イメージを膨らませて4つ切り用紙に描く。画材は絵の具やクレヨン、マジックなど自由に本人の表したいことを表現できるように適宜提供するようにする。
	12	【中1段階の目標】		海の仲間「立体制作」	粘土を使い、手の微細な動きを駆使して延ばす丸めるなどの技術を身に付けながら、水族館に飾れるような海に関連した生き物等を制作する。粘土の感触や、絵の具を乗せる楽しさ、ビニールの音などを感じながら制作する。
2学期	8	(知及技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで表すことができる。【中1段階表現A(イ)】 (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。 【中1段階A表現A(ア)】	(知・技)材料や用具の使い方や特性を理解しながら、表現したいことに合わせてそれらを選択することができる。 (思・判・表)表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げている。 (主学)制作の過程で自由に発想し、多様な技法を試すなどして創作する喜びを味わい、日常生活をより豊かにしようとしている。	水族館を作ろう「空間表現」	制作した作品を空間に飾り付け、プロジェクターを使って空間いっぱいに映し出される映像と一緒に鑑賞する。
	18	(学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。 【中1段階の目標】		コラージュ版画「版画」	パネルに、様々な素材の触感を楽しみながら貼り付けて版を制作し、抽象的なイメージを表現する。制版・ローラーでインクを乗せる・プレス機を回す・版から現れる画面を見る楽しさなど、様々な工程を体験し楽しむ。
3学期	6	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について知ることができる。 【中1段階共通事項A(ア)】 (思判表力)表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。 【中1段階B鑑賞A(イ)】	(知・技)形や色彩、材料や光などの特徴や違いなどを観察し、知ろうとしている。 (思・判・表)用具の使い方や材料の選択による作品の印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (主学)制作の過程で自由に発想し、多様な技法を試すなどして創作する喜びを味わい、日常生活をより豊かにしようとしている。	学習発表会ポスター(デザイン)	身近な材料を組み合わせて、面白い線や形がかける筆をつくり、書き心地を試して筆あとの印象を捉え、工夫して表す。
	10	(学・人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。 【中1段階の目標】		卒業式の壁画「共同製作」	テーマを元に共通のイメージとメッセージ性を持って制作に取り組み、互いの作品との調和や関連性を意識させる。また、活動内容や分担を明確にし、対話を交えながら皆で協力して作業することができるようにする。
	2	【中1段階の目標】		作品ファイル作り「鑑賞」	1年間の自分たちの作品を振り返り、友達の作品に感想を述べたり、できるようになったことを振り返り、作品に対して愛着を持つようになる。
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配當時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	2学年 8名		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中学部2段階) (思判表力)造形的な良さや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(中学部2段階) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解することができる。《中学部2段階共通ア(ア)》 (思判表力)造形的な特徴などからイメージを捉えることができる。《中学部2段階共通ア(イ)》 (学・人)表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深めることができる。《中学部2段階Bア(イ)》	(知・技)形の種類や色の基本、材料の種類や特性について理解しようとしている。《中学部2段階共通ア(ア)》 (思・判・表)色の選択や配置を工夫するなどしてイメージを捉えようとしている。《中学部2段階共通ア(イ)》 (主学)材料の選択や使い方を工夫したり、自分の見方や感じ方を他の人と共有するなどして、考えを深めようとしている。《中学部2段階Bア(イ)》	アクションペインティング(絵画)	コラージュ(切り絵)やドリッピング(垂れ流し)などの絵画技法を体験しながら、色彩の特徴に気付き、楽しんで表現する。
		(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解することができる。《中学部2段階共通ア(ア)》 (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。《中学部1段階Aア(ア)》 (学・人)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を深めることができる。《中学部2段階Bア(ア)》	(知・技)形の種類や色の基本、材料の種類や特性について理解しようとしている。《中学部2段階共通ア(ア)》 (思・判・表)経験や思いを基にした発想や構想を深め、材料などを基に表したいことを表現しようとしている。《中学部1段階Aア(ア)》 (主学)感じたことを他の人と共有したり、制作の過程などを記録したりするなどして、作品のよさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を深めようとしている。《中学部2段階Bア(ア)》	クリスタルアニマルづくり(立体・鑑賞)	光を通す材料を集め、想像する形に合うように組み合わせたり、色をつけたりして生き物をつくる。作品をICT機器で記録し、作品のよさや面白さを味わう。
2学期	30	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解することができる。《中学部2段階共通ア(ア)》 (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。《中学部1段階Aア(ア)》 (学・人)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を深めることができる。《中学部2段階Bア(ア)》	(知・技)表現したいことに合わせて材料や用具を組み合わせ、計画的に制作し、表現の意図を明確にしようとしている。《中学部2段階Aア(イ)》 (思・判・表)経験や思いを基にした発想や構想を深め、材料などを基にしながら表現しようとしている。《中学部2段階Aア(ア)》 (主学)感じたことを他の人と共有したり、制作の過程などを記録したりするなどして、作品のよさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を深めようとしている。《中学部2段階Bア(ア)》	学習発表会ポスター(デザイン)	身近な材料を組み合わせ、面白い線や形がかける筆をつくり、書き心地を試して筆あとの印象を捉え、工夫して表す。
		(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。《中学部2段階Aア(イ)》 (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。《中学部2段階Aア(ア)》 (学・人)自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を深めることができる。《中学部2段階Bア(ア)》	(知・技)表現したいことに合わせて材料や用具を組み合わせ、計画的に制作し、表現の意図を明確にしようとしている。《中学部2段階Aア(イ)》 (思・判・表)経験や思いを基にした発想や構想を深め、材料などを基にしながら表現しようとしている。《中学部2段階Aア(ア)》 (主学)感じたことを他の人と共有したり、制作の過程などを記録したりするなどして、作品のよさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を深めようとしている。《中学部2段階Bア(ア)》	卒業式壁画(絵画・鑑賞・共同制作)	テーマ(花)を基に、様々なイメージ(経験を掘り起こす)を広げ、モチーフ制作を工夫して表す。また、モチーフを組み合わせ、視野を広げた造形的な見方について考える。
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3学年 18名		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中学部2段階) (思判表力) 造形的な良さや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(中学部2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。《中学部2段階Aア(イ)》 (思判表力) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。《中学部2段階Aア(ア)》 (学・人) 自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。《中学部2段階Bア(ア)》	(知・技) 形の特徴や色の特性を理解し、それらを意図的に組み合わせようとしている。《中学部2段階Aア(イ)》 (思・判・表) 材料を組み合わせながら、発想を広げ、工夫しようとしている。《中学部2段階Aア(ア)》 (主学) 自分たちの作品や美術作品などを鑑賞し、よさや面白さを感じ取り、積極的に真似しようとしている。《中学部2段階Bア(ア)》	色の基本を学ぶ(デザイン)	色相や明度、彩度について学習すると共に、絵具の特性についても学習する。
				自画像(絵画)	顔の形や各部位の位置についての理解を深めると共に、自己の内面性について考え、色を使って表現する。 ※一般図書「ひらめき美術館第3館」を活用し、材料や用具の特徴を生かすための工夫の仕方について学習理解を促す。
2学期	30	(知及技) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。《中学部2段階Aア(イ)》 (思判表力) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。《中学部2段階Aア(ア)》 (学・人) 表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深めることができる。《中学部2段階Bア(イ)》	(知・技) 制作手順を理解し、計画的に制作を進めるようとしている。《中学部2段階Aア(イ)》 (思・判・表) 材料を組み合わせながら、好きな表現方法を発見し、繰り返し実践しようとしている。《中学部2段階Aア(ア)》 (主学) 表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、意図的に取り組もうとしている。《中学部2段階Bア(イ)》	迷路づくり(立体・鑑賞)	段ボールの組立制作の中で友達と協働的な学びに取り組みながら、作品の造形な良さや楽しさを感じ、工夫して表現する。
				ほってすって見つけて(絵画)	彫刻刀の彫り跡の特徴を見つけ、版に表したいことを考え、彫り方を工夫して表す。
				素敵なあかり(工芸)	光を通す材料や色を付ける材料、光を遮る材料を組み合わせランプシェードを作る。
3学期	18	(知及技) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。《中学部2段階Aア(イ)》 (思判表力) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。《中学部2段階Aア(ア)》 (学・人) 表したいことや表し方を教師や友達と相談しながら考え、自由な発想や構想をすることができる。《中学部2段階Bア(イ)》	(知・技) デザインのメッセージ性を理解し、構成しようとしている。《中学部2段階Aア(イ)》 (思・判・表) テーマに合わせたデザイン構成となるよう工夫している。《中学部2段階Aア(ア)》 (主学) 自分の役割を理解し、友達と相談しながら協力的な態度で実践しようとしている。《中学部2段階Bア(イ)》	商品ポップ(デザイン) 食品サンプル(立体・デザイン)	身近な材料を組み合わせ、面白い線や形がかける筆をつくり、書き心地を試して筆あとの印象を捉え、工夫して表す。
				卒業式壁画(絵画・鑑賞・共同制作)	テーマ(花)を基に、様々なイメージ(経験を振り起こす)を広げ、モチーフ制作を工夫して表す。また、モチーフを組み合わせ、視野を広げた造形的な見方について考える。
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時間	生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	1学年 13名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階) (学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。【中1段階A ア】 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階A イ】 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階A ウ】	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方が分かっている。体を動かす楽しさや心地よさに触れている。動きを持続する能力などを高めている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動 (体操、リズム運動、集団遊びなど) ・体の動きを高める運動 (サーキット運動、リトミック、ラジオ体操、ストレッチなど) ・体力テスト (50m、100m、ボール投げ、立ち幅跳び、握力など)
		(知及技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けることができる。【中1段階B ア】 (思判表力) 器械・器具を使った運動について自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階B イ】 (学・人) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階B ウ】	(知・技) 器械・器具を使った運動の行い方が分かっている。器械運動の基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 器械・器具を使った運動について自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	2 器械運動	・マット (前転、後転、横転など) ・平均台 (上がり、下り、歩く、方向転換、ポーズなど)
		(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。【中1段階D ア】 (思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階D イ】 (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階D ウ】	(知・技) 初歩的な泳ぎの行い方が分かっている。水泳に関する基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	3 水泳	・基本的な動きや技能 (水中を歩く運動：歩く、アヒル歩き、ワニ歩きなど) (浮く運動：クラゲ、だるま、大の字、伏し浮き、け伸びなど) (もぐる運動：底に沈んだスティックやボール拾い、輪っかぐりなど) ・初歩的な泳ぎ (浮いて進む運動：補助具を使って浮きながら手や足を動かして進む)
		(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。【中1段階C ア】 (思判表力) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階C イ】 (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階C ウ】	(知・技) 陸上運動の行い方が分かっている。基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	4 陸上運動	・短距離走・リレー (30m、50m走、バトンパス) ・長距離走(時間走、決まった距離走) ※体育的行事との関連 (運動会、校内陸上競技大会、特体連体育大会、校内マラソン大会、特体連駅伝競走大会)

2 学期	36	(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。【中1段階G ア】 (思判表力) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階G イ】 (学・人) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階G ウ】	(知・技) ダンスの行い方が分かっている。ダンスに関する基本的な動きや技能を身に付けて、表現したり踊ったりしている。 (思・判・表) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	5 ダンス	・軽快なリズムで踊る (特体連ダンスなど) ・郷土の踊り (エイサーなど) ・曲のリズムの特徴を捉えて、その場で弾む、スキップ、全身で即興的に踊る (創作ダンスなど) ・友達と互いの動きを認め合い、協力して踊る (フォークダンスなど)
3 学期	26	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。【中1段階E ア】 (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階E イ】 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階E ウ】	(知・技) 球技の行い方が分かっている。球技に関する基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	6 球技	・ゴール型 (サッカー、バスケットボールなど) ・ベースボール型 (キックベースボール、ティーボールなど) ・ネット型 (ゴロ卓球、風船バレーなど) ・その他 (ボウリング、ポッチャなど)
		(知及技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。【中1段階F ア】 (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階F イ】 (学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階F ウ】	(知・技) 武道の行い方が分かっている。伝統的な考え方が分かっている。武道の基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 (思・判・表) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	7 武道	・空手 (作法、立ち方などの基本動作、突きや蹴りなどの基本的な技能、型、リズム空手など)
通 年	16	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。【中1段階H ア】 (思判表力) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階H イ】 (学・人) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができる。【中1段階H ウ】	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けている。 (思・判・表) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。	8 保健 ①体の発育・発達 ②けがの防止 ③病気の予防	①身体計測の結果や成長を通して体の発育に関心を持ち、身体各部の働きを知る。 ②けがの防止のために運動の前後に体操をする。 ③病気の予防のために、運動やゲームの後で汗を拭いたり、手洗いやうがいをしたりするなど、生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	2学年 8名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階) (学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。【中1段階Aア】 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階Aイ】 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階Aウ】	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方が分かっている。体を動かす楽しさや心地よさに触れている。友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動 (体操、リズム運動、集団遊びなど) ・体の動きを高める運動 (サーキット運動、リトミック、ラジオ体操、ストレッチなど) ・体力テスト (50m、100m、ボール投げ、立ち幅跳び、握力など)
		(知及技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けることができる。【中1段階Bア】 (思判表力) 器械・器具を使った運動について自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階Bイ】 (学・人) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階Bウ】	(知・技) 器械・器具を使った運動の行い方が分かっている。器械運動の基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 器械・器具を使った運動について自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	2 器械運動	・マット (前転、後転、横転など) ・平均台 (上がり、下り、歩く、方向転換、ポーズなど)
		(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。【中1段階Dア】 (思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階Dイ】 (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階Dウ】	(知・技) 初歩的な泳ぎの行い方が分かっている。水泳に関する基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	3 水泳	・基本的な動きや技能 (水中を歩く運動：歩く、アヒル歩き、ワニ歩きなど) (浮く運動：クラゲ、だるま、大の字、伏し浮き、け伸びなど) (もぐる運動：底に沈んだスティックやボール拾い、輪っかぐりなど) ・初歩的な泳ぎ (浮いて進む運動：補助具を使って浮きながら手や足を動かして進む)
		(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。【中1段階Cア】 (思判表力) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階Cイ】 (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階Cウ】	(知・技) 陸上運動の行い方が分かっている。基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	4 陸上運動	・短距離走・リレー (30m、50m走、バトンパス) ・長距離走(時間走、決まった距離走) ※体育的行事との関連 (運動会、校内陸上競技大会、特体連体育大会、校内マラソン大会、特体連駅伝競走大会)

2 学期	36	(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。【中1段階G ア】 (思判表力) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階G イ】 (学・人) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階G ウ】	(知・技) ダンスの行い方が分かっている。ダンスに関する基本的な動きや技能を身に付けて、表現したり踊ったりしている。 (思・判・表) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	5 ダンス	・軽快なリズムで踊る (特体連ダンスなど) ・郷土の踊り (エイサーなど) ・曲のリズムの特徴を捉えて、その場で弾む、スキップ、全身で即興的に踊る (創作ダンスなど) ・友達と互いの動きを認め合い、協力して踊る (フォークダンスなど)
3 学期	26	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。【中1段階E ア】 (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階E イ】 (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階E ウ】	(知・技) 球技の行い方が分かっている。球技に関する基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	6 球技	・ゴール型 (サッカー、バスケットボールなど) ・ベースボール型 (キックベースボール、ティーボールなど) ・ネット型 (ゴロ卓球、風船バレーなど) ・その他 (ボウリング、ポッチャなど)
		(知及技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。【中1段階F ア】 (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階F イ】 (学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。【中1段階F ウ】	(知・技) 武道の行い方が分かっている。伝統的な考え方が分かっている。武道の基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 (思・判・表) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。	7 武道	・空手 (作法、立ち方などの基本動作、突きや蹴りなどの基本的な技能、型、リズム空手など)
通 年	16	(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。【中1段階H ア】 (思判表力) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中1段階H イ】 (学・人) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができる。【中1段階H ウ】	(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けている。 (思・判・表) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。	8 保健 ①体の発育・発達 ②けがの防止 ③病気の予防	①身体計測の結果や成長を通して体の発育に関心を持ち、身体各部の働きを知る。 ②けがの防止のために運動の前後に体操をする。 ③病気の予防のために、運動やゲームの後で汗を拭いたり、手洗いやうがいをしたりするなど、生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材		
3/105	3学年 18名				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中2段階) (学・人) 各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。また、健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組む態度を養う。(中2段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。【中2段階A ア】 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中2段階A イ】 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。【中2段階A ウ】	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の行い方を理解している。体を動かす楽しさや心地よさを味わっている。友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動(ストレッチ体操、リズム運動、集団遊びなど) ・体の動きを高める運動(特体連ダンス、筋力トレーニング、ボールサーキット運動、ラジオ体操、など) ・体力テスト(50m、100m、ボール投げ、立ち幅跳び、反復横跳び、握力、長座体前屈など)
		(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技を身に付けることができる。【中2段階B ア】 (思判表力) 器械運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえることができる。【中2段階B イ】 (学・人) 器械運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や器械・器具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。【中2段階B ウ】	(知・技) 器械運動の行い方を理解している。器械運動の基本的な技を身に付けている。 (思・判・表) 器械運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしている。考えたり工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 器械運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や器械・器具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。	2 器械運動	・マット(連続後転、開脚後転、壁倒立など) ・跳び箱運動(開脚跳び)
		(知及技) 水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。【中2段階D ア】 (思判表力) 水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中2段階D イ】 (学・人) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。【中2段階D ウ】	(知・技) 水泳運動の行い方を理解している。水泳運動の基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしている。考えたり工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。	3 水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐ ・補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、ばた足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進む ○補助具を使ったクロールや平泳ぎのストローク ・補助具を使って、手を左右交互に前に出し水をかくクロールのストロークや、手の平を下向きにそろえ両手を前方に伸ばし水をかく平泳ぎのストロークをする
		(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。【中2段階C ア】 (思判表力) 陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中2段階C イ】 (学・人) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。【中2段階C ウ】	(知・技) 陸上運動の行い方を理解している。陸上運動の基本的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしている。考えたり工夫したりしたことを他者に伝えている。 (主学) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。	4 陸上運動	・短距離走・リレー(30m、50m走、バトンパス) ・長距離走(時間走、決まった距離走) ※体育的行事との関連(運動会、校内陸上競技大会、特体連体育大会、校内マラソン大会、特体連駅伝競走大会)

2 学 期	36	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。【中2段階G ア】</p> <p>(思判表力) ダンスについての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中2段階G イ】</p> <p>(学・人) ダンスに積極的に取り組み、友達よさを認め助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己力を発揮して運動をすることができる。【中2段階G ウ】</p>	<p>(知・技) ダンスの基本的な行い方を理解している。ダンスの基本的な技能を身に付けて、表現したり踊ったりしている。</p> <p>(思・判・表) ダンスについての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) ダンスに積極的に取り組み、友達よさを認め助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己力を発揮して運動をしようとしている。</p>	5 ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな速さの曲調の異なるリズムの曲 (特体連ダンスなど) ・郷土の踊り (エイサーなど) ・友達と互いの動きを認め合い、協力して踊る (外国のフォークダンスなど)
3 学 期	26	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。【中2段階E ア】</p> <p>(思判表力) 球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中2段階E イ】</p> <p>(学・人) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己力を発揮して運動をすることができる。【中2段階E ウ】</p>	<p>(知・技) 球技の行い方を理解している。球技に関する基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。</p> <p>(思・判・表) 球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己力を発揮して運動をしようとしている。</p>	6 球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型 (サッカー、バスケットボールなど) ・ベースボール型 (キックベースボール、ティーボールなど) ・ネット型 (卓球、ゴロ卓球、ソフトバレー、風船バレーなど)
		<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、その行い方や伝統的な考え方を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。【中2段階F ア】</p> <p>(思判表力) 武道についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中2段階F イ】</p> <p>(学・人) 武道に積極的に取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己力を発揮して運動をすることができる。【中2段階F ウ】</p>	<p>(知・技) 武道の行い方や伝統的な考え方を理解している。武道の基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。</p> <p>(思・判・表) 武道についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 武道に積極的に取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己力を発揮して運動をしようとしている。</p>	7 武道	<ul style="list-style-type: none"> ・空手 (作法、立ち方などの基本動作、突きや蹴りなどの基本的な技能、型など)
通 年	16	<p>(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。【中2段階H ア】</p> <p>(思判表力) 自分やグループの健康安全についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。【中2段階H イ】</p> <p>(学・人) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができる。【中2段階H ウ】</p>	<p>(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 自分やグループの健康安全についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしている。考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。</p>	8 保健 ①体の発育・発達 ②けがの防止 ③病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ①身体計測の結果や成長を通して体の発育に関心を持ち、身体各部の働きを理解する。 ②けがの防止のために運動の前後に体操をする。 ③病気の予防のために、運動やゲームの後で汗を拭いたり、手洗いやうがいをしたりするなど、生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
留 意 点 引 継 ぎ 等					

単位数 / 相当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1学年 13 名		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業について関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中学部1段階) (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中学部1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づくことができる。【中1段階Aア(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 自立への意欲を持ち、職業の大切さを知らうとしている。【中1段階Aア(ア)】 (思・判・表) 中学生になったことに自覚を持ち、自分の将来を考えようとしている。【中1段階Aア(イ)】 (主学) 職業科での学習に関心を持ち、進んで学ぼうとする。【中1段階Aア(ウ)】	・職業科で学ぶこと	・オリエンテーション ・木工室、農場でのやくそくごとについて ・準備物、身なりについて
	2	(知及技) 職業生活に必要な知識や技術について知ることができる。【中1段階Aイ(ア)㊦】 (思判表力) 職業生活に必要な健康管理について気づくことができる。【中1段階Aイ(イ)㊦】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 身近な仕事について知らうとしている。【中1段階Aイ(ア)㊦】 (思・判・表) 自分がやってみたい職業について考えようとしている。【中1段階Aイ(イ)㊦】 (主学) 働くことに関心を持ち、進んで学ぼうとする。【中1段階Aア(ウ)】	・はたらくってどんなこと	・将来やりたい仕事について考え、発表する
	14	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階Aイ(ア)㊧】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)㊧】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 製作に使用する工具を扱い、慣れようとしている。【中1段階Aイ(ア)㊧】 (思・判・表) 安全に気をつけ、製作工程を進めようとしている。【中1段階Aイ(イ)㊧】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中1段階Aア(ウ)】	・作ってみよう(道具箱)	・道具、材料の保管場所 ・道具の使い方 ・木材の加工(ペーパーがけ、切断、穴開け、接合、組み立て、塗装)
2 学期	14	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知る。【中1段階Aイ(ア)㊨】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)㊨】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 商品完成までの工程を知らうとしている。【中1段階Aイ(ア)㊨】 (思・判・表) 小グループに分かれ、分担しながら作業しようとしている。【中1段階Aイ(イ)㊨】 (主学) 商品完成に向けて、意欲的に作業に取り組もうとしている。【中1段階Aア(ウ)】	・作ってみよう(道具箱)	・道具の使い方 ・分担作業 ・木材の加工(ペーパーがけ、切断、穴開け、接合、組み立て、塗装)
	14	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。【中1段階Aイ(ア)㊩】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連に気づくことができる。【中1段階Aイ(イ)㊩】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 野菜の生育に必要な作業を知らうとしている。【中1段階Aイ(ア)㊩】 (思・判・表) 生育の過程で行う作業の意図を理解し、適切に管理しようとしている。【中1段階Aイ(イ)㊩】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中1段階Aア(ウ)】	・野菜を育てよう(タマネギ等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
3 学期	6	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを知る。【中1段階Aイ(ア)㊪】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)㊪】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 商品完成までの工程を知らうとしている。【中1段階Aイ(ア)㊪】 (思・判・表) 小グループに分かれ、分担しながら作業しようとしている。【中1段階Aイ(イ)㊪】 (主学) 商品完成に向けて、意欲的に作業に取り組もうとしている。【中1段階Aア(ウ)】	・作ってみよう(道具箱)	・道具の使い方 ・分担作業 ・木材の加工(ペーパーがけ、切断、穴開け、接合、組み立て、塗装)
	6	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。【中1段階Aイ(ア)㊫】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連に気づくことができる。【中1段階Aイ(イ)㊫】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 野菜の生育に必要な作業を知らうとしている。【中1段階Aイ(ア)㊫】 (思・判・表) 生育の過程で行う作業の意図を理解し、適切に管理しようとしている。【中1段階Aイ(イ)㊫】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中1段階Aア(ウ)】	・野菜を育てよう(タマネギ等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
	8	(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階Bア】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階Bイ】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技) 各種アプリの使い方を知らうとしている。【中1段階Bア】 (思・判・表) わかりやすい発表になるよう、意識しようとしている。【中1段階Bイ】 (主学) 情報機器に関心を持ち、進んで使い方を知らうとしている。【中1段階Aア(ウ)】	・情報機器に触れよう ・実習報告会	・文字を打つ ・カメラアプリの使い方 ・写真の整理 ・写真の加工
留意点 引継ぎ等					

単位数 / 相当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年 8名		職業・家庭☆☆☆☆ 職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業について関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中学部1段階) (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中学部1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づくことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 自立への意欲を持ち、職業の大切さを知ろうとしている。【中1段階A(ア)】 (思・判・表) 進級したことに自覚を持ち、自分の将来を考えようとしている。【中1段階A(イ)】 (主学) 職業科での学習に関心を持ち、進んで学ぼうとする。【中1段階A(ウ)】	・2年生になって	・昨年度ふりかえり ・今年目標を立てよう ・準備物、身なりについて
	2	(知及技) 職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることについて、気づき、他者に伝えることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 身近な仕事について知ろうとしている。【中1段階C(ア)】 (思・判・表) 身近な仕事について調べようとしている。【中1段階C(イ)】 (主学) 働くことに関心を持ち、進んで学ぼうとする。【中1段階A(ウ)】	・身近なお仕事	・身の回りの様々な職業に気付く
	16	(知及技) 職業生活に必要な知識や技能を理解することができる。【中2段階A(イ)②】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連に気づくことができる。【中1段階A(イ)②】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 畑作業に必要な作業や服装を知ろうとしている。【中2段階A(イ)②】 (思・判・表) 生育の過程で行う作業の意図を理解し、適切に管理しようとしている。【中1段階A(イ)②】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中1段階A(ウ)】	・野菜を育てよう (サラダ菜等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
2学期	14	(知及技) 作業の持続性や巧緻性を身に付けることができる。【中1段階A(ア)③】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階A(イ)③】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 一定時間、集中して作業しようとしている。【中1段階A(ア)③】 (思・判・表) 小グループに分かれ、分担しながら作業しようとしている。【中1段階A(イ)③】 (主学) 商品完成に向けて、意欲的に作業に取り組もうとしている。【中1段階A(ウ)】	・作ってみよう (マルチボックス)	・道具の使い方 ・分担作業 ・木材の加工(ペーパーがけ、切断、穴開け、接合、組み立て、塗装)
	14	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。【中1段階A(イ)④】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連に気づくことができる。【中1段階A(イ)④】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 野菜の生育に必要な作業を知ろうとしている。【中1段階A(イ)④】 (思・判・表) 生育の過程で行う作業の意図を理解し、適切に管理しようとしている。【中1段階A(イ)④】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中1段階A(ウ)】	・野菜を育てよう (じゃがいも等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
3学期	6	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みがあることを理解することができる。【中2段階A(イ)④】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階A(イ)④】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 商品完成までの工程を知ろうとしている。【中2段階A(イ)④】 (思・判・表) 小グループに分かれ、分担しながら作業しようとしている。【中1段階A(イ)④】 (主学) 商品完成に向けて、意欲的に作業に取り組もうとしている。【中1段階A(ウ)】	・作ってみよう (マルチボックス)	・道具の使い方 ・分担作業 ・木材の加工(ペーパーがけ、切断、穴開け、接合、組み立て、塗装)
	6	(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。【中1段階A(イ)⑤】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連に気づくことができる。【中1段階A(イ)⑤】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 野菜の生育に必要な作業を知ろうとしている。【中1段階A(イ)⑤】 (思・判・表) 生育の過程で行う作業の意図を理解し、適切に管理しようとしている。【中1段階A(イ)⑤】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中1段階A(ウ)】	・野菜を育てよう (じゃがいも等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
	8	(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 各種アプリの使い方を知ろうとしている。【中1段階B(ア)】 (思・判・表) わかりやすい発表になるよう、意識しようとしている。【中1段階B(イ)】 (主学) 情報機器に関心を持ち、進んで使い方を知ろうとしている。【中1段階A(ウ)】	・情報機器に触れよう ・実習報告会	・文字を打つ ・カメラアプリの使い方 ・写真の整理 ・写真の加工 ・プレゼン用アプリの使い方
留意点 引継ぎ等					

単位数 / 相当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3学年 18 名		職業・家庭☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業について関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中学部2段階) (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、課題を解決する力を養う。(中学部2段階) (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(中学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) 働くことの目的などを理解することができる。【中2段階Aア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中2段階Aウ(ウ)】	(知・技) 自立への意欲をもち、職業の大切さを理解している。【中2段階Aア(ア)】 (思・判・表) 進級したことに自覚を持ち、自分の将来を考えようとしている。【中2段階Aイ(イ)】 (主学) 職業科での学習に関心を持ち、進んで学ぼうとする。【中2段階Aウ(ウ)】	・3年生になって	・昨年度ふりかえり ・今年目標を立てよう ・準備物、身なりについて
	2	(知及技) 職業や進路に関わることについて調べ、理解することができる。【中2段階Cア】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考え、発表することができる。【中2段階Cイ】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中2段階Aア(ウ)】	(知・技) 先輩方の現場実習について知ろうとしている。【中2段階Cア】 (思・判・表) 将来の進路先について、調べようとしている。【中2段階Cイ】 (主学) 働くことに関心を持ち、進んで学ぼうとする。【中2段階Aウ(ウ)】	・卒業後の進路調べ	・先輩の現場実習の様子や進路先を学習する
	16	(知及技) 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関する基礎的な技術について理解することができる。【中2段階Aイ(ア)②】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について考え、発表することができる。【中2段階Aイ(イ)②】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中2段階Aウ(ウ)】	(知・技) 野菜の生育に必要な作業を理解しようとしている。【中2段階Aイ(ア)②】 (思・判・表) 生育の過程で行う作業の意図を理解し、適切に管理しようとしている。【中2段階Aイ(イ)②】 (主学) 収穫を喜び、進んで取り組もうとしている。【中2段階Aウ(ウ)】	・野菜を育てよう(オクラ等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
2 学期	14	(知及技) 作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。【中2段階Aイ(ア)③】 (思判表力) 作業上の安全や衛生及び効率について考え、工夫することができる。【中2段階Aイ(イ)③】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中2段階Aウ(ウ)】	(知・技) 一定時間、集中して作業しようとしている。【中2段階Aイ(ア)③】 (思・判・表) 小グループに分かれ、分担しながら作業しようとしている。【中2段階Aイ(イ)③】 (主学) 商品完成に向けて、意欲的に作業に取り組もうとしている。【中2段階Aウ(ウ)】	・作ってみよう(ティッシュケース)	・道具の使い方 ・分担作業 ・木材の加工(ペーパーがけ、切断、穴開け、接合、組み立て、塗装)
	14	(知及技) 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関する基礎的な技術について理解することができる。【中2段階Aイ(ア)④】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について考え、発表することができる。【中2段階Aイ(イ)④】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中2段階Aウ(ウ)】	(知・技) 野菜の生育に必要な作業を理解しようとしている。【中2段階Aイ(ア)④】 (思・判・表) 生育の過程で行う作業の意図を理解し、適切に管理しようとしている。【中2段階Aイ(イ)④】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中2段階Aウ(ウ)】	・野菜を育てよう(にんじん等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
3 学期	6	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みを理解することができる。【中2段階Aイ(ア)⑤】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)⑤】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aウ(ウ)】	(知・技) 商品完成までの工程を理解しようとしている。【中2段階Aイ(ア)⑤】 (思・判・表) 小グループに分かれ、分担連携しながら作業しようとしている。【中2段階Aイ(イ)⑤】 (主学) 商品完成に向けて、意欲的に作業に取り組もうとしている。【中2段階Aウ(ウ)】	・作ってみよう(マルチボックス)	・道具の使い方 ・分担作業 ・木材の加工(ペーパーがけ、切断、穴開け、接合、組み立て、塗装)
	6	(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解できる。【中2段階Aイ(ア)⑥】 (思判表力) 職業生活に必要な健康管理について考えることができる。【中2段階Aイ(イ)⑥】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中2段階Aウ(ウ)】	(知・技) 管理作業ごとに必要な道具を選び取ろうとしている。【中2段階Aイ(ア)⑥】 (思・判・表) 収穫までの過程を振り返り、大切だったことを考えようとしている。【中2段階Aイ(イ)⑥】 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。【中2段階Aウ(ウ)】	・野菜を育てよう(じゃがいも等)	・道具、資材の保管場所 ・道具の使い方 ・栽培の方法(耕耘、播種、定植、除草、かん水、追肥、誘引、収穫、洗浄、計量)
	8	(知及技) コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱うことができる。【中2段階Bア】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。【中2段階Bイ】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中2段階Aウ(ウ)】	(知・技) 各種アプリの使い方を知ろうとしている。【中2段階Bア】 (思・判・表) わかりやすい発表になるよう、意識しようとしている。【中2段階Bイ】 (主学) 情報機器に関心を持ち、進んで使い方を知ろうとしている。【中2段階Aウ(ウ)】	・情報機器を扱う ・実習報告会	・文字を打つ ・カメラアプリの使い方 ・写真の整理 ・写真の加工 ・動画編集アプリの使い方
留意点 引継ぎ等					

単位数 / 相当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1学年13名		☆☆☆☆職業・家庭

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家庭の中の自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。【中学部1段階】 (思判表力) 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。【中学部1段階】 (学・人) 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを知ることができる。【中学部1段階Aア(ア)】 (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切に育む気持ちや、よりよい関わり方について気づき、他者に伝えることができる。【中学部1段階Aア(イ)】 (学・人) 学習したことをこれからの家庭生活に生かすことができる。	(知・技) 自分の成長には家族の支えがあることを知ろうとしている。家庭の仕事を衣食住に分けようとしている。 (思・判・表) 自分の成長を振り返り、家族を大切に思う気持ちや家族への感謝の気持ちを表現しようとしている。 (主学) 家庭生活に結び付け、学んだことを実践しようとしている。	A 家族・家庭生活	1 自分の成長と家族 ①自分の成長 ②生活を支える家庭の仕事 ③私の生活と家庭の仕事
	4	(知及技) 家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち、知ることができる。【中学部1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づき、それらを他者に伝えることができる。【中学部1段階Aイ(イ)】 (学・人) 学習したことをこれからの家庭生活に生かすことができる。	(知・技) 家庭生活における役割や家庭には様々な家事があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 家族の一員として、自分でやってみたい家事を考えようとしている。 (主学) 家庭生活における自分の役割を考え、実践しようとしている。	A 家族・家庭生活	2 家庭生活と役割 ①家族の役割分担 ②家庭での自分の役割 ③家庭と地域との関わり
	4	(知及技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとする。【中学部1段階Bウ(ア)】 (思判表力) 日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。【中学部1段階Bウ(イ)】 (学・人) 学習したことを家庭生活の中で実践することができる。	(知・技) 活動や季節に合わせた衣服の着方を知り、活動や季節に合わせた衣服を選ぼうとしている。 日常着の手入れの仕方を知り、実践しようとしている。 (思・判・表) 活動や季節に合わせた衣服の選び方に気づき、工夫しようとしている。 日常着の手入れの仕方に気づき、洗濯の方法を考えて安全で衛生的な洗濯しようとしている。 (主学) 日常着の着方や手入れについて、自分なりに工夫し、考えたことを実践しようとしている。	B 衣食住の生活	7 衣服の着用と手入れ ①活動に合わせた衣服の着方を考えよう ②季節に合わせた服装の着方を考えよう ③衣服の手入れの方法を知ろう ④手洗いで洗濯しよう
	7	(知及技) 幼児の特徴や過ごし方について知ることができる。【中学部1段階Aエ(ア)】 (思判表力) 幼児への適切な関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。 (学・人) 学習活動に意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 幼児期は、食事、排泄など生活の様々な場面で他者の支えが必要なことに気づこうとしている。 (思・判・表) 幼児と関わる際の注意点に気づき、それらを他者に伝えようとしている。 (主学) 幼児期について意欲的に学習に取り組もうとしている。	A 家族・家庭生活	4 幼児の生活と家族 ①一日の生活を比べてみよう～ちがいをを見つけよう～ ②幼児の成長と遊び
2 学期	10	(知及技) 健康な生活と食事の役割について知ることができる。【中学部1段階Bア(ア)】 (思判表力) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気づき、それらを他者に伝えることができる。【中学部1段階Bア(イ)】 (学・人) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとする。【中学部1段階Bア(イ)】	(知・技) 健康な生活と食事の役割や朝食の役割を知ろうとしている。 (思・判・表) 適切な量の食事を楽しく摂ることの大切さに気づき、3食食べるために気をつけることを表現しようとしている。 (主学) 自分の食事内容について改善点など、自分なりに考え工夫したことを実践しようとしている。	B 衣食住の生活	5 楽しく食べて元気に ①なぜ、毎日食事をするのだろう ②みんなで楽しく食事をしよう
	12	(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できる。【中1段階Bイ(ア)】 (思判表力) 簡単な調理計画について考えることができる。【中1段階Bイ(イ)】 (学・人) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践することができる。	(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知り調理しようとしている。 (思・判・表) 簡単な調理計画について考えようとしている。野菜や果物を取り入れた料理を選ぼうとしている。 (主学) 調理実習に意欲的に参加しようとしている。野菜や果物を取り入れた料理を進んで摂取しようとしている。	B 衣食住の生活	6 おいしく楽しい調理 ①調理の目的や手順を知ろう ②ゆでる調理を知ろう

	6	(知及技)生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする事ができる。【中1段階Cア(ア)】 (思判表力)生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことができる。【中1段階Cア(イ)】 (学・人)身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫したことを述べる事ができる。【中1段階Cイ(イ)】	(知・技)生活に必要な物の選択や扱い方について知り選ぼうとしている。 (思・判・表)校内販売会の事前事後学習を通して、買物の手順に気付き実践しようとしている。模擬店で自分が今必要としている物を考え購入しようとしている。 (主学)身近な物の選び方について、自分なりに考えたことをプリントにまとめたり、実践しようとしている。	C消費生活・環境	9身近な消費生活 ①身近なものは、だれが、どこで、いつ買っているのか考えよう ②自分の持ち物や生活の中で必要なものなどの買い方について振り返ろう ③身近なお店で自分が必要とする物や家族にたのまれたものを買おう
3 学期	6	(知及技)身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解し、実践することができる。【中学部2段階Cイ(ア)】 (思判表力)身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えて物の使い方などを工夫することができる。【中学部2段階Cイ(イ)】 (学・人)環境に配慮した生活の実現に向けて生活を工夫することができる。【中学部2段階C(イ)】	(知・技)身の周りにはどのようなごみがあるかやリサイクルについて知り、燃えるごみと燃えないごみを分別しようとしている。 (思・判・表)よりよいリサイクルの方法について、リサイクルマークを見ながら考え、工夫しようとしている。 (主学)環境に配慮した生活について、自分なりに考えたことをプリントにまとめたり、実践しようとしている。	C消費生活・環境	10環境に配りよした生活 ①身の周りのごみ ②ごみの減らし方 ③身近なリサイクル
	8	(知及技)住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする事ができる。【中学部1段階B工(ア)】 (思判表力)季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付き、工夫することができる。【中学部B1段階工(イ)】 (学・人)季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付き、工夫したことを他者へ伝えることができる。	(知・技)整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとしている。 (思・判・表)暖かさや涼しさを得るための方法や整理・整頓の仕方について考え、工夫しようとしている。 (主学)快適な住まい方について自分なりに考えたことをプリントにまとめたり他者に伝えたりしようとしている。	B衣食住の生活	8快適に過ごす住まい方 ①比べてみよう ②快適になるようにくふうしよう
	6	(知及技)健康や様々な余暇の過ごし方について知り、実践することができる。【中学部1段階Aウ(ア)】 (思判表力)望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気付き、工夫することができる。【中学部1段階Aウ(イ)】 (学・人)学習したことを家庭生活の中で実践することができる。	(知・技)健康管理の方法や様々な余暇の過ごし方について知ろうとしている。 (思・判・表)自分に合った余暇の過ごし方に気付き、工夫しようとしている。 (主学)自分にあった余暇を見つけ、実践しようとしている。	A家族・家庭生活	3家庭生活における余暇 ①健康な生活について考えよう ②余暇活動にはどのようなものがあるのだろう ③余暇の楽しみ方を知ろう ④余暇の過ごし方を計画しよう
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	2学年8名		☆☆☆☆職業・家庭

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家庭の中の自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。【中学部1段階】 (思判表力) 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。【中学部1段階】 (学・人) 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		(知及技) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを知ることができる。【中学部1段階Aア(ア)】 (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを育み、よりよい関わり方について気づき、他者に伝えることができる。【中学部1段階Aア(イ)】 (学・人)	(知・技) 自分の成長には家族の支えがあることを知ろうとしている。家庭の仕事を衣食住に分けようとしている。 (思・判・表) 家族を大切に思う気持ちや家族への感謝の気持ちを表現しようとしている。 (主学) 学習や課題に意欲的に取り組もうとしている。	A家族・家庭生活	1 自分の成長と家族 ①自分の成長 ②生活を支える家庭の仕事 ③私の生活と家庭の仕事
		(知及技) 家庭における役割や地域との関わりについて関心を持ち、知ることができる。【中学部1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づき、それらを他者に伝えることができる。【中学部1段階Aイ(イ)】 (学・人) 学習したことを家庭生活の中で実践することができる。	(知・技) 家庭生活において様々な家事があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 家族の一員として、自分でやってみたい家事を考えようとしている。 (主学) 学習したことを家庭生活の中で実践しようとしている。	A家族・家庭生活	2 家庭生活と役割 ①家族の役割分担 ②家庭での自分の役割 ③家庭と地域との関わり
		(知及技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとする。【中学部1段階Bウ(ア)】 (思判表力) 日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。【中学部1段階Bウ(イ)】 (学・人) 学習したことを家庭生活の中で実践することができる。	(知・技) 季節や活動に合わせた衣服の着用の仕方を知り、TPOに応じた衣服を選ぼうとしている。 (思・判・表) 汚れや洗剤の種類について知り、洗濯の方法を考えて安全で衛生的な洗濯ができる。 (主学) 日常着の手入れについて、自分なりに工夫したり、考えたことを実践しようとしている。	B衣食住の生活	7衣服の着用と手入れ ①活動に合わせた衣服の着方を考えよう ②季節に合わせた服装の着方を考えよう ③衣服の手入れの方法を知ろう ④手洗いで洗濯しよう
		(知及技) 健康な生活と食事の役割について知ることができる。【中学部1段階Bア(ア)】 (思判表力) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気づき、それらを他者に伝えることができる。【中学部1段階Bア(イ)】 (学・人) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとする。【中学部1段階Bア(イ)】	(知・技) 健康な生活と食事の役割や朝食の役割を知ろうとしている。 (思・判・表) 適切な量の食事を楽しく摂ることの大切さに気づき、3食食べるために気をつけることを表現しようとしている。 (主学) 自分の食事内容について改善点など、自分なりに考え工夫したことを実践しようとしている。	B衣食住の生活	5 楽しく食べて元気に ①なぜ、毎日食事をするのだろう ②みんなで楽しく食事をしよう
2 学期		(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。【中1段階Bイ(ア)】 (思判表力) 簡単な調理計画について考えることができる。【中1段階Bイ(イ)】 (学・人) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践することができる。	(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知り調理しようとしている。 (思・判・表) 簡単な調理計画について考えようとしている。野菜や果物を取り入れた料理を選ぼうとしている。 (主学) 調理実習に意欲的に参加しようとしている。野菜や果物を取り入れた料理を進んで摂取しようとしている。	B衣食住の生活	6 おいしく楽しい調理 ①調理の目的や手順を知ろう ②ゆでる調理を知ろう
		(知及技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする。【中1段階Cア(ア)】 (思判表力) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことができる。【中1段階Cア(イ)】 (学・人) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫したことを述べる。【中1段階Cイ(イ)】	(知・技) 生活に必要な物の選択や扱い方について知り選ぼうとしている。 (思・判・表) 校内販売会の事前事後学習を通して、買物の手順に気づき実践しようとしている。模擬店で自分が今必要としている物を考え購入しようとしている。 (主学) 身近な物の選び方について、自分なりに考えたことをプリントにまとめたり、実践しようとしている。	C消費生活・環境	9 身近な消費生活 ①身近なものは、だれが、どこで、いつ買っているのか考えよう ②自分の持ち物や生活の中で必要なものなどの買い方について振り返ろう ③身近なお店で自分が必要とする物や家族にたのまれたものを買おう

3 学 期	<p>(知及技) 身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解し、実践すること。【中学部2段階Cイ(ア)】</p> <p>(思判表力) 身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えて物の使い方などを工夫すること。【中学部2段階Cイ(イ)】</p> <p>(学・人) 環境に配慮した生活の実現に向けて生活を工夫しようとしている。【中学部2段階C(イ)】</p>	<p>(知・技) 身の周りにはどのようなごみがあるかやリサイクルについて知り、燃えるごみと燃えないごみを分別しようとしている。</p> <p>(思・判・表) よりよいリサイクルの方法について、リサイクルマークを見ながら考え、工夫しようとしている。</p> <p>(主学) 環境に配慮した生活について、自分なりに考えたことをプリントにまとめたり、実践しようとしている。</p>	C消費生活・環境	10環境に配りよした生活	<p>①身の周りのごみ</p> <p>②ごみの減らし方</p> <p>③身近なりサイクル</p>
	<p>(知及技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとするができる。【中学部1段階B工(ア)】</p> <p>(思判表力) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付き、工夫することができる。【中学部B1段階工(イ)】</p> <p>(学・人) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付き、工夫したことを他者へ伝えることができる。</p>	<p>(知・技) 整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 暖かさや涼しさを得るための方法や整理・整頓の仕方について考え、工夫しようとしている。</p> <p>(主学) 快適な住まい方について自分なりに考えたことをプリントにまとめたり他者に伝えたりしようとしている。</p>	B衣食住の生活	8快適に過ごす住まい方	<p>①比べてみよう</p> <p>②快適になるようによくふうしよう</p>
留意点 引継ぎ等					

単位数 / 配当時間	生徒	担当者	教科書 / 副教材
2 / 70	3学年 18名		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。【中学部2段階】 (思判表力) 家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、日常生活において課題を解決する力を養う。【中学部2段階】 (学・人) 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。【中学部2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		(知及技) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを理解することができる。【中学部2段階Aア(ア)】 (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを育み、よりよい関わり方について考え、表現することができる。【中学部2段階Aア(イ)】 (学・人) 学習したことをこれからの家庭生活に生かすことができる。	(知・技) 自分の成長には家族の支えがあることを理解しようとしている。家庭の仕事を衣食住に分けようとしている。 (思・判・表) 自分にとって家族とはどのような存在であるか考え、家族への感謝や協力する気持ちを表現しようとしている。 (主学) 家族の支えに気づき、これからの生活にいかそうとしている。	A家族・家庭生活	1 自分の成長と家族 ①自分の成長をふり返ろう ②家族との関わりについて考えよう ③よりよい家族生活を目指そう
		(知及技) 家庭における役割や地域との関わりについて調べて、理解することができる。【中2段階Aイ(ア)】 (思判表力) 家庭生活に必要なことに関して、家族の一員として、自分の果たす役割を考え、表現することができる。【中2段階Aイ(イ)】 (学・人) 家庭の中で自分ができることを考え、実践しようとするすることができる。	(知・技) 家庭における役割や地域との関わりについて調べて、理解しようとしている。 (思・判・表) 家庭生活に必要なことに関して、家族の一員として自分にできる役割は何かを考え、表現しようとしている。 (主学) 家庭の中で自分ができる役割を考え、実践しようとしている。	A家族・家庭生活	2 家庭生活と役割 ①家族の役割を知ろう ②家庭の仕事をしてみよう ③家庭での役割についてまとめよう ④家庭生活と地域との関わりについて考えよう
		(知及技) 身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解し、実践することができる。【中学部2段階Cイ(ア)】 (思判表力) 身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えて物の使い方などを工夫することができる。【中学部2段階Cイ(イ)】 (学・人) 環境に配慮した生活の実現に向けて生活を工夫することができる。	(知・技) 買い物やリサイクルなどの活動で無駄なく使うことや、再利用の方法などを理解しようとしている。 (思・判・表) 自分の生活をふり返り、環境に配慮した消費生活について考え、工夫しようとしている。 (主学) 環境に配慮した消費行動を意識し、日常生活で実践しようとしている。	C消費生活・環境	13消費生活と環境 ①自分の生活をふり返ってみよう！ ②かん境に配りよした生活について考えてみよう
2 学期		(知及技) 日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解し、実践することができる。【中2段階B工(ア)】 (思判表力) 日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫することができる。【中2段階B工(イ)】 (学・人) 衣服の手入れ方法を学び、自ら積極的に衣服を清潔に保つ習慣を身につけることができる。	(知・技) 衣服の汚れや洗濯の必要性、洗濯機の種類、洗濯表示マークの意味を理解し実践しようとしている。 (思・判・表) 洗濯表示を見て、日常着の快適な着方や手入れの仕方を考えようとしている。 (主学) 日常着の手入れ方法を学び、自ら積極的に衣服を清潔に保つ習慣を身につけようとしている。	B衣食住の生活	8 衣服の着用と手入れ ④洗たくについて知ろう ⑤洗たく機の種類知ろう ⑥洗たく機で洗たくをしよう
		(知及技) 調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切にできること。【中学部2段階Bウ(ア)】 (思判表力) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫することができる。【中学部2段階Bウ(イ)】 (学・人) よりよい食生活に向けて、実践することができる。	(知・技) 栄養バランスを考えた食事の仕方を理解し、基本的な調理の知識・技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 必要な材料や調理器具、調理の手順を考え調理計画に沿って手際よく調理を行おうとしている。 (主学) 食事の大切さを理解し、より良い食生活を実践しようとしている。	B衣食住の生活	7 おいしい楽しい調理 ①調理の目的や手順を考えよう ②食品の表示について知ろう ③食品を安全に保存しよう ④調理をしよう ⑤調理計画にそって調理しよう
		(知及技) 生活に必要な物の選択や扱い方について理解し、実践することができる。【中2段階Cア(ア)】 (思判表力) 生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすることができる。【中2段階Cア(イ)】 (学・人) 目的や予算に合った物の選び方について、自分なりに考えて買い物を実践することができる。	(知・技) 同じ物でも品質や価格に違いがあることや目的に合った物の選び方を理解しようとしている。 (思・判・表) 校内販売会の事前事後学習を通して、買物の手順を知り、生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をしようとしている。 (主学) 目的や予算に合った物の選び方について、自分なりに考え工夫したことをプリントにまとめたり実践しようとしている。模擬店で自分が今必要としている物を考え購入しようとしている。	C消費生活・環境	12 いろいろな場面にあった買い方を考えよう ①おかしを買いに行こう ②昼食を買いに行こう

3 学 期	<p>(知及技) 快適な住まい方や、安全について理解し、実践することができる。【中2段階Bオ(ア)】</p> <p>(思判表力) 季節の変化に合わせた快適な住まい方について気づき、工夫することができる。【中2段階Bオ(イ)】</p> <p>(学・人) 快適で安全な住まい方について、自分なりに考えて実践することができる。</p>	<p>(知・技) 扉や窓の施錠や鍵の管理、整理・整頓すること、火器を正しく取り扱うことを理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 季節や用途によって整理・整頓が必要なことに気づき、工夫しようとしている。</p> <p>(主学) 快適な住まい方について自分なりに考えたことをプリントにまとめたり他者に伝えたりしようとしている。</p>	B衣食住の生活	<p>9 快適で安全な住まい方</p> <p>①身を守る安全な暮らしのために大切なこと</p> <p>②快適で安全に暮らすために</p> <p>③もし、災害が起こったら</p>
	<p>(知及技) 健康管理や余暇の過ごし方について理解し、実践することができる。【中2段階Aウ(ア)】</p> <p>(思判表力) 望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現することができる。【中2段階Aウ(イ)】</p> <p>(学・人) 健康な生活や余暇について自分なりに考え、工夫することができる。</p>	<p>(知・技) 文化・芸術的な活動と体育的な活動の違いや、団らんや休息も大切な余暇活動であることを理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 自分に合った余暇の過ごし方について考え、自分の好きな活動を選択しようとしている。</p> <p>(主学) 自分の生活と関連付けながら、より良い余暇の過ごし方を考え、工夫しようとしている。</p>	A家族・家庭生活	<p>3 家庭生活における余暇</p> <p>①健康な生活について考えよう</p> <p>②余暇活動にはどんなものがあるだろう</p> <p>③余暇の楽しみ方をしよう</p> <p>④健康的な余暇の過ごし方を計画しよう</p>
	<p>(知及技) 地域生活や地域の活動について調べて、理解することができる。【中2段階Aエ(ア)】</p> <p>(思判表力) 家族との触れ合いや地域生活に関心を持ち、家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気づき、表現することができる。【中2段階Aエ(イ)】</p> <p>(学・人) 地域の活動について、自分ができることを考え、実践しようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 学校の回りの商店等で働く人や近所に暮らす人など、地域生活や地域の活動について理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気づき、地域の人々とどう関わることができるのか表現しようとしている。</p> <p>(主学) 家族や地域の人々との助け合いの重要性を理解し、自分なりにできることを考え、実践しようとしている。</p>	A家族・家庭生活	<p>4 家庭や地域の人々との関わり</p> <p>①私たちの住んでいる地域</p> <p>②支え合って生活する</p>
留意点 引継ぎ等				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1学年13名 (①グループ7名、②グループ6名)		ワークシート、動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(中段階) (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(中段階) (学・人)外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(中段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。【中段階イ(ア)】 (思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝えることができる。【中段階ア】 (学・人)自ら相手に関わろうとすることができる。【中段階】	(知・技) 世界のいろいろな言葉や文化に興味関心をもっている。 (思・判・表)簡単な英文を用いて自己紹介ができています。 (主学)ジェスチャーを使って、相手に伝えようとしている。	Hello! あいさつをしよう	・挨拶をして名前を伝え合う。 -Hello. Hi. I'm (Hinata)./ My name is ~. ・世界のいろいろな国のあいさつを知る。 ・外国のジェスチャーとその意味を知る。
	8	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との習慣等の違いを知ることができる。【中段階イ(ア)】 (思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝えることができる。【中段階ア】 (学・人)積極的に活動に参加することができる。【中段階】	(知・技) 1~20の数の言い方がわかっている。外国の言葉や数え方に興味関心をもっている。 (思・判・表)数について尋ねたり答えたりすることができる。【中段階イ(イ)】 (主学)数を用いた活動に積極的に参加しようとしている。	How many? 数えよう	・1~20の数を言う。 ・数を尋ねたり答えたりする。 -How many apples? -Ten (apples). ・いろいろな国の数え方や、じゃんけんの仕方を知る。 ・具体物をマス目に置きながら、1~5の数の言い方を教師と一緒に確認する。
	8	(知及技) 対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞き、相づちや表情などで応じることができる。【中段階イ(イ)】 (思判表力)日本のことについて、具体物などを相手に見せながら、好みなどを伝え合うことができる。【中段階ウ(イ)】 (学・人)他者と積極的にコミュニケーションをとることができる。【中段階】	(知・技) 好きなものや嫌いなものの伝え方がわかっている。 (思・判・表)何が好きか尋ねたり、答えたりしようとしている。 (主学)ALTIに積極的にインタビューをしようとしている。	I like blue. What color do you like?	・好きなものや嫌いなものを伝え合う。 -I like (don't like) ~. -Do you like ~? ・何が好きか尋ねたり答えたりする -What sport do you like? -I like tennis. ・好きなもの(食べ物など)を伝える。
2学期	10	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表す働きがあることを感じ取ることができる。【中学部ア(ア)】 (思判表力)日本の名前などの英語表記に使われている文字を読むことができる。【中段階オ(イ)】 (学・人)身の回りで使われている文字に興味をもつことができる。【中段階】	(知・技) 活字体の大文字とその読み方がわかり、視写することができる。【中段階イ(イ)】 (思・判・表)イニシャルの意味がわかり、自分のイニシャルを表記することができる。友だちのイニシャルを聞いて、アルファベットがわかっている。 (主学)身の回りにある英語の文字に興味をもつことができる。【中段階】	ALPHABET 大文字を学ぼう	・お店の看板の文字を書き取る。 ・教師の発音を聞いて、真似して発音する。 ・イニシャルについて知る。 ・友だちとイニシャルを伝え合う。 ・文字のマッチングをする。 ・自分の名前の英文字を知る。
	10	(知及技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階ア(ア)】 (思判表力)自分のことについて、好みや要求などの自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。【中段階ウ(イ)】 (学・人)積極的に活動に参加することができる。【中段階】	(知・技) 色や形の言い方がわかっている。 (思・判・表)色と形を組み合わせた表現ができています。簡単な表現を用いて、欲しい物を伝えることができます。【中段階イ(イ)】 (主学)興味をもって活動に参加することができます。	This is for you. カードを送ろう	・色や形の言い方について学ぶ。 ・欲しい物を伝える。 -What do you want? -Green star, please. ・好きな色と形の模様でカードを作る。
	10	(知及技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階ア(ア)】 (思判表力)身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語等や基本的な表現、ジェスチャーを用いて表現することができる。【中段階イ(イ)】 (学・人)相手に配慮しながら伝えようとする。【中段階】	(知・技) 外来語と英語の発音の違いに気づき、教師の発音を真似て声に出すことができる。【中段階イ(イ)】 (思・判・表)クイズの出し方や答え方の表現がわかっている。ヒントとなる単語の意味を理解している。 (主学)わかりやすいヒントを考えてクイズを出そうとしている。	What's this? クイズを作ろう	・外来語と英語の発音の違いを知る。 ・シレットクイズに答える。 ・スリーヒントクイズを作り、クラスで発表する。 -What's this? -It's ~. -Hint, please. ・動物の言い方を知る。
3学期	4	(知及技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階ア(ア)】 (思判表力)身近で簡単な英語を聞き、イラストと結びつけることができる。【中段階ア(イ)】 (学・人)簡単な指示に応じることができる。【中段階ア(ウ)】	(知・技) 英語を聞いて、真似て声を出そうとしている。 (思・判・表)英語を聞き、イラストと結びつけることができる。【中段階ア(イ)】 (主学)簡単な指示に応じようとしている。	学習発表会に向けて	・販売会で必要な掲示物を作る。 ・インターネットで料理名(英語)を調べる。 ・野菜・果物の名前について知る。 onion, potato, carrot, apple, orange
	6	(知及技) 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ることができる。【中段階ア(ウ)】 (思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。【中段階ア】 (学・力)身近な事物のイラストと単語の意味を結び付けることができる。【中段階】	(知・技) ・さまざまな遊びや天気の違いがわかっている。 (思・判・表) ・「〇〇の天気は晴れ(雨、くもり)です」と伝えることができます。 (主学) ・既習の単語の意味を思い出しながら、学習しようとしている。	Let's play cards. 天気を伝えよう	・各地の天気を伝える。 -How's weather? -It's [sunny/ rainy/ cloudy/ snow] -Let's ~. -play cards, play tag, play dodgeball ・天気の違いを知る。

8	<p>(知及技) 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ることができる。【中段階ア(ウ)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語など基本的な表現を使って伝え合うことができる。【中段階ア】 (学・力) 工夫しながら相手に伝えることができる。【中段階】</p>	<p>(知・技) 世界の同年代の子供たちの生活に興味をもつことができる。日常的な動作の言い方がわかっている。 (思・判・表) 何曜日に何をするか伝えたり、相手の話を聞いて理解することができる。 (主学) イラストやジェスチャーを用いるなどの工夫をしながら伝えようとしている。</p>	<p>I play soccer on Monday.</p>	<p>・ 曜日の言い方を知る。 -What day is it? -It's (Monday). ・ 日常的な動作の言い方を知る。 -play the piano, watch TV, etc. ・ 何曜日に何をするか伝え合う。 -I play soccer on Sunday. ・ 好きな遊びを伝える。</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・ 年間を通してアルファベットの学習やリスニング問題、iPadを使った学習等を取り入れる。 ・ ハロウィン、クリスマスに関連した学習を取り入れる。</p>			

単位数 / 配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2 / 70	2学年 8名 (①グループ6名、②グループ2名)		ワークシート、動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。【中段階】 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。【中段階】 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【中段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。【中段階イ(ア)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝えることができる。【中段階ア】 (学・人) 自ら相手に関わろうとすることができる。【中段階】	(知・技) 世界のいろいろな言葉や文化に興味を持ち、発音を真似て声に出している。 (思・判・表) 友達と挨拶をして、自分のことについて簡単な表現を用いて伝え合うことができる。 (主学) 積極的に伝えたり、聞こうとしたりしている。	Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	・世界の国々の言葉で挨拶をする。 ・自己紹介をする。
	9	(知及技) 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階ア(ウ)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。【中段階ア】 (学・力) 工夫しながら相手に伝えることができる。【中段階】	(知・技) 世界の国や地域によって時刻が異なることに気付いている。午前・午後の時刻や日課の言い方がわかっている。 (思・判・表) 自分の一日について、時刻と日課をセットで表現することができる。 (主学) 相手に配慮しながら発表したり、聞こうとしたりしている。	What time is it? 今、何時?	・時刻や日課の言い方を知る。 -What time is it? -It's five p.m. -It's "Homework Time". ・自分の一日の日課について、時刻とセットで表現する。 ・給食時間、おやつなどの言い方を知る。 ・おはよう、おやすみの言い方を知る。
	9	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ることができる。【中段階ア(イ)】 (思判表力) 身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中学部イ(イ)】 (学・力) 工夫しながら相手に伝えることができる。【中段階】	(知・技) 文房具などの学校で使う物の言い方がわかっている。単数形と複数形の違いについて理解している。 (思・判・表) 文房具セットについて相手に伝えたり、尋ねたりすることができる。 (主学) 相手に配慮しながら発表したり、聞こうとしたりしている。	Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	・文房具の言い方を知る。 ・単数形と複数形について学ぶ。 ・持ち物を尋ねたり答えたりして伝え合う。 -Do you have (a pen)? -Yes, I do./No, I don't. -I [have/ don't have] (a pen). ・文房具の名称を聞いて、イラストをヒントに実物を選ぶ。
2 学期	10	(知及技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階ア(ア)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。【中学部ア】 (学・力) 相手に配慮しながらコミュニケーションを取ることができる。【中段階】	(知・技) 大文字と小文字の違いがわかっている。大文字と小文字の組み合わせがわかっている。 (思・判・表) 文字の発音を聞いて文字と結び付けることができる。簡単な単語を読み取ることができる。名前をスベルを伝えたり、聞きたりすることができる。 例示を見ながら自分の名前を書き写すことができる。 (主学) アルファベットクイズに積極的に参加しようとしている。	Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	・アルファベット探しをする。 ・大文字と小文字 ・iPadのアルファベットクイズ ・名前を書く。 ・名前のスベルを伝え合う。 ・単語の読み取り ・自分の名前のスベルを知る。
	10	(知及技) 英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中学部ア(ア)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、自分の考えや気持ちや考えなどが伝わるよう、工夫して質問をしたり、質問に答えたりすることができる。【中段階イ】 (学・力) 学習に意欲的に取り組むことができる。【中段階】	(知・技) 英語の音声聞き、真似て声を出すことができる。欲しいものを尋ねたり要求したりする表現を理解できている。 (思・判・表) 教師の発音を聞いて、文字と結び付けることができる。欲しい食材などを尋ねたり要求したりすることができる。 (主学) 積極的に活動に参加することができる。	What do you want? ほしいものは何かな?	・野菜と果物の言い方を知る。 ・単語の発音と読み取り ・欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 -What do you want? -I want (potatoes), please. -How many? (two), please. -Here are you. -Thank you. ・オリジナルパフェやピザを作る。
	10	(知及技) 基本的な表現や語句があわらず内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階(ウ)】 (思判表力) 身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付けることができる。日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、基本的な表現を使って伝え合うことができる。【中段階(3)ア(イ)、(2)ア】 (学・力) 相手に配慮しながらコミュニケーションを取ることができる。【中段階】	(知・技) 教科名や教室名の言い方がわかっている。道案内の仕方を理解している。 (思・判・表) 教師の発音を聞いて、該当する教室の写真(イラスト)を選ぶことができる。適切な表現を用いて簡単な道案内ができる。 (主学) 相手に配慮しながら、道案内をしようとしている。	This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかしよう	・教室の名称を知る。 ・教師の発音を聞いて、教室を当てる。 ・道案内の仕方を学ぶ。 -Go straight. -Turn [right/ left]. -stop. -This is (the music room). ・体育館、トイレ、美術室、音楽室、図書室、保健室などの名称を写真を見ながら確認する。

3 学 期	4	(知及技) 英語の音声を聞き、真似て声を出すことができる。【中段階ア(ア)】 (思判表力) 身近で簡単な英語を聞き、イラストと結びつけることができる。【中段階ア(イ)】 (学・人) 簡単な指示に応じることができる。【中段階ア(ウ)】	(知・技) 英語を聞いて、真似て声を出しそうとしている。 (思・判・表) 英語を聞き、イラストと結びつけることができる。【中段階ア(イ)】 (主学) 簡単な指示に応じようとしている。	学習発表会に向けて	・販売会で必要な掲示物を作る。 ・インターネットで料理名(英語)を調べる。 ・野菜・果物の名前について知る。 onion, potato, carrot, apple, orange
	6	(知及技) 日本と外国の文化に慣れ親しむことができる。【中段階イ】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、自分の考えや気持ちや考えなどが伝わるよう、工夫して質問をしたり、質問に答えたりすることができる。【中段階ア】 (学・人) 積極的にコミュニケーションを取ることができる。【中段階】	(知・技) 各月に行われる世界の行事に興味をもっている。月日の言い方がわかる。 (思・判・表) 誕生日に欲しいものを尋ねたり、答えたりすることができる。【中段階ア】 (主学) 友だちと積極的にやりとりをしようとしている。	When is your birthday? 行事・誕生日	・世界の行事について知る。 ・月日の言い方を知る。 ・誕生日や欲しい物を尋ねたり、答えたりして伝え合う。 -When is your birthday? -My birthday is ~. -What do you want for your birthday? -I want... ・誕生日にほしい物を伝える。
	8	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。【中段階イ(ア)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。【中段階ア】 (学・力) 工夫しながら相手に伝えることができる。【中段階】	(知・技) 世界の学校の様子に興味をもっている。教科の名称がわかる。 (思・判・表) 時間割について、基本的な表現を用いて伝えている。 (主学) 工夫しながら、相手に伝えようとしている。	What do you have on Monday? 教科	・世界の学校生活の様子を知る。 ・教科の名称を知る。 ・夢の時間割を作り、発表する。 ・時間割についてやりとりをする。 -What do you have on~? -I have~. ・教科の名称を知り、好きな教科を発表する。
留意点 引継ぎ等	・年間を通してアルファベットの学習やリスニング問題、iPadを使った学習等を取り入れる。 ・ハロウィン、クリスマスに関連した学習を取り入れる。				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3学年 18名 (①グループ8名、②グループ10名)		ワークシート、動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。【中段階】 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。【中段階】 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【中段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。【中段階イ(ア)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝えることができる。【中段階ア】 (学・人) 自ら相手に関わろうとすることができる。【中段階】	(知・技) 世界のいろいろな言葉や文化に興味を持ち、発音を真似て声に出そうとしている。 (思・判・表) 1、2年生で学習した表現を用いて、自分について伝え合おうとしている。 (主学) 積極的に伝えたり、聞こうとしたりしようとしている。	Hello, everyone 自己紹介	・自分の名前、年齢、好きなものを伝える。 -Hi, my name is... -I'm ...years old. -I like...
	9	(知及技) 基本的な表現や語句があわらす内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階ウ(ウ)】 (思判表力) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じることができる。【中学部ウ(ウ)】 (学・人) 学習したことを活かそうとすることができる。【中段階】	(知・技) 日課の言い方がわかる。頻度の言い方を理解しようとしている。 (思・判・表) 一日の日課について、友だちと尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主学) ALTと積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。	What time do you get up? 一日の生活	・日課や頻度の表現を学ぶ。 ・何時に～するか、尋ねたり、答えたりする。 -What time do you get up? -I (usually) get up at 7:00. ・一日の日課について発表する。 ・家での役割の言い方を知る。 ・家族の名称について知る。 father mother brother sister babyなど ・get up, wash my hands, brush my teeth, eat lunchなどの表現を知る
	9	(知及技) 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることができる。【中段階ア(ウ)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。 (学・人) 積極的に英語コミュニケーションを取ることができる。【中段階】	(知・技) canの意味や使い方を理解している。できることやできないことの伝え方が身につけようとしている。 (思・判・表) canを使って簡単な自己紹介をしたり、他己紹介をしたりしようとしている。 (主学) 英語によるコミュニケーションを通して、他者のことを知ろうとしている。	She can run fast. He can jump high. できること	・三人称(He, She)について学ぶ。 ・できること(できないこと)の表現を知る。 -Can you (sing well)? -Yes, I can. / No, I can't. -[I / You / He / She] [can / can't] (sing well). ・体の部分の言い方を知る。(Can you touch~?) head, shoulder, arm, finger, stomach
2学期	3	(知及技) 対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じることができる。【中段階イ(イ)】 (思判表力) 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。 (学・人) 工夫して相手に伝えることができる。【中段階】	(知・技) 過去の言い方があることを理解しようとしている。 (思・判・表) 基本的な語句を組み合わせ、過去の出来事を文で表現しようとしている。 (主学) 相手に伝わるように写真やイラストを用いて工夫しようとしている。	My summer vacation 夏休みの出来事	・夏休みの出来事を伝える。 ・過去の言い方について理解する。 -I went to~. -I ate~. -I played~. -I enjoyed~. ・夏休みに関連する言葉について学ぶ。 夏休みに食べたものや行ったところについて、写真やイラストを用いて発表する。

2 学 期	9	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。【中段階イ(ア)】 (思判表力) 自分のことについて、具体物などを相手に見せながら、好みや要求などの自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。【中段階イ(イ)】 (学・人) 意欲的に学習に取り組むことができる。【中段階】	(知・技) 世界の有名な建物や食べ物について知ろうとしている。 (思・判・表) 自分が行きたい国について、理由を含めて伝えようとしている。 (主学) 外国の建物、食べ物、自然、生活習慣等に興味をもって自発的に調べ学習を行おうとしている。	I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域	・世界の有名な建物や食べ物について知る。 ・行きたい国について調べる。 ・行きたい国について発表する。 -Where do you want to go? -I want to go to (Italy). -I want to eat / see / buy]~. ・世界の国々の動画や写真を見て、興味のある国や食べ物などを発表する。
	9	(知及技) 物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。【中段階(3)②イ】 (思判表力) 道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりすることができる。【中段階(3)②イ】 (学・人) 他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりすることができる。【中段階】	(知・技) 道を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりしようとしている。また、簡単な語句を書き写そうとしている。 (思・判・表) 道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりしようとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、物の場所を尋ねたり道案内をしたりしようとしている。	Where is the treasure? 位置と場所	・道案内と宝探しをする。 -Where is the treasure? -Go straight. -Turn [right/ left]. ・文房具や身の回りにあるもの (bag, waterbottle, towel など) の名称を聞いて、実物にタッチする。
	9	(知及技) 家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。【中段階(1)ア(ア)(ウ)】 (思判表力) 丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりすることができる。【中段階(3)②アイ】 (学・人) 他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりすることができる。【中段階】	(知・技) 家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしようとする。また、簡単な語句を書き写そうとしている。 (思・判・表) 丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりしようとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとしている。	What would you like? 料理・値段	・注文を尋ねたり答えたりする。 -What would you like? -I'd like (spaghetti). -It's for (my brother). ・注文時のやりとりを学ぶ。 What do you want? Ice cream, please.
3 学 期	4	(知及技) 英語の音声聞き、真似て声を出すことができる。【中段階ア(ア)】 (思判表力) 身近で簡単な英語を聞き、イラストと結びつけることができる。【中段階ア(イ)】 (学・人) 簡単な指示に応じることができる。【中段階ア(ウ)】	(知・技) 英語を聞いて、真似て声を出そうとしている。 (思・判・表) 英語を聞き、イラストと結びつけようとしている。 (主学) 簡単な指示に応じようとしている。	学習発表会に向けて	・販売会で必要な掲示物を作る。 ・インターネットで料理名(英語)を調べる。 ・野菜・果物の名前について知る。 onion, potato, carrot, apple, orange
	7	(知及技) 得意なことについて、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句や表現を書き写すことができる。【中段階(1)ア(ア)(ウ)】 (思判表力) あこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合うことができる。【中段階(3)②ア】 (学・人) 他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合うことができる。【中段階】	(知・技) あこがれたり、尊敬したりする人について聞いたり言ったりしようとする。また、簡単な語句や表現を書き写そうとしている。 (思・判・表) あこがれたり、尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合おうとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとしている。	Who is your hero? あこがれの人物	・あこがれたり、尊敬したりする人について紹介する。 -Who is you' re hero? -This is my hero. -[He / She] is good at (playing tennis). ・自分の担任の先生を、写真やイラストを使いながら紹介する。 (教科、教えている内容など)
	7	(知及技) 日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。【中段階(1)ア(ア)(ウ)】 (思判表力) 日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合うことができる。【中段階(3)②ア】 (学・人) 他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとすることができる。【中段階】	(知・技) 日本の文化(行事・食べ物など)について、聞いたり言ったりしようとしている。 (思・判・表) 日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合おうとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとしている。	Welcome to Japan. 日本の文化	・日本の文化(行事・食べ物など)について聞き、興味をもつ。 ・日本の食文化や遊び、伝統文化について、どんなものがあるか聞いたり言ったりする。 -In summer, we have fireworks. -We have soba. ・日本のいろいろな地域の行事や食べ物などについて知る。自分が好きなものを選び、伝える。
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してアルファベットの学習やリスニング問題、iPadを使った学習等を取り入れる。 ・ハロウィン、クリスマスに関連した学習を取り入れる。 				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 35	1 学年 13名		小学校道徳教科書各種

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践的な態度を養う。 A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として生命や自然、崇高な物との関わりに関すること			
学期	時数	単元・題材の目標	学びを見取る視点	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとする。【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとすること。【B 友情、信頼】 ・時と場所をわきまえて、礼儀たたくし真心をもって接すること。【B 礼儀】 ・日々の生活が家族や過去からの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応じること。【B 感謝】 ・法やまじりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。【C 規則の遵守】 ・誠実に、明るい心で生活すること。【A 正直、誠実】 ・生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。【D 生命の尊さ】 ・わが国の郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。【B 親切、思いやり】 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとしている。 ・友達と互いに理解したり、良いところを認め、人間関係を築いていこうとしている。 ・相手の気持ちを考えて、礼儀正しく接しようとしている。 ・日々の生活が、人々の助け合いで成り立っていることに気づき、感謝の心で応えようとしている。 ・社会の一員としての自覚をもって、まじりを守って行動しようとしている。 ・正直な心で、誠実に行動しようとしている。 ・生きていることの喜びを感じ、かけがえのない生命を大事にしようとしている。 ・郷土に伝わる伝統と文化に親しみをもち、受け継いでいこうとしている。 ・思いやりの心を持ち、相手のことを考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かれてしまったヒマワリ ・心のレシーム ・オーストラリアで学んだこと ・ありがとう上手に ・駅前広場は自転車置き場？ ・きんのおの、ぎんのおの ・クマのあたりまえ ・親から子へ、そして孫へと ・人権教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の新しいクラスメイトや教師との出会いに関連させ、よりよい学級作りに取り組む。 ・遠足の事前事後学習と関連させ、友情や信頼について考えられるようにする。 ・新しい先生や、先輩・後輩に明るく接しようとする心情を育てる。 ・母の日、父の日にあわせ、支えてくれる家族への感謝に気づけるようにする。 ・交通安全教室に関連させ、ルールやまじりを守ろうとする態度を育てる。 ・自分の言動に対して、うそやごまかしをしないで行動する心情を育てる。 ・平和学習とあわせて、あたりまえの毎日が迎えられることに喜びを感じる心情を育てる。 ・地域行事と関連させ、郷土の文化が生活の密着していることに気づき、親しみを持とうとする心情を育てる。 ・人権教室とあわせて、相手のことを考え、親切にしていこうとする態度を養う。
2 学期	13	<ul style="list-style-type: none"> ・父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・自由を大切に、自立的に判断し、責任のある行動をすること。【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。【B 相互理解】 ・他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。【C 国際理解、国際親善】 ・真理を大切に、物事を探究しようとする心をもつこと。【A 真理の探究】 ・美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。【D 感動、畏敬の念】 ・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。【C 公正、公平、社会正義】 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の幸せを考えて、進んで役立とうとしている。 ・自由を大切に、自律的で責任のある行動をしようとしている。 ・自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で接しようとしている。 ・日本人としての自覚をもって、国際親善に努めようとしている。 ・真理を大切に、真理を探究しようとしている。 ・人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつようとしている。 ・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卵焼き ・遠足の子どもたち ・ブランコ乗りとピエロ ・折り紙大使 ・天から送られた手紙 ・一本松は語った ・どうすればいいんだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日とあわせて、家族のために働く喜びに気づき、家族のために進んで手伝おうとする態度を養う。 ・良いことと悪いことを区別し、小さなことでも、人としてはならないことはしないという判断力を育てる。 ・自分と同じように相手にも意見や気持ちがあることに気づき、いろいろな考えを尊重する態度を育てる。 ・他国の人々と進んで関わり、よりよい関係を築こうとすることの大切さに気づき、他国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。 ・ものごとの奥には普遍的な真理があることに気づき、探究しようとする態度を育てる。 ・芸術鑑賞会と関連させ、美しいものに触れる体験を通して、すがすがしい心情を育てる。 ・行動が自分の好みや利害にとらわれていないか考え、誰とでも同じように公正、公平に接しようとする心情を育てる。

3 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。【D 自然愛護】 ・安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。【A 節度、節制】 ・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために焼くに立つことをすること。【C 勤労、公共の精神】 ・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。【A 希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。【A 個性の伸長】 ・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。【D よりよく生きる喜び】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしようとしている。 ・自分の生活を見直し、ものを大切にすることの良さに気づき、節度ある生活をしようとしている。 ・働くことの大切さを知り、公共のために役立つとする。 ・困難があってもくじけず、希望を持って、自分の夢や目標を実現しようとしている。 ・自分の特徴を考え、短所を改め長所を伸ばそうとしている。 ・よりよく生きようとする人間の強さや気高さに触れ、よりよく生きていこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一ふみ十年 ・流行おくれ ・お父さんは救急救命士 ・ベートーベン ・感動したこと、それがほかの作品 ・そういうものにわたしはなりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一鉢運道とあわせて、植物の世話を通して、生長の喜びに気付き、動植物に親しみを持つようとする心情を育てる。 ・校内実習と関連させ、どんな物もそれを作った人がいること、物に込められた思いに気付き、物やお金を大切にしようとする態度を養う。 ・校内実習と関連させ、自分のした仕事、みな喜びに繋がっていることに気付き、進んで仕事をしようとする態度を養う。 ・勉強や仕事に一生懸命取り組むことの大切さや、やらなければいけないことを成し遂げる充実感について考え、しっかりやりきろうとする心情を育てる。 ・自分の長所に気付き、自分の良さを伸ばしていこうとする心情を育てる。 ・人間には強さと弱さがあることに気付き、克服しようとする気高さに誇りを感じる心情を育てる。
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて下学年の題材を取り上げることもある。 ・写真・スライド・動画を活用し、視覚的に伝わりやすいようにする。 			

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 35	2学年 8名		小学校道徳教科書各種

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践的な態度を養う。 A 主として自分自身に関する事 B 主として人との関わりに関する事 C 主として集団や社会との関わりに関する事 D 主として生命や自然、崇高な物との関わりに関する事
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	学びを見取る視点	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとする事。【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとする事。【B 友情、信頼】 ・時と場所をわきまえて、礼儀たたくし真心をもって接すること。【B 礼儀】 ・日々の生活が家族や過去からの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応じること。【B 感謝】 ・法やまじりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。【C 規則の遵守】 ・誠実に、明るい心で生活すること。【A 正直、誠実】 ・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。【D 生命の尊さ】 ・わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。【B 親切、思いやり】 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスに愛着をもち、みんなで協力しあってよりよいクラスにしていこうとしている。 ・友達と互いに理解したり、良いところを認め、人間関係を築いていこうとしている。 ・相手の気持ちを考えて、礼儀正しく接しようとしている。 ・日々の生活が、人々の助け合いで成り立っていることに気づき、感謝の心で応えようとしている。 ・社会の一員としての自覚をもって、まじりを守って行動しようとしている。 ・正直な心で、誠実に行動しようとしている。 ・生きていることの喜びを感じ、かけがえのない生命を大事にしようとしている。 ・郷土に伝わる伝統と文化に親しみをもち、受け継いでいこうとしている。 ・思いやりの心を持ち、相手のことを考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バトンをつなげ ・泣いた赤鬼 ・青いアルバム ・母の日、父の日 ・遊園地のできごとから ・子だぬき、ボン ・コースチャぼうやを救え ・新しい日本に ・人権教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の新しいクラスメイトや教師との出会いに関連させ、よりよい学級作りに取り組む。 ・新しいクラスメイトや学習メンバーとの関わりを想起させながら、友情や信頼について考えられるようにする。 ・新しい先生や、先輩・後輩に明るく接しようとする心情を育てる。 ・母の日、父の日にあわせ、支えてくれる家族への感謝に気づけるようにする。 ・交通安全教室に関連させ、ルールやまじりを守ろうとする態度を育てる。 ・自分の言動に対して、うそやごまかしをしないで行動する心情を育てる。 ・平和学習とあわせて、あたりまえの毎日が迎えられることに喜びを感じる心情を育てる。 ・平和学習とあわせて、郷土の文化が生活の密着していることに気づき、親しみを持とうとする心情を育てる。 ・人権教室とあわせて、相手のことを考え、親切にしていこうとする態度を養う。
2 学期	13	<ul style="list-style-type: none"> ・父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・自由を大切にし、自立的に判断し、責任のある行動をすること。【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。【B 相互理解】 ・他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。【C 国際理解、国際親善】 ・真理を大切にし、物事を探究しようとする心をもつこと。【A 真理の探究】 ・美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。【D 感動、畏敬の念】 ・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。【C 公正、公平、社会正義】 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の幸せを考えて、進んで役立とうとしている。 ・自由を大切にし、自律的で責任のある行動をしようとしている。 ・自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で接しようとしている。 ・日本人としての自覚をもって、国際親善に努めようとしている。 ・真理を大切にし、真理を探究しようとしている。 ・人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつようとしている。 ・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日 ・雨上がり ・はなせばわかる ・ペルーは泣いている ・ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ ・青の洞門 ・およげないりすさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日とあわせて、家族のために働く喜びに気づき、家族のために進んで手伝おうとする態度を養う。 ・良いことと悪いことを区別し、小さなことでも、人としてはならないことはしないという判断力を育てる。 ・自分と同じように相手にも意見や気持ちがあることに気づき、いろいろな考えを尊重する態度を育てる。 ・他国の人々と進んで関わり、よりよい関係をを気付こうとする大切さに気づき、他国の人々と文化に親しもうとする心情を育てる。 ・ものごとの奥には普遍的な真理があることに気づき、探究しようとする態度を育てる。 ・崇高なものにふれ、感動する心や畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。 ・行動が自分の好みや利害にとらわれていないか考え、誰とでも同じように公正、公平に接しようとする心情を育てる。

3 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。【D 自然愛護】 ・安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。【A 節度、節制】 ・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。【C 勤労、公共の精神】 ・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。【A 希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。【A 個性の伸長】 ・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。【D よりよく生きる喜び】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の素晴らしさを知り、自然環境を大切にしようとしている。 ・自分の生活を見直し、危険から身を守り、自分だけで無く周囲の人々の安全にも気をつけようとしている。 ・働くことの大切さを知り、公共のために役立つとする。 ・困難があってもくじけず、希望を持って、自分の夢や目標を実現しようとしている。 ・自分の特徴を考え、短所を改め長所を伸ばそうとしている。 ・よりよく生きようとする人間の強さや気高さに触れ、よりよく生きていこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イルカの海を守ろう ・ヒヤリ、ハット ・わたしのボランティア体験 ・心をつなぐ音色 ・絵がすき海がすき ・そういうものにわたしはなりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の海、世界の海的美しさを感じ取り、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。 ・校内実習と関連させ、日常及び実習での危険な行動を考え、自分だけで無く友達の安全も意識できるようにする。 ・校内実習と関連させ、自分のした仕事、みな喜びに繋がっていることに気づき、進んで仕事をしようとする態度を養う。 ・勉強や仕事に一生懸命取り組むことの大切さや、やらなければならないことを成し遂げる充実感について考え、しっかりやりきろうとする心情を育てる。 ・自分の長所に気づき、自分の良さを伸ばしていこうとする心情を育てる。 ・人間には強さと弱さがあることに気づき、克服しようとする気高さに誇りを感じる心情を育てる。
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて下学年の題材を取り上げることもある。 ・写真・スライド・動画を活用し、視覚的に伝わりやすいようにする。 			

単位数 / 配当時間	生徒	担当者	教科書 / 副教材
1 / 35	3学年 18名		小学校道徳教科書各種

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践的な態度を養う。 A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として生命や自然、崇高な物との関わりに関すること			
学期	時数	単元・題材の目標	学びを見取る視点	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<ul style="list-style-type: none"> 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実を努めようとする。【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていこうとすること。【B 友情、信頼】 時と場所をわきまえて、礼儀たたくし真心をもって接すること。【B 礼儀】 日々の生活が家族や過去からの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応じること。【B 感謝】 法やさまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。【C 規則の遵守】 誠実に、明るい心で生活すること。【A 正直、誠実】 生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。【D 生命の尊さ】 わが国の郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。【B 親切、思いやり】 	<ul style="list-style-type: none"> 最上級生としての役割を自覚し、学校に愛着を持ち、進んでよりよい学校をつくらうとしている。 友達と信頼し合って、友情を深めていこうとしている。 礼儀は心の様子を表すことを知り、心のこもった礼儀を大切にして、時と場に応じ礼儀にかなった生活をしようとしている。 私たちの生活が、互いの助け合いや協力によって成り立っていることを理解し、感謝する心情を育てようとしている。 法やさまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとしている。 どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとしている。 生命ある全てのものをかけがえないものとして、生命を大切にしようとしている。 強度の伝統や文化を育てた先人の努力を知り、郷土の良さを大切に、郷土を愛そうとしている。 誰に対しても思いやりの心を持ち、親切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> せんばいの心を受けついで ばかじゃん! 心を形に 土石流の中で救われた命 「法律」ってなんだろう 手品師 ある犬のおはなし 世界遺産 白神山地 みんないっしょだよー黒柳徹子 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度の新しいクラスメイトや教師との出会いに関連させ、よりよい学級作りに取り組む。 遠足の事前事後学習と関連させ、友情や信頼について考えられるようにする。 新しい先生や、先輩・後輩に明るく接しようとする心情を育てる。 母の日、父の日にあわせ、支えてくれる家族への感謝に気づけるようにする。 交通安全教室に関連させ、ルールやさまりを守ろうとする態度を育てる。 自分の言動に対して、うそごまかしをしないで行動する心情を育てる。 平和学習とあわせて、あたりまえの毎日が迎えられることに喜びを感じる心情を育てる。 郷土の文化が生活の密着していることに気づき、親しみを持とうとする心情を育てる。 人権教室とあわせて、相手のことを考え、親切にしていこうとする態度を養う。
2 学期	13	<ul style="list-style-type: none"> 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。【C 家族愛、家庭生活の充実】 自由を大切に、自立的に判断し、責任のある行動をすること。【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。【B 相互理解】 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。【C 国際理解、国際親善】 真理を大切に、物事を探究しようとする心をもつこと。【A 真理の探究】 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。【D 感動、畏敬の念】 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。【C 公正、公平、社会正義】 	<ul style="list-style-type: none"> 家族を敬愛し、家族と心を通わせて、温かい家庭を築こうとしている。 自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重した責任ある行動が取れるよう、自律的に判断しようとしている。 謙虚な心で相手の立場を考え、広い心で相手を尊重しようとしている。 世界の諸問題に目を向け、進んで他国の人々とつながり、国際親善に努めようとしている。 進んで新しいものを求め、工夫してよりよい生活を作り上げようとしている。 人間の力を超えた大いなるものに気づき、感動する豊かな心情を育てようとしている。 権利と義務について考え、自他の権利を大切にするとともに、自らの義務を果たそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ぼくの名前呼んで 修学旅行の夜 銀のしよく台 ともにくらすわたしたち まんがに命を 夜空一光の旅 あなたはどうか考える? 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老の日とあわせて、家族のために働く喜びに気づき、家族のために進んで手伝おうとする態度を養う。 良いことと悪いことを区別し、小さなことでも、人としてはならないこととはしないという判断力を育てる。 自分と同じように相手にも意見や気持ちがあることに気づき、いろいろな考えを尊重する態度を育てる。 他国の人々と進んで関わり、よりよい関係を気付こうとすることの大切さに気づき、他国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。 ものごとの奥には普遍的な真理があることに気づき、探究しようとする態度を育てる。 芸術鑑賞会と関連させ、美しいものに触れる体験を通して、すがすがしい心情を育てる。 行動が自分の好みや利害にとらわれていないか考え、誰とでも同じように公正、公平に接しようとする心情を育てる。

3 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。【D 自然愛護】 ・安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。【A 節度、節制】 ・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために焼くに立つことをすること。【C 勤労、公共の精神】 ・より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。【A 希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。【A 個性の伸長】 ・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。【D よりよく生きる喜び】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を大切に、持続可能な社会の実現に努めようとしている。 ・自分の生活を見直し、災害から身を守り、節度ある生活をしようとしている。 ・働くことの意義を理解し、社会のために役立つようとしている。 ・より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとしている。 ・自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとしている。 ・人間には困難を克服する強さや気高さがあることを理解し、人間として生きる喜びを感じて、より良く生きようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛華さんからのメッセージ ・天災は、忘れていなくてもやってくる ・「あきらめない」を手助けしたい ・夢 ・雨上がりの日のこと ・さばくを緑の農地に 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一鉢運動とあわせて、植物の世話を通して、生長の喜びに気付き、動植物に親しみを持とうとする心情を育てる。 ・校内実習と関連させ、どんな物もそれを作った人がいること、物に込められた思いに気付き、物やお金を大切にしようとする態度を養う。 ・校内実習と関連させ、自分のした仕事、みな喜びに繋がっていることに気付き、進んで仕事をしようとする態度を養う。 ・受検と関連させ、勉強や仕事に一生懸命取り組むことの大切さや、やらなければいけないことを成し遂げる充実感について考え、しっかりやりきろうとする心情を育てる。 ・自分の長所に気付き、自分の良さを伸ばしていこうとする心情を育てる。 ・人間には強さと弱さがあることに気付き、克服しようとする気高さに誇りを感じる心情を育てる。
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて下学年の題材を取り上げることもある。 ・写真・スライド・動画を活用し、視覚的に伝わりやすいようにする。 				

令和7年度 中学部 1年(Ⅱ課程)総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
1/35	1学年13名		図書・プリント・動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、課題に取り組んだ経験をまとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 戦争について知ることができる。 (思判表力) 平和を希求する態度を育むことができる。 (学・人) 学習活動に主体的・協働的に取り組むことができる。	(知・技) 沖縄戦の話を通して、戦争について知ろうとしている。 (思・判・表) 戦争の悲惨さを知り、平和を願う気持ちを育もうとしている。 (主学) 平和について主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	平和学習	・平和について学習する。 ・沖縄戦の悲惨さを学び、平和の大切さを確認する。
	5	(知及技) 高嶺中学校について知ることができる。 (思判表力) 出会いの素晴らしさや共に活動する楽しさを知ることができる。 (学・人) 自分のチームや役割がわかり、活動に参加することができる。	(知・技) 高嶺中学校の生徒数や部活動など他中学校の学校生活について、知ろうとしている。 (思・判・表) レクや自己紹介を通して、一緒に活動する楽しさを感じようとしている。 (主学) 自分のチーム役割を理解し、レクなどの活動に参加しようとしている。	高嶺中学校との交流会 (学校間交流)	・交流会(共同学習)を通して、共に学びお互いの理解を深める。
2 学期	9	(知及技) 沖縄や地域の文化について知ることができる。 (思判表力) 沖縄、地域の文化について考える。文化について調べようとしていたり、発表する。 (学・人) 自分で調べ、発表する。活動に参加する。	(知・技) 学校周辺の地域の文化について、知ろうとしている。 (思・判・表) 学校周辺の地域の文化について、新聞や本、インターネットを活用し、調べようとしている。 (主学) 活動に協力して参加し、学校周辺の地域の文化について発表しようとしている。	地域について調べてみよう	・沖縄の文化について学習する。 ・伝統行事や文化について調べ、新聞を作ったり発表を行う。
	10	(知及技) 食べ物(給食)に興味関心を持ち、知ることができる。 (思判表力) 健康的な食のあり方を考えるとともに、季節や地域の料理を調べたり、発表をすることができる。 (学・人) 自分で調べ、発表する。活動に参加することができる。	(知・技) 食べ物(給食)に興味関心を持ち、本やインターネットを通して知ろうとしている。 (思・判・表) 健康的な食のあり方や季節や地域の料理など、クラスで発表する内容をまとめ、新聞作り等に取り組もうとしている。 (主学) 活動に参加し、自ら興味関心があることを伝えようとしている。	食育	・食べ物(給食)に関することを興味関心を持って自ら課題を見つける。 ・課題について調べたり、わかったことを新聞を作ったり発表を行う。
3 学期	7	(知及技) 自分の役割を知ることができる。 (思判表力) 活動内容が分かり、見通しを持って活動に取り組むことができる。 (学・人) 仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に対し積極的に取り組む。	(知・技) 校内実習では、自分の役割や仕事内容について知ろうとしている。 (思・判・表) 各教科のつながりを考えながら、校内実習に積極的に取り組もうとしている。 (主学) 仕事と自分のつながりに気づき、今後の学習に積極的に取り組もうとしている。	校内実習	・生徒の実態に即した作業内容を設定する。教師や班の仲間と日課に沿って、協力して一連の作業に取り組む。
	1	(知及技) 販売学習において必要な準備物や接客スキルを知ることができる。 (思判表力) 販売の体験を通して金銭のやりとりや流通の仕組みを知る。 (学・人) 仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に対し積極的に取り組む。	(知・技) 販売のために、どのような準備や接客が大切かを学ぼうとしている。 (思・判・表) 販売の体験で、お金のやりとりや物の流れを学ぼうとしている。 (主学) 仕事に興味を持ち、将来の仕事を考えて、今後の学習に前向きに取り組もうとしている。	販売学習	・販売に向けての準備や販売の経験を通して、流通・経済の基本を知り、将来の社会生活、職業選択について意識を持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 中学部 2年(Ⅱ課程)総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年8名		図書・プリント・動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、課題に取り組んだ経験をまとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技)戦争についての背景や歴史を知ることができる。 (思判表力)平和の大切さを感じ取り、大事にするために自分なりの方法を考えることができる。 (学・人)自分で調べようとしていたり、活動に参加することができる。	(知・技)戦争の背景や理由、変わっていく人々の生活や社会の様子について知ろうとしている。 (思・判・表)戦争の歴史から人々の苦しみを知り、命の尊さと平和の大切さを学び、平和を守る方法を考えようとしている。 (主学)自分で戦争や平和について調べたり、平和のための活動に参加しようとしている。	平和学習	・平和について学習する。 ・沖縄戦の悲惨さを学び、平和の大切さを確認する。
	5	(知及技)高嶺中学校について知ることができる。 (思判表力)出会いの素晴らしさや共に活動する楽しさを知ることができる。 (学・人)自分のチームや役割がわかり、活動に参加することができる。コミュニケーションの取り方やマナーを身につけることができる。	(知・技)高嶺中学校について自分で調べ、理解しようとしている。 (思・判・表)新しい仲間との出会いや、協力して活動する楽しさを感じようとしている。 (主学)自分のチームや役割を理解し、積極的に活動に参加しようとしている。また、コミュニケーションの取り方やマナーを身につけようとしている。	高嶺中学校との交流会 (学校間交流)	・交流会(共同学習)を通して、共に学びお互いの理解を深める。
	5	(知及技)空港の仕組みや働いている人達の仕事を知ることができる。 (思判表力)公共施設の役割について考えたり、働いている人の様子を見て、気づいたことを発表したりすることができる。 (学・人)身近な地域の街に関心をもって学習に取り組み、学んだことを生活に生かそうとすることができる。	(知・技)空港の仕組みや、働く人たちの仕事について理解しようとしている。 (思・判・表)公共施設の役割を考えたり、働く人の様子から気づいたことを言葉で表そうとしている。 (主・学)地域の街に関心を持ち、学んだことを生活に生かそうとしている。	校外学習	・那覇空港の見学を通して、空港の役割や仕事について学習し、社会の仕組みや働くことへの興味関心を深める。
2 学期	14	(知及技)修学旅行の目的や意義について知ることができる。修学旅行の行き先や九州地方について自分に必要な情報を収集したり、発表したりすることができる。 (思判表力)情報収集の手段を適切に選択し、調べたことをまとめて表現することができる。 (学・人)自分で調べようとしていたり、活動に参加することができる。	(知・技)修学旅行の行き先や九州地方について調べ、必要な情報を集めたり発表しようとしている。 (思・判・表)情報収集の方法を工夫し、調べたことを整理して表現しようとしている。 (主・学)自分から進んで調べたり、活動に積極的に参加しようとしている。	九州の文化に触れよう	・修学旅行の事前事後学習 ・九州の文化について学び、興味関心を深める。
3 学期	7	(知及技)自分の役割を知ることができる。 (思判表力)活動の目的や流れを理解し、自分のやるべきことを考えて計画的に取り組むことができる。 (学・人)仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に対し積極的に取り組む。	(知・技)自分の役割を理解しようとしている。 (思・判・表)活動の目的や流れを理解し、自分のやるべきことを考えて取り組もうとしている。 (主・学)仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に積極的に取り組もうとしている。	校内実習	・生徒の実態に即した作業内容を設定する。教師や班の仲間と日課に沿って、協力して一連の作業に取り組む。
	1	(知及技)販売学習において必要な準備物や接客スキルを知ることができる。 (思判表力)販売体験を通して、金銭のやりとりや流通の仕組みを考え、気づいたことを言葉や資料で表現することができる。 (学・人)仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に対し積極的に取り組むことができる。	(知・技)販売学習に必要な準備物や接客のスキルを知ろうとしている。 (思・判・表)販売体験から金銭や流通の仕組みについて考え、自分の気づきを整理して表現している。 (主・学)仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に積極的に取り組もうとしている。	販売学習	・販売に向けての準備や販売の経験を通して、流通・経済の基本を知り、将来の社会生活、職業選択について意識を持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 中学部3年(Ⅱ課程)総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年18名		図書・プリント・動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、課題に取り組んだ経験をまとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)事業所ではどのような仕事をしているか知る。 (思判表力)どのような仕事があるかを調べたり、まとめたりすることができる。 (学・人)自分の進路について考え、学習活動に主体的・協働的に取り組むことができる。	(知・技)事業所の仕事や働いている人の様子を知らうとしている。 (思・判・表)仕事について調べたり、まとめたりしようとしている。 (主学)自分の進路について考えようとしている。	職場見学 高等部実習見学	・本校卒業生が通う主な進路先について学習する。 ・職業について調べ、発表する。
	3	(知及技)戦争について知ることができる。 (思判表力)平和を希求する態度を育むことができる。 (学・人)自分で調べようとしたり、活動に参加することができる。	(知・技)沖縄戦の怖さを知らうとしている。 (思・判・表)平和を願う気持ちを栗原相としている。 (主学)興味をもって調べようとしたり、活動に参加しようとしている。	平和学習	・平和について学習する。 ・沖縄戦の悲惨さを学び、平和の大切さを確認する。
2 学期	10	(知及技)卒業後の進学・就職を意識して日々の活動に取り組むことができる。 (思判表力)進路に必要な事柄について自分で課題を立てて、情報を集め、まとめたり、表現することができる。 (学・人)活動を最後まで頑張る態度や意欲を持つことができる。	(知・技)卒業後の自分をイメージして日々の活動に取り組もうとしている。 (思・判・表)進路について自分の課題をみつけ、調べたりまとめたりしようとしている。 (主学)やるべき活動を最後まで頑張ろうとしている。	進路学習	・日課に沿って時間を守り、諸活動に取り組む。また進路選択の面談や3学年における入試にむけた指導を行う。
	9	(知及技)高等部の先輩がどのような実習をしているか知る。 (思判表力)どのような実習先があるかを調べたり、まとめたりすることができる。 (学・人)自分の進路について考え、学習活動に主体的・協働的に取り組むことができる。	(知・技)高等部の先輩がどのような実習をしているか知らうとしている。 (思・判・表)どのような実習先があるかを調べたり、まとめたりしようとしている。 (主学)自分の進路について考え、学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	高等部実習見学	・高等部の先輩がどのような実習を行っているかについて学習する。 ・職業について調べ、発表する。
3 学期	7	(知及技)自分の役割を知ることができる。 (思判表力)活動内容が分かり、見通しを持って活動に取り組むことができる。 (学・人)仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に対し積極的に取り組む。	(知・技)自分の役割を知らうとしている。 (思・判・表)見通しを持って活動に取り組もうとしている。 (主学)仕事における自分の役割がわかり、積極的に取組もうとしている。	校内実習	・生徒の実態に即した作業内容を設定する。教師や班の仲間と日課に沿って、協力して一連の作業に取り組む。
	1	(知及技)販売学習において必要な準備物や接客マナー・スキルを知ることができる。 (思判表力)販売の体験を通して金銭のやりとりや流通の仕組みを知ることができる。 (学・人)仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習に対し積極的に取り組むことができる。	(知・技)販売に必要な準備物や接客マナー・スキルを知らうとしている。 (思・判・表)お客さんとの金銭のやりとりを協力してやろうとしている。 (主学)自分の仕事を、最後までやり遂げようとしている。	販売学習	・販売に向けての準備や販売の経験を通して、流通・経済の基本を知り、将来の社会生活、職業選択について意識を持つ。
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／70	1学年 13名		動画等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 【学級活動】、【生徒会活動】、【学校行事】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・入学式を通して、厳粛で清新な気分を味わい、新入生としての自覚を持つ。【学校行事（1）】	・入学式で新しいスタートを実感し、新入生としての自覚を持とうとしている。	・入学式	・儀式的行事を通して、育めるようにする。
		・学級生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践する。【学級活動（1）ア】	・学級をよくするために、みんなで話し合っ て行動しようとしている。	・学部開き ・学年開き ・学級開き	・学級目標をみんなで相談し決められるようにする。
		・節度ある生活を送り、心身の健康を保持増進しよう意識する。【学級活動（2）エ】	・生活を整え、心も体も元気でいられるよう意識しようとしている。	・身体計測 ・各種検診	・検診等を通して健全な発達を意識できるようにする。
		・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくる。【学級活動（2）ア】	・自分と友だちのよさを認め合い、仲よく協力し、楽しい集団生活を目標そうとしている。	・新入生歓迎会	・クラスの友達や先輩との交流を通して中学部への所属間を高め、よりよい人間関係を築けるようにする。
		・生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図る。【学級活動（1）ウ】	・学級の枠を超えた取り組みに主体的に関わり、学校生活をよりよいものにしようとしている。	・新入生歓迎会	・クラスの友達や先輩との交流を通して中学部への所属間を高め、よりよい人間関係を築けるようにする。
		・生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践する。【生徒会活動（1）】	・生徒が自分たちで話し合い、役割を決めて学校生活をよりよくしようとしている。	・児童生徒総会	・児童生徒会の一員であることに気づき、協力して活動できるようにする。
		・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事（3）】	・災害にそなえて、正しい行動を身につけようとしている。	・避難訓練（火災、不審者対応）	・安全な行動ができるよう、避難の仕方や経路を知る。
・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事（3）】	・自分の身を守るために、安全な行動や交通ルールを学ぼうとしている。	・交通安全教室（事前・事後学習）	・交通ルールを守り、安全に歩行する。		
2 学期	13	・自主的に学習する場として、学校図書館を活用する。【学級活動（3）ア】	・自主的に学習する場として、学校図書館を活用しようとしている。	・読書月間	・様々な種類の本を楽しめるようにする。
		・文化や芸術に親しむ。【学校行事（2）】	・文化や芸術に親しもうとしている。	・芸術鑑賞会（事前・事後学習）	・音楽鑑賞、観劇、ダンス等に触れる。
		・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事（3）】	・災害にそなえて、みんなで安全に行動できるようにしている。	・地震津波避難訓練（事前・事後学習）	・迅速に高台への避難ができるようにする。
		・公共施設の利用の仕方やマナーを学び、行動できる。【学級活動（3）イ】	・公共施設の利用の仕方やマナーを学び、行動しようとしている。	・校外学習（事前・事後学習）	・公共の場でのマナーが身につくようにする。

3 学期	10	・販売会を通して勤労の尊さや生産の喜びを体験し、勤労観・職業観を養う。【学校行事(5)】	・販売会を通して勤労の尊さや生産の喜びを味わおうとしている。	・販売会にむけて	・販売会にむけて生産してきた商品を確認し、販売に必要な事柄について学習する。
		・日頃の学習活動の成果を発表できる。【学校行事(2)】	・日頃の学習活動の成果を発表しようとしている。	・学習発表会	・各教科の学習成果をまとめ、それぞれの表現で発表する。
		・生徒会の計画や運営を通し、望ましい人間関係の育成と問題解決のための自主的、実践的態度の育成を目指し、次年度に向けて新しい役員を選出する。【生徒会活動(1)】	・生徒会の活動を通して、自分たちで考え行動し、次の役員を決めようとしている。	・生徒会役員選挙告示 ・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙を通して、将来の選挙の取り組み方や投票の方法を学ぶ。
		・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくる。【学級活動(2)ア】	・三年生に感謝の気持ちを込めて、思い出に残る時間をつくろうとしている。	・三年生を送る会	・三年生の卒業前に交流を深め、ともに過ごした学校生活を振り返る。
		・三年生の卒業を祝い、清らかな気分を味わう。【学校行事(1)】	・卒業という節目を大切に、清らかな気持ちで三年生を送り出そうとしている。	・卒業式	・三年生の門出を祝う。
通 年	35	・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、新しい生活への期待感をもつ。【学校行事(1)】	・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、新しい生活への期待感をもとうとしている。	・始業式、終業式、修了式	・儀式的行事
		・学級、学年でより充実した学校生活を送るため、集会を計画し、協力して実践する。【学級活動(1)イ】	・学部でより充実した学校生活を送るため、集会を計画し、協力して実践しようとしている。	・学部集会	・役割をもち、集会を計画する。
		・清掃など当番活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、役割を果たすことができる。【学級活動(3)イ】	・清掃などの当番活動で、自分の役割を知り、みんなと協力しようとしている。	・当番活動、清掃活動	・話し合い活動、係決め
		・目標を持ち、そのためになにをすべきかを考えることができる。【学級活動(3)ウ】	・目標を持ち、その目標達成に向けて自分のできることを見つけ、計画的に取り組もうとしている。	・キャリアパスポート	・自己の目標と達成に向けた課題設定をし、振り返る。
短 い 時 間 の 指 導	35	・給食の準備や片づけなど当番活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、役割を果たすことができる。【学級活動(3)イ】	・給食の準備や片づけなど当番活動等の自己の役割を自覚し、それを果たそうとしている。友だちと協力しようとしている。	・給食準備、片付け	・給食の準備、片付け
留 意 点 引 継 ぎ 等	・短い時間の指導(35)は、配当時数に含まない。				

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／70	2学年 8名		動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 【学級活動】、【生徒会活動】、【学校行事】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・入学式を通して、厳粛で清らかな気分を味わい、新入生を迎え入れる。【学校行事(1)】	・入学式を通して、新しい気持ちで二年生としての自覚を持つようとしている。	・入学式	・儀式的行事を通して、育めるようにする。
		・学級生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践する。【学級活動(1)ア】	・クラスをよりよくするために課題を見つけ、みんなで話し合っ行動しようとしている。	・学部開き ・学年開き ・学級開き	・学級目標をみんなで相談し決められるようにする。
		・節度ある生活を送り、心身の健康を保持増進しよう意識する。【学級活動(2)エ】	・規則正しい生活を心がけ、心と体の健康を大切にしようとしている。	・身体計測 ・各種検診	・検診等を通して健全な発達を意識できるようにする。
		・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくる。【学級活動(2)ア】	・お互いの違いや良さを認め合い、協力してよりよいクラスづくりをしようとしている。	・新入生歓迎会	・クラスの友達や先輩との交流を通して中学部への所属間を高め、よりよい人間関係を築けるようにする。
		・生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図る。【学級活動(1)ウ】	・生徒会や行事などを通して、学校全体をよりよくしようとしている。	・新入生歓迎会	・クラスの友達や先輩との交流を通して中学部への所属間を高め、よりよい人間関係を築けるようにする。
		・生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践する。【生徒会活動(1)】	・自分たちで話し合い、役割を分担して、学校生活の課題を解決しようとしている。	・児童生徒総会	・児童生徒会の一員であることに気づき、協力して活動できるようにする。
		・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事(3)】	・事故や災害から自分や周りを守るために、安全で落ち着いた行動を身につけようとしている。	・避難訓練(火災、不審者対応)	・安全な行動ができるよう、避難の仕方や経路を知る。
・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事(3)】	・事故や災害から自分や周りを守るために、安全で落ち着いた行動を身につけようとしている。	・交通安全教室(事前・事後学習)	・交通ルールを守り、安全に歩行する。		
2 学期	13	・自主的に学習する場として、学校図書館を活用する。【学級活動(3)ア】	・学校図書館を使って、自分から進んで学ぼうとしている。	・読書月間	・様々な種類の本を楽しめるようにする。
		・文化や芸術に親しむ。【学校行事(2)】	・文化や芸術に触れ、楽しもうとしている。	・芸術鑑賞会(事前・事後学習)	・音楽鑑賞、観劇、ダンス等に触れる。
		・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事(3)】	・災害や事故から身を守るために、安全で落ち着いた行動を身につけようとしている。	・地震津波避難訓練(事前・事後学習)	・迅速に高台への避難ができるようにする。

		・公共施設の利用の仕方やマナーを学び、行動できる。【学級活動(3)イ】	公共の場でのマナーを学び、正しく行動しようとしている。	・修学旅行(事前・事後学習)	・公共の場でのマナーが身につくようにする。
3 学期	10	・販売会を通して勤労の尊さや生産の喜びを体験し、勤労観・職業観を養う。【学校行事(5)】	・働くことの大切さや、物を作って売る楽しさを感じようとしている。	・販売会にむけて	・販売会にむけて生産してきた商品を確認し、販売に必要な事柄について学習する。
		・日頃の学習活動の成果を発表できる。【学校行事(2)】	・学んだことを自分の言葉で伝えようとしている。	・学習発表会	・各教科の学習成果をまとめ、それぞれの表現で発表する。
		・生徒会の計画や運営を通し、望ましい人間関係の育成と問題解決のための自主的、実践的態度の育成を目指し、次年度に向けて新しい役員を選出する。【生徒会活動(1)】	・生徒会活動を通して、仲間と協力しながら次のリーダーを選ぼうとしている。	・生徒会役員選挙告示 ・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙を通して、将来の選挙の取り組み方や投票の方法を学ぶ。
		・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくる。【学級活動(2)ア】	・お互いのよさを認め合い、協力してよりよいクラスを作ろうとしている。	・三年生を送る会	・三年生の卒業前に交流を深め、ともに過ごした学校生活を振り返る。
		・三年生の卒業を祝い、清らかな気分を味わう。【学校行事(1)】	・卒業する三年生を祝う気持ちを持ち、式や行事に落ち着いて参加しようとしている。	・卒業式	・三年生の門出を祝う。
通 年	35	・学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、新しい生活への期待感をもつ。【学校行事(1)】	・学校生活の節目を大切に、新しいスタートに期待をもっている。	・始業式、終業式、修了式	・儀式的行事
		・学級、学年でより充実した学校生活を送るため、集会を計画し、協力して実践する。【学級活動(1)イ】	・クラスや学年での集会をみんなで考え、協力して取り組もうとしている。	・学年集会	・役割をもち、集会を計画する。
		・清掃など当番活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、役割を果たすことができる。【学級活動(3)イ】	・自分の役割を理解し、みんなと協力して活動しようとしている。	・当番活動、清掃活動	・話し合い活動、係決め
		・目標を持ち、そのためになにをするべきかを考えることができる。【学級活動(3)ウ】	・自分の目標に向かって、何をすべきかを考えて行動しようとしている。	・キャリアパスポート	・自己の目標と達成に向けた課題設定をし、振り返る。
短 い 時 間 の 指 導	35	・給食の準備や片づけなど当番活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、役割を果たすことができる。【学級活動(3)イ】	・給食当番などの役割をしっかりと果たし、友だちと協力しようとしている。	・給食準備、片付け	・給食の準備、片付け
留 意 点 引 継 ぎ 等	・短い時間の指導(35)は、配当数に含まない。				

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 70	3学年 18名		動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 【学級活動】、【生徒会活動】、【学校行事】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・入学式を通して、厳粛で清新な気分を味わい、新入生を迎え入れる。【学校行事(1)】	・入学式の静かで温かい雰囲気を感じ、最上級生として入学生を迎えようとしている。	・入学式	・儀式的行事を通して、育めるようにする。
		・学級生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践する。【学級活動(1)ア】	・学級をよりよくするための項目を挙げ、話し合い、目標を決めようとしている。	・学部開き ・学年開き ・学級開き	・学級目標をみんなで相談し決められるようにする。
		・節度ある生活を送り、心身の健康を保持増進しよう意識する。【学級活動(2)エ】	・規則正しい生活を送ろうとし、心と体の健康にしようとしている。	・身体計測 ・各種検診	・検診等を通して健全な発達を意識できるようにする。
		・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮しながらよりよい集団生活をつくる。【学級活動(2)ア】	・個性を認め合い、よいところを見つけてよりよい集団生活をつくろうとしている。	・新入生歓迎会	・クラスの友達や先輩との交流を通して中学部への所属間を高め、よりよい人間関係を築けるようにする。
		・生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図る。【学級活動(1)ウ】	・生徒会や学校行事を通じて、みんなで学校生活を良くしようとしている。	・新入生歓迎会	・クラスの友達や先輩との交流を通して中学部への所属間を高め、よりよい人間関係を築けるようにする。
		・生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践する。【生徒会活動(1)】	・生徒が主体的にグループを作り、話し合いで解決しようとしている。	・児童生徒総会	・児童生徒会の一員であることに気づき、協力して活動できるようにする。
		・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事(3)】	・火災や不審者侵入における危険から身を守ろうとし、規律ある行動を学ぼうとしている。	・避難訓練(火災、不審者対応)	・安全な行動ができるよう、避難の仕方や経路を知る。
・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事(3)】	・歩道を歩く際の危険から身を守ろうとし、規律ある行動を学ぼうとしている。	・交通安全教室(事前・事後学習)	・交通ルールを守り、安全に歩行する。		
2 学期	13	・自主的に学習する場として、学校図書館を活用する。【学級活動(3)ア】	・図書室を活用し読書の楽しさを味わおうとしている。	・読書月間	・様々な種類の本を楽しめるようにする。
		・文化や芸術に親しむ。【学校行事(2)】	・普段体験できない芸術に触れ楽しもうとしている。	・芸術鑑賞会(事前・事後学習)	・音楽鑑賞、観劇、ダンス等に触れる。
		・事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動を身に付ける。【学校行事(3)】	・地震や津波における危険から身を守ろうとし、規律ある行動を学ぼうとしている。	・地震津波避難訓練(事前・事後学習)	・迅速に高台への避難ができるようにする。
		・公共施設の利用の仕方やマナーを学び、行動できる。【学級活動(3)イ】	・公共施設の利用の仕方やマナーを学び、行動しようとしている。	・校外学習(事前・事後学習)	・公共の場でのマナーが身につくようにする。

3 学期	10	・販売会を通して勤労の尊さや生産の喜びを体験し、勤労観・職業観を養う。【学校行事(5)】	・働くことの大切さや作る喜びを感じようとしている。	・販売会にむけて	・販売会にむけて生産してきた商品を確認し、販売に必要な事柄について学習する。
		・日頃の学習活動の成果を発表できる。【学校行事(2)】	・日頃の学習活動の成果を発表しようとしている。	・学習発表会	・各教科の学習成果をまとめ、それぞれの表現で発表する。
		・生徒会の計画や運営を通し、望ましい人間関係の育成と問題解決のための自主的、実践的態度の育成を目指し、次年度に向けて新しい役員を選出する。【生徒会活動(1)】	・生徒会役員選挙の運営を通じて、後輩との人間関係を育み、新しい役員にふさわしいと思う人を選ぼうとしている。	・生徒会役員選挙告示 ・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙を通して、将来の選挙の取り組み方や投票の方法を学ぶ。
		・目標を持って、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心を照らして考える。【学級活動(3)ウ】	・目標を持って、自分が希望する進路を選択しようとしている。	・進学、受検に向けて	・自分の進路について考える。
		・自らの卒業を祝い、清新な気分を味わう。【学校行事(1)】	・互いの卒業を祝い、すがすがしい気持ちで卒業式に参加しようとしている。	・卒業式	・互いの門出を祝う。
通年	35	・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、新しい生活への期待感をもち。【学校行事(1)】	・学校生活に節目をつけ、新たな生活に期待しようとしている。	・始業式、終業式、修了式	・儀式的行事
		・学級、学年でより充実した学校生活を送るため、集会を計画し、協力して実践する。【学級活動(1)イ】	・集会を計画し、協力して学校生活を充実させようとしている。	・学年集会	・役割をもち、集会を計画する。
		・清掃など当番活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、役割を果たすことができる。【学級活動(3)イ】	・自分の役割を理解し、協力して責任を果たそうとしている。	・当番活動、清掃活動	・話し合い活動、係決め
		・目標を持ち、そのためになにをすべきかを考えることができる。【学級活動(3)ウ】	目標を持ち、そのためになにをすべきかを考えようとしている。	・キャリアパスポート	・自己の目標と達成に向けた課題設定をし、振り返る。
短い時間の指導	35	・給食の準備や片づけなど当番活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、役割を果たすことができる。【学級活動(3)イ】	・給食当番の役割を理解し、友だちと協力して取り組もうとしている。	・給食準備、片付け	・給食の準備、片付け
留意点 引継ぎ等		・短い時間の指導(35)は、配当時数に含まない。			